Canon

- 本製品の設置
- メモリーカードから印刷
- コピー
- スキャン
- パソコンから印刷
- ファクス

そのほかの使いかた／用紙／原稿のセット／
お手入れ／困ったときには など

らくらく

# 操作ガイド

# PIXUS MX860

## 使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

1 かんたんスタートガイド

2 らくらく操作ガイド（本書）

もっと活用ガイド（電子マニュアル）

# 付属のマニュアルについて

ニャ

### かんたんスタートガイド

設置から使えるようになるまでの準備を説明しています。
はじめにお読みください。

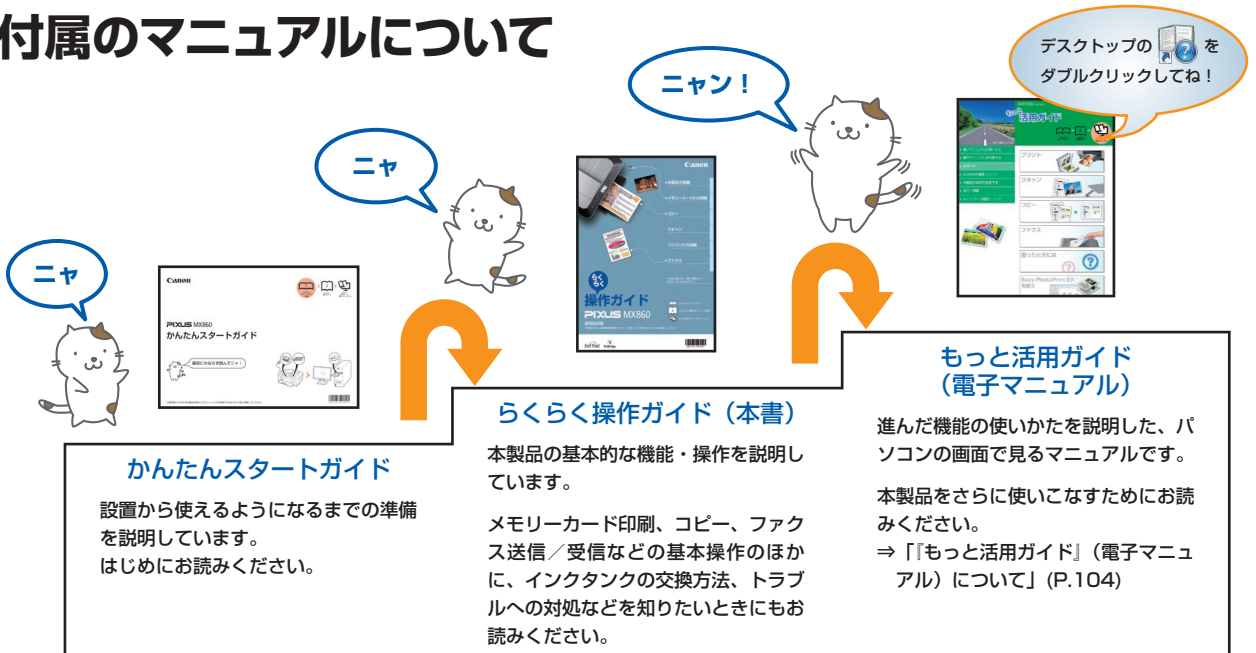
### らくらく操作ガイド（本書）

本製品の基本的な機能・操作を説明しています。

メモリーカード印刷、コピー、ファクス送信／受信などの基本操作のほかに、インクタンクの交換方法、トラブルへの対処などを知りたいときにもお読みください。

### もっと活用ガイド（電子マニュアル）

進んだ機能の使いかたを説明した、パソコンの画面で見るマニュアルです。

本製品をさらに使いこなすためにお読みください。
⇒「『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）について」（P.104）

このほかに、『ネットワーク設置で困ったときには』などが付属しています。

# 本製品でできること

## コピーする

⇒ P.52

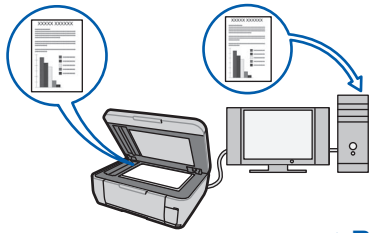
## メモリーカードの写真を印刷する

⇒ P.40

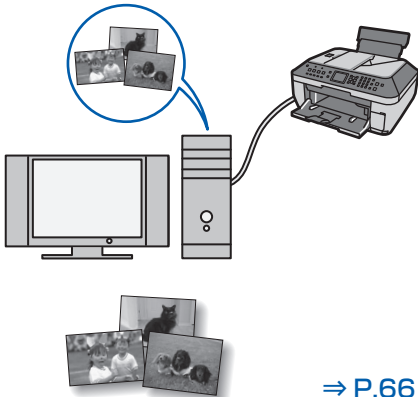
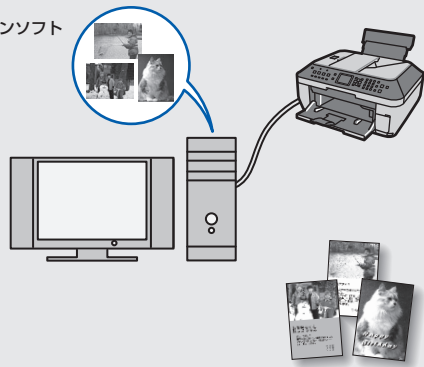
⇒『もっと活用ガイド』
（電子マニュアル）

## スキャンする

スキャンしたデータをパソコンに保存

⇒ P.60

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

## パソコンから印刷する

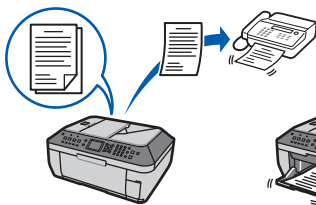
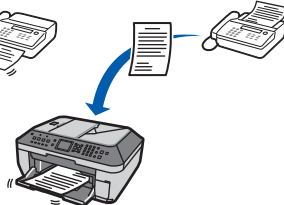
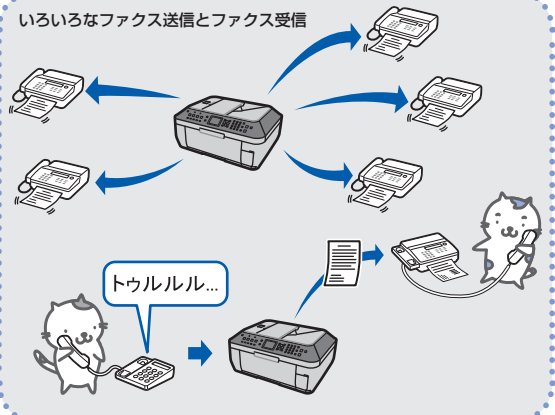
⇒ P.66

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

## ファクスを使う

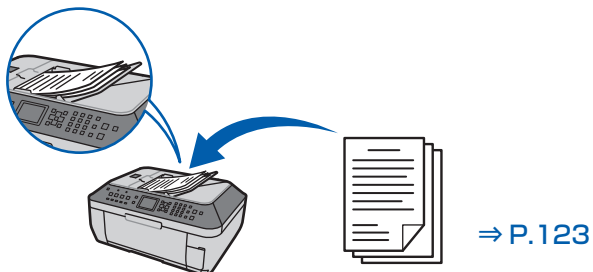
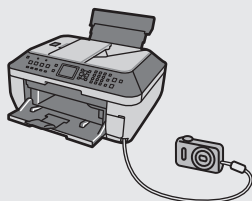
ファクスを送信

ファクスを受信

⇒ P.80

⇒ P.87

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

## 複数枚の原稿をまとめて読み込む

⇒ P.123

## PictBridge対応機器、携帯電話などから印刷する

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

## その他

カードスロットをパソコンのドライブに設定する

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

# 目次

**電波障害自主規制について**
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

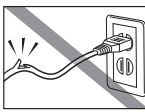
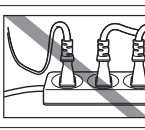
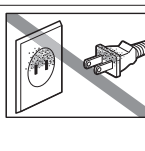
**国際エネルギースタープログラムについて**
当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

**Exif Printについて**
本製品は、「Exif Print」に対応しています。
Exif Printは、デジタルカメラとプリンタの連携を強化した規格です。
Exif Print対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

**記載について**
本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

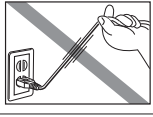
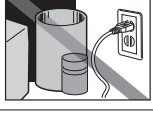
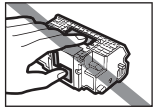
| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。 |
| ⚠注意 | 取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。 |
| 重　要 | 操作上、必ず守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。 |
| 参　考 | 操作の参考になることや補足説明が書かれています。 |
| Windows | Windows独自の操作について記載しています。 |
| Macintosh | Macintosh独自の操作について記載しています。 |

本書ではWindows Vista operating system Ultimate Edition（以降､Windows Vista）またはMac OS X v.10.5.xをご使用の場合に表示される画面で説明しています。
ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

**商標について**
- Microsoftは、Microsoft Corporationの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMacは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- DCFは、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。

**お客様へのお願い**
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一誤りや記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、キヤノンお客様相談センターまでご連絡ください。
  連絡先は、別紙の『サポートガイド』に記載しています。
- 本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要になったときは、回収・リサイクルに出してください。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

# ⚠安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

## ⚠警告

- 本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをお使いの方で異常を感じた場合は、本製品から離れて、医師にご相談ください。
- ここには、取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ず以下の警告事項をお守りください。

| | |
|---|---|
| **設置場所について** | アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに置かないでください。 |
| **電源について** | 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 |
| | 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。 |
| | 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。 |
| | ふたまたソケットなどを使ったタコ足配線をしないでください。 |
| | 電源コードを束ねたり、結んだりして使わないでください。 |
| | 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。<br>そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 |
| | 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。<br>ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因となります。 |
| | 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。火災・感電・故障の原因になります。 |
| | 本製品に付属されている電源コードをご使用ください。<br>なお、本製品の動作条件は次のとおりです。この条件にあった電源でお使いください。<br>電源電圧：AC 100V　電源周波数：50/60 Hz |
| **お手入れについて** | 清掃のときは、水で湿らせた布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。<br>本製品内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。 |
| | 清掃のときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。<br>清掃中に誤って本製品の電源が入ると、けがや本製品の損傷の原因となることがあります。 |
| **取扱いについて** | 本製品を分解、改造しないでください。<br>内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。 |
| | 本製品のカメラ接続部、ケーブル接続部などには、定められたもの以外は接続しないでください。<br>火災や感電の原因になります。 |
| | 本製品の近くでは、可燃性の高いスプレーなどは使用しないでください。<br>スプレーのガスが内部の電気部品に触れて、火災や感電の原因になります。 |

## ⚠注意

- ここには、取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ず以下の注意事項をお守りください。

| | |
|---|---|
| **設置場所について** | 不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。 |
| | 湿気やほこりの多い場所、屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。<br>次の使用環境でお使いください。温度：5℃～ 35℃　湿度：10% RH ～ 90% RH |
| | 毛足の長いじゅうたんやカーペットの上には置かないでください。<br>毛やほこりなどが製品の内部に入り込んで火災の原因となることがあります。 |
| | 本製品背面を壁につけて置かないでください。 |
| **電源について** | 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。<br>コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。 |
| | 延長電源コードは使用しないでください。 |
| | いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周囲にはものを置かないでください。 |
| | 万一の感電を防止するために、コンピュータのアース接続をお勧めします。 |
| **取扱いについて** | 印刷中は本製品の中に手を入れないでください。<br>内部で部品が動いているため、けがの原因となることがあります。 |
| | 本製品を運ぶときは、必ず両側下部分を両手でしっかりと持ってください。 |
| | 本製品の上にものを置かないでください。 |
| | 本製品の上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。 |
| | 万一、異物（金属片や液体など）が本製品内部に入った場合は、電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 |
| | 本製品を使用／輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。<br>インクが漏れるおそれがあります。 |
| | 原稿台ガラスに厚い本などをセットするときは、原稿台カバーを強く押さえないでください。<br>原稿台ガラスが破損して、けがの原因になることがあります。 |

| プリントヘッド／インクタンクについて | お子様の手の届かないところに保管してください。 誤ってインクをなめたり、飲んだりした場合は、口をすすがせるか、コップ１、２杯の水を飲ませてください。 万一、刺激や不快感が生じた場合には、直ちに医師にご相談ください。 |
|---|---|
| | インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。 インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。 万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。 |
| | 印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。<br>熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。  |
| | インクタンクを火中に投じないでください。 |
| | プリントヘッドやインクタンクを分解したり、改造したりしないでください。 |

- 蛍光灯などの電気製品の近くに置くときのご注意
  蛍光灯などの電気製品と本製品は約 15cm以上離してください。近づけると蛍光灯のノイズが原因で本製品が誤動作することがあります。
- 電源プラグを抜くときのご注意
  電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源ボタンを押して選択しているモードボタン（コピーボタンなど）の点滅が終わり、操作パネルのランプがすべて消灯していることを確認してください。操作パネルのランプが消える前に電源プラグを抜くと、プリントヘッドを保護できずその後印刷できなくなることがあります。
- 無線LAN通信時のご注意
  電子レンジの近くに設置すると、通信状態が悪くなる可能性があります。
  無線LANに使用されている周波数は電子レンジと同じであるため、電子レンジ使用中は相互干渉により通信状態が悪くなる可能性があります。

# 電波について

## 使用上の注意

- 本製品は日本国内仕様です。日本国外では使用できません。
- 本製品は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備であり、筐体内部を開けること、および内部の回路等を改造することは法律で禁じられています。
- 医療用の装置や電子機器の近くで本製品を使用しないでください。
電波によりそれらの装置や電子機器の動作に影響を与える恐れがあります。

## 電波干渉に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

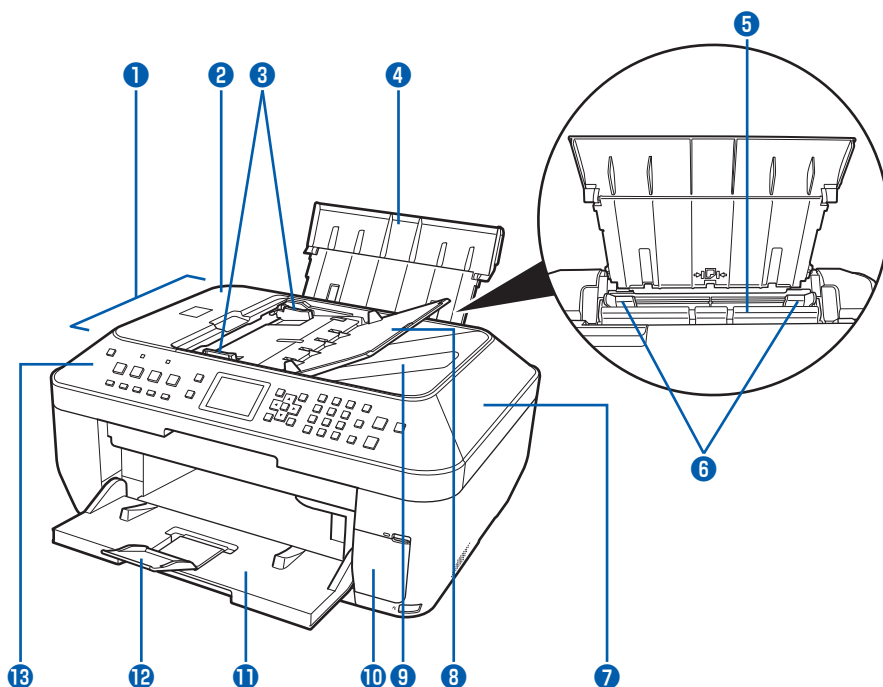
① 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
② 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、「サポートガイド」を参照し、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
③ その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「サポートガイド」を参照し、お問い合わせください。

④ 2.4 DS/OF 4
この表示のある無線機器は2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SSまたはOFDM変調方式を採用し、移動体識別装置の構内無線局に対して想定される与干渉距離は40mです。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

# 本製品について知っておこう

ここでは、製品の各部名称や、製品を使用する前に知っておいていただきたい基本操作について説明しています。

# 各部の名称と役割

## 前面

**❶ ADF（自動原稿給紙装置）**
コピー、スキャン、ファクス送信を行う原稿をセットします。原稿トレイにセットした原稿を、1枚ずつ自動的に読み込みます。⇒P.123

**❷ 原稿フィーダカバー**
原稿の紙づまりを処理するときに開きます。

**❸ 原稿ガイド**
ADF（自動原稿給紙装置）にセットした原稿の幅に合わせて、このガイドを調整します。

**❹ 用紙サポート**
後トレイに用紙をセットするときに、引き出して奥に傾けて使用します。

**❺ 後（うしろ）トレイ**
本製品で使用できるさまざまなサイズ、種類の用紙をセットできます。一度に同じサイズ、種類の用紙を複数枚セットでき、自動的に1枚ずつ給紙されます。⇒P.111

**❻ 用紙ガイド**
動かして用紙の両端に合わせます。

**❼ 原稿台カバー**
原稿台ガラスに原稿をセットするときに開きます。

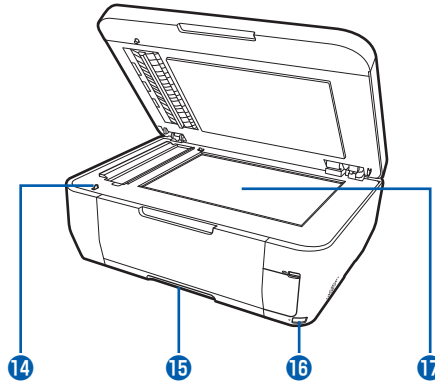
**❽ 原稿トレイ**
ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットするときに開きます。一度に同じサイズ、厚さの原稿を複数枚セットすることができます。原稿は読み込む面を上向きにして、セットしてください。

**❾ 原稿排紙口**
原稿トレイから読み込んだ原稿が排紙されます。

**❿ カードスロットカバー**
メモリーカードをセットするときに開きます。
⇒P.48

**⓫ 排紙トレイ**
コピーや印刷が開始されると自動的に開き、印刷された用紙が排出されます。

**⓬ 補助トレイ**
用紙を支えるために手前に開いて使用します。
印刷するときは開いてください。

**⓭ 操作パネル**
本製品の設定や操作をするときに使用します。
⇒P.16

### ⑭ スキャナユニット検知ボタン

原稿台カバーを開いている間、スキャナユニット（カバー）をロックするボタンです。原稿台カバーを閉じるとボタンが押され、スキャナユニット（カバー）を開くことができます（このボタンの操作は不要です）。⇒P.15

### ⑮ カセット

A4、B5、A5、レターサイズの普通紙をセットして、本体に差し込みます。一度に同じサイズの用紙を複数枚セットでき、自動的に1枚ずつ給紙されます。
⇒P.109

### ⑯ カメラ接続部

デジタルカメラなどのPictBridge対応機器や、オプションのBluetoothユニットBU-30から印刷するときに、ここに接続します。⇒P.101
また、スキャンしたデータを保存するUSBフラッシュメモリーもここに取り付けます。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

**⚠警告**

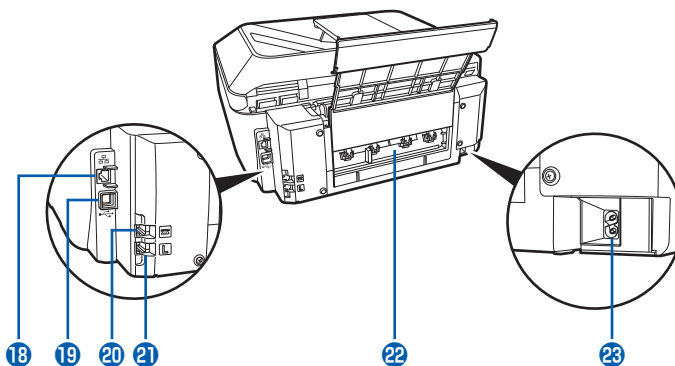
- 本製品のカメラ接続部には、PictBridge対応機器、BluetoothユニットBU-30（オプション）およびUSBフラッシュメモリー以外は接続しないでください。火災や感電、本製品の損傷の原因となる場合があります。

**重　要**

- 金属部分に触れないでください。
- PictBridge対応機器を接続する場合は、3mを超える長さのUSBケーブルを使用すると周辺の機器の動作に影響を与える可能性がありますので、使用しないでください。

### ⑰ 原稿台ガラス

コピー、スキャン、ファクス送信を行う原稿をセットします。

## 背面

### ⑱ LANケーブル接続部

LANケーブルでネットワーク接続するためのコネクタです。

**重　要**

- 金属部分に触れないでください。

### ⑲ USBケーブル接続部

USBケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

**重　要**

- 金属部分に触れないでください。
- パソコンに本製品を接続して印刷または画像をスキャンしているときに、USBケーブルを抜き差ししないでください。

### ⑳ 外付け機器接続部

電話機や留守番電話機、パソコンのモデムを接続します。

**重　要**

- 金属部分に触れないでください。

**参　考**

- 外付け機器接続部に電話機などを接続するときは、外付け機器接続部のカバーを取り外してください。

### ㉑ 電話回線接続部

電話回線と接続します。

**⚠注意**

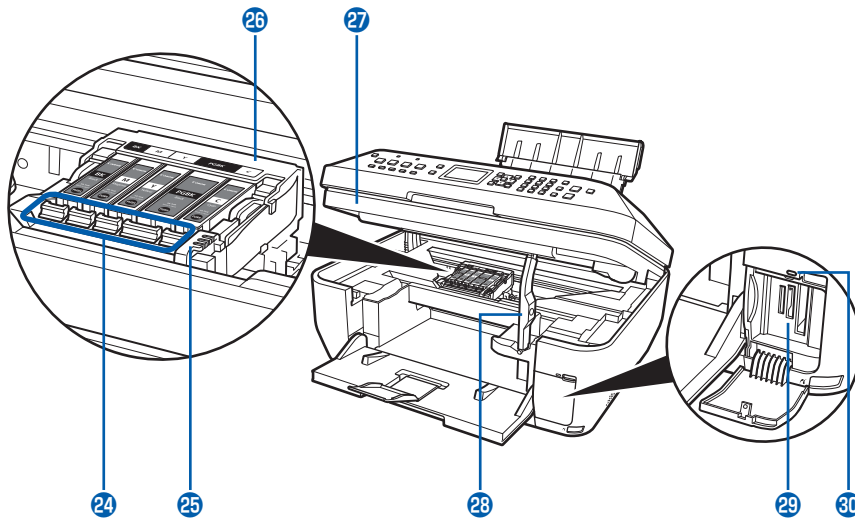
- 金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。

### ㉒ 背面カバー

紙づまりのときに取り外し、つまった用紙を取り除きます。⇒P.168

### ㉓ 電源コード接続部

付属の電源コードを接続するためのコネクタです。

## 内部

**㉔ インクランプ**
赤色に点灯／点滅し、インクタンクの状態を知らせます。
⇒「インクの状態を確認する」（P.130）

**㉕ プリントヘッド固定レバー**
プリントヘッドを固定します。

**重　要**

- プリントヘッドを取り付けたら、このレバーを上げないでください。

**㉖ プリントヘッドホルダ**
プリントヘッドを取り付けます。

**㉗ スキャナユニット（カバー）**
原稿をスキャンするユニットです。インクタンクを交換するときやインクランプを確認するとき、内部につまった用紙を取り除くときに開きます。開くときには、原稿台カバーと一緒に持ち上げます。

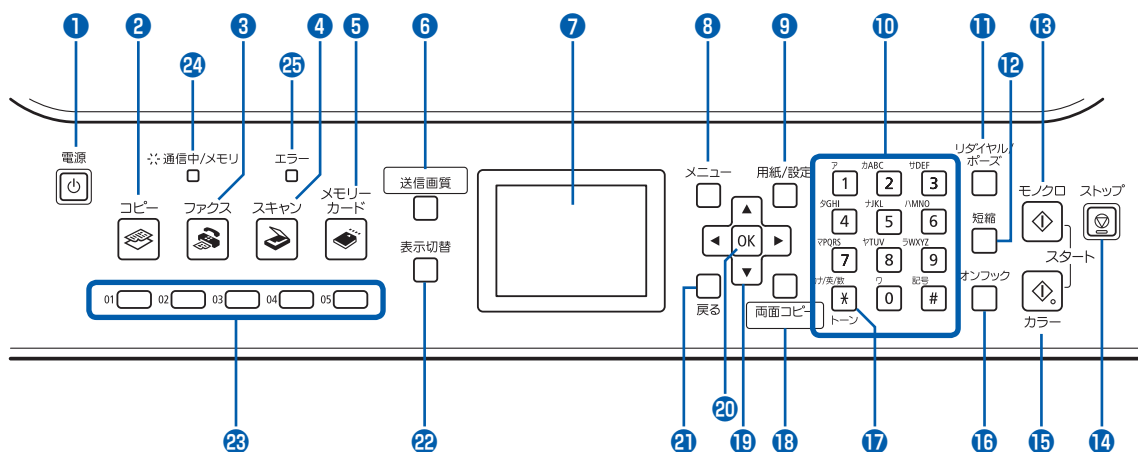
**㉘ スキャナユニットサポート**
スキャナユニット（カバー）を開けたときに、スキャナユニット（カバー）を固定させます。

**㉙ カードスロット**
メモリーカードをセットします。⇒P.48

**㉚ アクセスランプ**
点灯または点滅し、メモリーカードの状態を知らせます。⇒P.49

**参　考**

- プリントヘッドとインクタンクの取り付け方法は、『かんたんスタートガイド』を参照してください。

# 操作パネル

**❶ 電源ボタン**

電源を入れる／切るときに押します。電源を入れるときは、原稿台カバーを閉じてください。

重　要

**電源プラグを抜くときは**

- 電源を切ったあと、必ず操作パネルのランプがすべて消えたことを確認してから電源プラグを抜いてください。操作パネルのランプが消える前に電源プラグを抜くと、プリントヘッドが保護されないため、その後正しく印刷できなくなることがあります。
- 電源プラグを抜くと、日付・時刻情報とメモリに保存されているファクスがすべて削除されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷しておいてください。

参　考

- 本製品は電源を切るとファクスを受信することができません。
- ファクスの送受信中や未送信のファクスがメモリに保存されている場合は電源を切ることができません。

**❷ コピーボタン**

コピーモードに切り替えます。また、電源を入れたときに点滅します。

**❸ ファクスボタン**

ファクスモードに切り替えます。

**❹ スキャンボタン**

スキャンモードに切り替えます。

**❺ メモリーカードボタン**

メモリーカードモードに切り替えます。

**❻ 送信画質ボタン**

ファクスを送信するときの読み取り解像度や濃度を設定します。

**❼ 液晶モニター**

メッセージやメニュー項目、動作状況などが表示されます。

参　考

- 5分間操作をしないと画面が消灯します。そのときは、操作パネルで電源ボタン以外のボタンを押すか、印刷の操作をすると復帰します。また、ファクスの受信でも復帰します。

**❽ メニューボタン**

メニューを表示するときに使用します。

**❾ 用紙／設定ボタン**

用紙サイズや用紙の種類、または画像補正など、各モードごとに設定できる項目を変更するときに使用します。

**❿ テンキー**

数値やコピー部数などを入力します。また、ファクス／電話番号や文字を入力するときに使用します。

**⓫ リダイヤル／ポーズボタン**

テンキーを使用して送信した番号を一覧で表示し、選択した番号にリダイヤルします。また、ダイヤルするときやデータを登録するときに、番号と番号の間にポーズを入れます。

**⑫ 短縮ボタン**

電話番号検索画面に登録名の一覧が表示されます。
\# ボタンを押すと短縮番号の一覧が表示され、送信先に指定する番号を、登録名の一覧または短縮番号の一覧から指定できます。
登録名の一覧では、登録済みの名前の先頭文字を入力すると、その文字から始まるファクス／電話番号やグループダイヤルを検索することができます。
短縮番号の一覧では、番号を入力すると、該当する短縮番号を先頭に短縮番号の一覧が表示されます。

**⑬ モノクロスタートボタン**

白黒コピー、白黒スキャン、または白黒ファクス送信をするときなどに押します。

**⑭ ストップボタン**

印刷中やファクス送信中、スキャン中にこのボタンを押すと、印刷やファクス送信、スキャンを中止します。

**⑮ カラースタートボタン**

カラー印刷、カラーコピー、カラースキャン、またはカラーファクス送信をするときに押します。

**⑯ オンフックボタン**

電話回線に接続するときと、切るときに使用します。

**⑰ トーンボタン**

一時的にプッシュ信号に切り替えたり、文字を入力するときに入力モードを切り替えたり、テンキーを使用してダイヤルするときに使用します。また、メモリーカードモードで印刷する写真をトリミングするときに押します。

**⑱ 両面コピーボタン**

両面コピーの設定をします。

**⑲ ▲▼◀▶ ボタン**

コピー部数やメニュー項目、設定項目などを選ぶときに使います。液晶モニターに▲／▼／◀／▶と表示されているところは、それぞれのボタンで操作することができます。
また、文字を入力するときは、◀で入力した文字を消し、▶で文字の間にスペースを入力します。

**⑳ OK ボタン**

メニュー項目や設定項目を確定するときに押します。
また印刷途中でのエラーから復帰するときや、紙づまりを取り除いたあと、復帰するときも押します。
また、ADF（自動原稿給紙装置）にある原稿を排紙します。

**㉑ 戻るボタン**

一つ前の画面に戻ります。

**㉒ 表示切替ボタン**

メモリーカードの画像表示をフルスクリーン表示や４画像表示に切り替えます。

**㉓ ワンタッチダイヤルボタン**

登録されているファクス／電話番号またはグループに、ワンタッチでダイヤルするときに使用します。

**㉔ 通信中／メモリランプ**

回線使用中にランプが点滅します。また、メモリに原稿があるときはランプが点灯します。

**㉕ エラーランプ**

用紙やインクがなくなったときなど、エラーが発生したときにオレンジ色に点灯または点滅します。

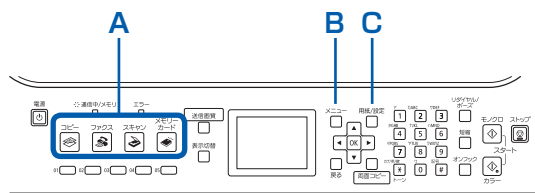
参　考

- ボタン操作をすると音が鳴ります。音量の設定については、「本製品の設定について」（P.102）を参照してください。

# 液晶モニター画面の基本操作

本製品では、パソコンを使用しなくても本製品の操作だけでメモリーカードの写真を印刷したり、コピーやファクス、スキャンの操作が可能です。
液晶モニターに表示されるメニュー画面や設定画面から、本製品のいろいろな機能を使用できます。
ここでは、各モードごとに表示されるメニュー画面や用紙／設定画面の基本的な使いかたについて説明します。

## 各モードの基本操作

初めに、モードボタン（A）を押して目的に合わせたモードに切り替えます。
次に、メニューボタン（B）で各モードごとに選択できる機能を選びます。
また、各モードで、印刷する用紙サイズや種類、補正などの設定を変更するときには、用紙／設定ボタン（C）を押します。

参　考

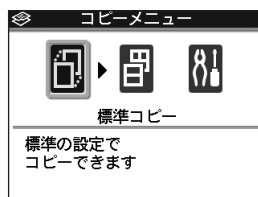
- ▲▼◀▶ボタンで項目を選び、OKボタンで確定します。
- 戻るボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。
- スキャンボタンを押すと、スキャンデータの処理メニューが表示され、スキャンしたデータをパソコンに保存するか、セットしたUSBフラッシュメモリーまたはメモリーカードに保存するかを選ぶことができます。
- メモリーカードボタンを押すと、カードメニューが表示され、メモリーカードの写真を選んで印刷したり、いろいろなレイアウトで印刷するかを選ぶことができます。
- 各項目については、次の「メニュー項目について」を参照してください。
- お手入れや本体設定の機能を選択する［設定］は、どのモードでもメニューボタンを押したときに表示されます。

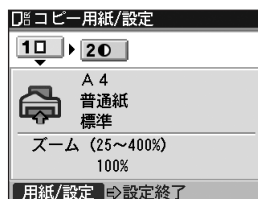
## メニュー項目について

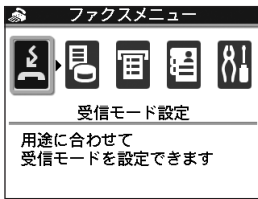
参　考

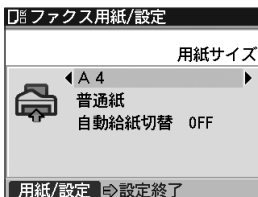
- メンテナンスについては、「お手入れ」（P.125）を参照してください。

### コピーモード

■ コピーメニュー画面

**標準コピー ⇒P.52**
**いろいろなコピー ⇒P.55**
両面コピー
2 in 1 コピー
4 in 1 コピー
フチなしコピー
繰り返しコピー
ページ順にコピー
色あせ補正コピー
枠消しコピー
シール紙コピー
絵はがき風コピー
とじしろコピー
パンチ穴消しコピー
**設定 ⇒P.20**

■ コピー用紙／設定画面 ⇒P.54

## ファクスモード

### ■ ファクスメニュー画面

**受信モード設定 ⇒P.35**
　ファクス優先モード
　ファクス専用モード
　電話優先モード
**メモリ照会 ⇒P.94**
　原稿リスト印刷
　指定原稿印刷
　指定原稿削除
　受信原稿を一括印刷
　メモリ内原稿を一括削除
**レポート／リスト印刷 ⇒P.94**
　通信管理レポート
　電話番号リスト
　ユーザデータリスト
　原稿リスト
　通信拒否番号リスト
**電話番号登録 ⇒P.95**
　ワンタッチダイヤル
　短縮ダイヤル
　グループダイヤル
　通信拒否番号
**設定 ⇒P.20**

### ■ ファクス用紙／設定画面 ⇒P.87

## スキャンモード

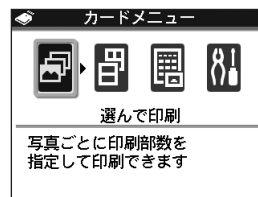
### ■ スキャンデータの処理画面

**パソコン ⇒P.60**
**USBメモリー ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）**
**メモリーカード ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）**
**設定 ⇒P.20**

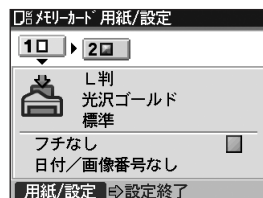
### ■ 読取＆保存設定画面

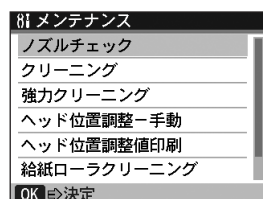
スキャンデータの処理で［USBメモリー］または［メモリーカード］を選んだときに用紙／設定ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

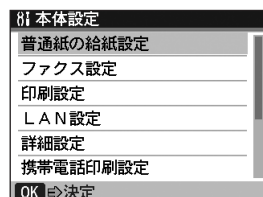
## メモリーカードモード

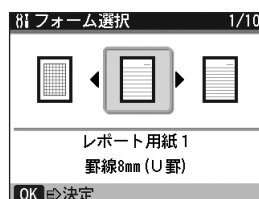
### ■ カードメニュー画面

**選んで印刷 ⇒P.40**
**いろいろな印刷 ⇒P.45**
　レイアウト印刷
　シール紙印刷
　すべてを印刷
　インデックス印刷
　DPOF印刷
　撮影情報印刷

**フォトナビシート ⇒P.44**
　フォトナビシート印刷
　シート読取＆印刷
**設定 ⇒P.20**

## ■ メモリーカード用紙／設定画面 ⇒P.43

# 設定

## ■ メンテナンス画面

**ノズルチェック ⇒P.133**
**クリーニング ⇒P.135**
**強力クリーニング ⇒P.136**
**ヘッド位置調整ー手動 ⇒P.137**
**ヘッド位置調整値印刷 ⇒P.137**
**給紙ローラクリーニング ⇒P.139**
**インクふき取り ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）**

## ■ 本体設定画面

**普通紙の給紙設定 ⇒P.102**
**ファクス設定 ⇒P.102**
　基本設定
　送信機能設定
　受信機能設定
**印刷設定 ⇒P.102**
　用紙のこすれ改善
　コピーフチはみ出し量
**LAN設定 ⇒P.102**
　LAN有線／無線の切替
　無線LAN接続設定
　無線LAN設定表示
　有線LAN設定表示
　IPv4/IPv6設定
　WSD設定
　LAN設定情報印刷
　LAN設定リセット
**詳細設定 ⇒P.102**
　カード書き込み状態
　音量調整
　サイレント設定
　キーリピート
　両面排紙設定
**携帯電話印刷設定* ⇒P.103**
　用紙サイズ
　用紙の種類
　携帯画像補正
　レイアウト
＊ オプションのBluetoothユニットを取り付けたときのみ表示されます。
**Bluetooth通信設定* ⇒P.103**
　機種名選択
　アクセス拒否設定
　セキュリティ設定
　パスキー変更
＊ オプションのBluetoothユニットを取り付けたときのみ表示されます。
**PictBridge印刷設定 ⇒P.103**
**言語選択 ⇒P.103**
**設定リセット ⇒P.103**
　電話番号登録のみ
　設定値のみ
　両方リセット

## ■ 定型フォーム印刷 ⇒P.98

## 用紙／設定画面の基本操作

コピーモードやファクスモード、メモリーカードモードで印刷するときや、スキャンモードでUSBフラッシュメモリー、メモリーカードに保存するときに、用紙／設定ボタンを押すことで、各モードごとの設定を変更することができます。
印刷する用紙サイズや用紙の種類、補正方法などの設定を変更できます。
ここでは、メモリーカードモードの用紙サイズを［L判］に設定する操作を例に、設定変更の手順について説明します。
パソコンから印刷する場合は、「パソコンから印刷してみよう」（P.65）を参照してください。

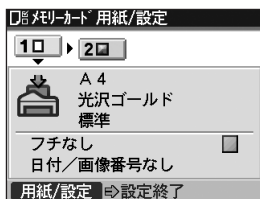
参　考

- PictBridge対応機器やワイヤレス通信対応機器から印刷するとき、設定を変更する場合は、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

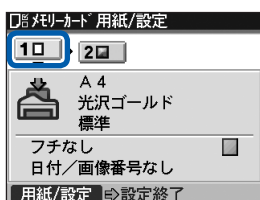
## 1 用紙／設定画面を表示する

**1** **メモリーカードボタンを押し、メモリーカードモードに切り替える**

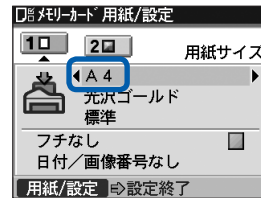
**2** **用紙／設定ボタンを押す**

用紙／設定画面が表示されます。

## 2 設定タブを選ぶ

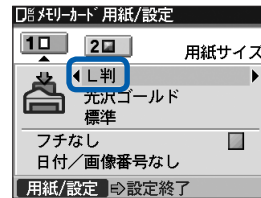
**1** **◀▶ ボタンで設定タブを選ぶ**

例：設定タブ１を選びます。

## 3 設定項目を選ぶ

**1** **▲▼ボタンで設定項目を選ぶ**

例：［A4］にカーソルを合わせます。

## 4 選択項目を表示する

**1** **◀▶ ボタンで設定項目を変更する**

例：［L判］に変更します。

## 5 設定変更を終了する

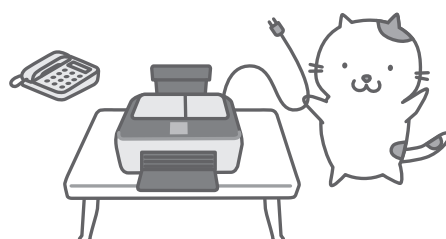
**1** **用紙／設定ボタンを押す**

参　考

**用紙／設定画面の設定項目について**

- コピーモードの設定項目について⇒P.54
- メモリーカードモードの設定項目について⇒P.43
- ファクスモードの設定については、「ファクス受信の準備をする」（P.87）を参照してください。
  また、送信画質ボタンで送信ファクスの画質や濃度を設定できます。詳しくは「送信画質を設定する」（P.83）を参照してください。
- スキャンモードでUSBフラッシュメモリーやメモリーカードに保存するときの設定項目、ワイヤレス通信やPictBridgeの設定項目について
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

# 本製品の設置について

本製品のファクス機能をご使用になる前に必要な、本製品の代表的な接続方法や基本設定について説明します。

# 電話回線の接続を確認する

本製品の基本的な接続方法については、『かんたんスタートガイド』を参照してください。本書では、それ以外の方法について代表的な例を紹介します。
接続が誤っているとファクスの送受信ができませんので、正しく接続されていることを確認してください。

重　要

**予期せず電源が切れたとき**

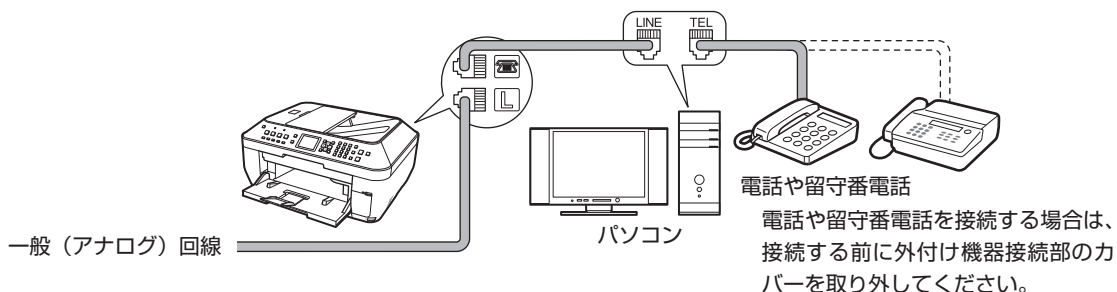
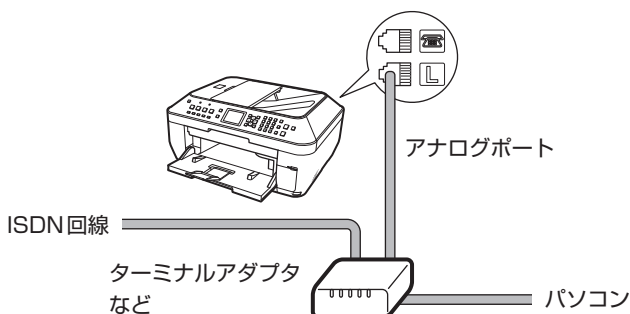
- 停電で電源が切れてしまったときや、誤って電源プラグをコンセントから抜いてしまった場合、本製品で設定した日付や時間はリセットされます。また、メモリに保存されているファクスはすべて消去されます。ただし、ユーザデータやワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、通信拒否番号の設定は保持されます。

電源が切れると、次のような状態になります。

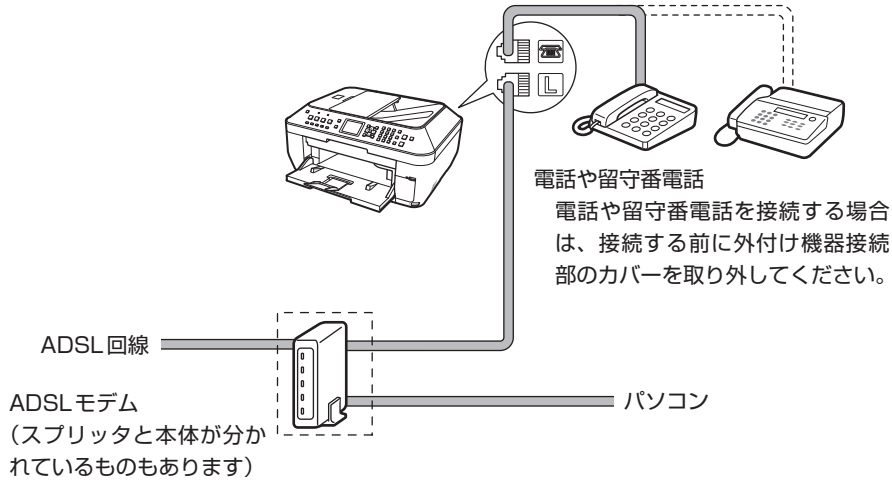
- ファクスの送受信やコピー、スキャンはできません。
- 電話機を接続している場合、電話がご使用できるかどうかは、ご契約の電話回線や電話機により異なります。

## さまざまな回線に接続する

次の接続方法は代表例です。すべての接続を保証するものではありません。詳しくは、本製品と接続するネットワーク機器（ADSL（Asymmetric Digital Subscriber Line）モデムやターミナルアダプタなどの制御装置）に付属している取扱説明書を参照してください。

### パソコンを経由して電話や留守番電話を接続する

### ISDN回線に接続する

参　考

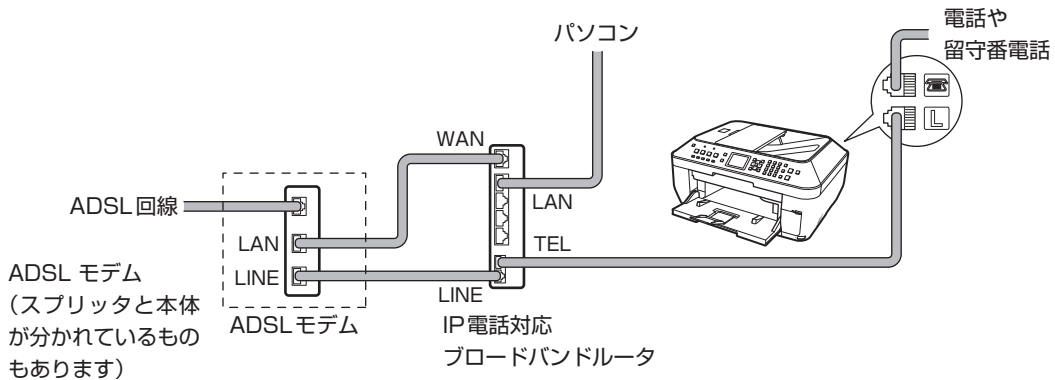
- ISDN回線に接続するときは、回線種別でプッシュ回線（トーン）を選んでください。

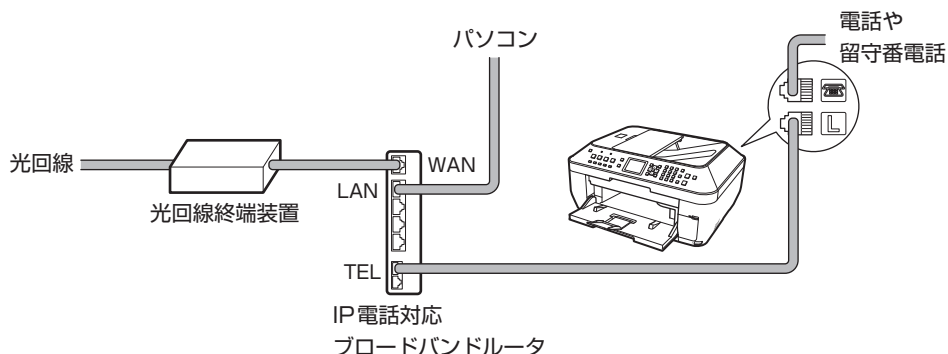
## ADSL回線に接続する

**重　要**

- スプリッタより前（壁側）で電話線を分岐しないでください。また、スプリッタを複数並列接続する場合は、ご使用のインターネット・プロバイダの窓口にお問い合わせください。

**参　考**

- ADSL回線に接続するときは、回線種別でご契約のタイプと同じタイプ（プッシュ回線/ダイヤル回線 20PPS/ダイヤル回線 10PPSのいずれか）の回線を選択してください。

## IP電話に接続する

※ 接続ポートの構成や名称などは、商品により異なります。

## 光回線（ひかり電話）に接続する

※ 接続ポートの構成や名称などは、商品により異なります。

参　考

- 光回線（ひかり電話）に接続するときは、回線種別でプッシュ回線（トーン）を選んでください。

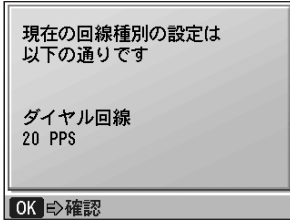
## 電話回線の種類を設定する

本製品には、電源コードを接続して電源を入れたとき、電話回線の種類を自動的に判別して設定する機能があります。ただし、ADSL回線、光回線、または構内交換機（PBX）などの制御装置に接続している場合、正しく判別されないことがあります。回線の種類が自動的に正しく設定されなかった場合は、［回線種類自動判別］を［しない］に設定し、回線種別を手動で設定してください。

参　考

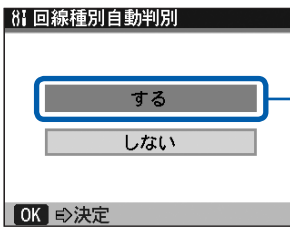
- ISDN回線または光回線に接続するときは、回線種別を手動でプッシュ回線（トーン）に設定してください。
- ユーザデータリストを印刷すると、現在の設定を確認できます。
  詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

### 1 回線種別自動判別の設定画面を表示する

1. ファクスボタンを押してから、メニューボタンを押す
2. ◀▶ボタンで［設定］を選び、OKボタンを押す
3. ◀▶ボタンで［本体設定］を選び、OKボタンを押す
4. ▲▼ボタンで［ファクス設定］を選び、OKボタンを押す
5. ▲▼ボタンで［基本設定］を選び、OKボタンを押す

6 ▲▼ボタンで［回線種別自動判別］を選び、OKボタンを押す

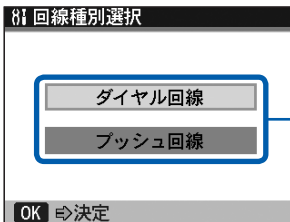
回線種別の確認画面が表示されます。

7 OKボタンを押す

## 2 回線種別を設定する

**回線種別を自動判別する場合：**

1 ▲▼ボタンで［する］を選び、OKボタンを押す

回線種別を自動で検出したあと、設定完了画面が表示されます。

2 OKボタンを押す

**回線種別を手動で設定する場合：**

1 ▲▼ボタンで［しない］を選び、OKボタンを押す

2 ▲▼ボタンで回線種別を選び、OKボタンを押す

ダイヤル回線：パルス式電話機の場合に選択します。
プッシュ回線：トーン式電話機の場合に選択します。

**［ダイヤル回線］を選んだ場合：**
ダイヤル速度を選択する画面が表示されるので、［20PPS］または［10PPS］を選んだあと、OKボタンを押します。

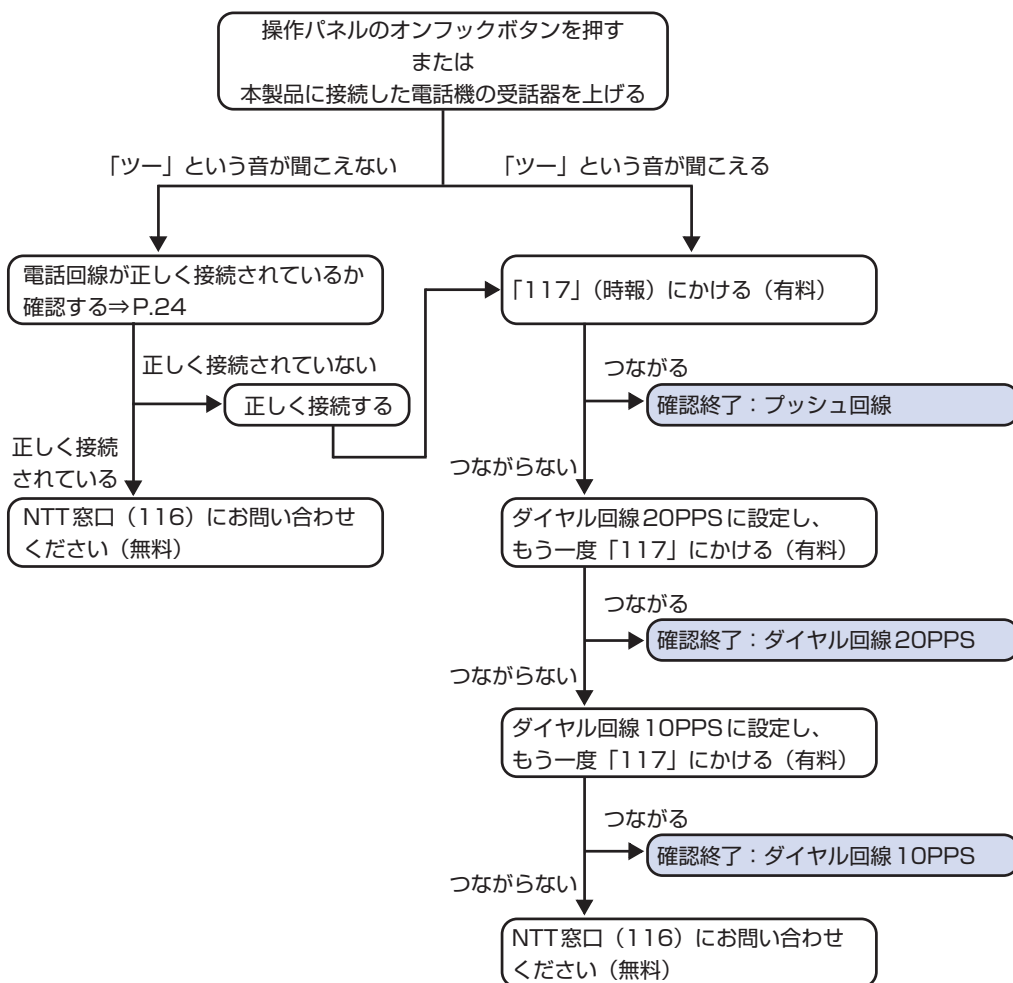
**［プッシュ回線］を選んだ場合：**
基本設定画面に戻ります。

参　考

- ご使用の電話回線の種類（ダイヤル回線／プッシュ回線）がわからない場合は、「電話回線種別を確認する」（P.28）にしたがって確認してください。

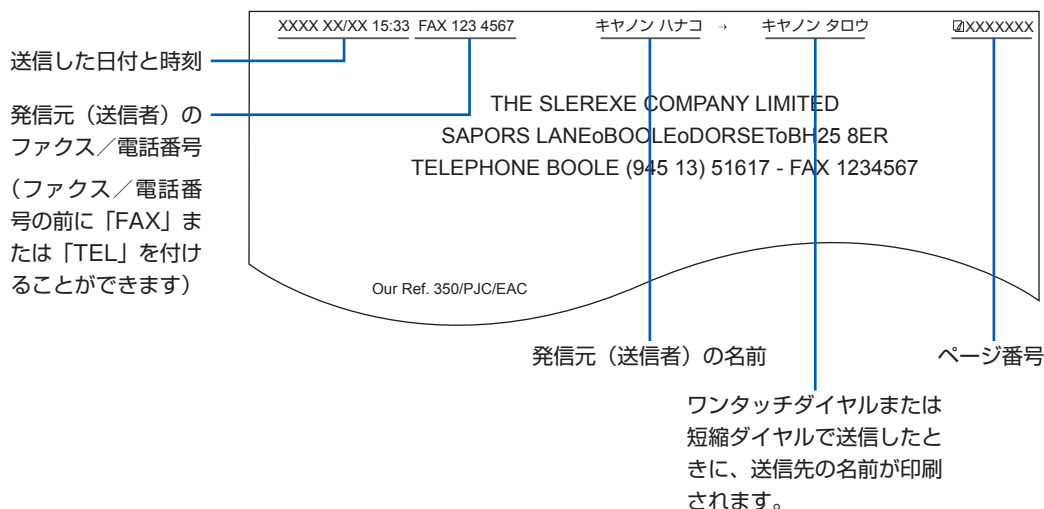
## 3 ファクスボタンを押して、ファクス待機画面に戻る

## 電話回線種別を確認する

ご使用の電話回線の種類（ダイヤル回線／プッシュ回線）がわからない場合は、次の手順にしたがってご確認ください。

# 本製品の基本的な設定をする

## 発信元情報を登録する

ファクスを受信すると、用紙の一番上に送信者の名前や会社名、ファクス／電話番号、送信した日付と時刻が印刷されていることがあります。これが発信元情報です。
この発信元情報を登録して本製品からファクスを送信すると、受信者は発信元（送信者）の名前や送信日時を知ることができます。

発信元情報は、次のように印刷されます。

参　考

**発信元情報の設定について**

- 発信元情報については、本書で説明している以外に以下の設定や制限事項があります。
  詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
  －白黒ファクス送信のときは、画像領域の内側と外側のどちらに発信元情報をつけるかを設定できます。
  －カラーファクス送信のときは、画像領域の内側に発信元情報が設定されます。また、送信先の名前は印刷されません。
  －ファクス／電話番号の前にFAXまたはTELを付加することができます。
  －日付には３つの表示形式があり、必要に応じて変更できます。
  －ユーザデータリストを印刷して、登録した発信元情報を確認することができます。

# 文字や数字を入力する

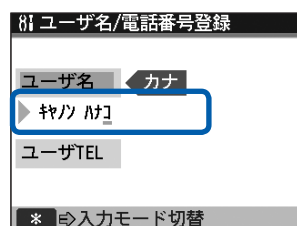
本製品のテンキーに割り当てられている文字は、次のとおりです。

| ボタン | カナモード（：ア） | 英字モード（：A） | 数字モード（：1） |
|---|---|---|---|
| 1 | アイウエオァィゥェォ | | 1 |
| 2 | カキクケコ | A B C a b c | 2 |
| 3 | サシスセソ | D E F d e f | 3 |
| 4 | タチツテトッ | G H I g h i | 4 |
| 5 | ナニヌネノ | J K L j k l | 5 |
| 6 | ハヒフヘホ | M N O m n o | 6 |
| 7 | マミムメモ | P Q R S p q r s | 7 |
| 8 | ヤユヨャュョ | T U V t u v | 8 |
| 9 | ラリルレロ | W X Y Z w x y z | 9 |
| 0 | ワヲン | | 0 |
| # | ゛ ゜ 。 「 」 、 ・ ー | - . SP* * # ! " , ; : ^ ` _ = / ¦ ' ? $ @ % & + ( ) [ ] { } < > | |
| ⋇ | カナモード（：ア） → 英字モード（：A） → 数字モード（：1） →（カナモードに戻る） | | |

＊「SP」は空白を表します。

発信元情報やワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの名前やファクス／電話番号を登録する場合には、次の手順にしたがって文字や数字を入力してください。

## 1 トーン（⋇）ボタンを押して、入力モードを切り替える

**例：カナ入力**

カナ入力（：ア）、英字入力（：A）、数字入力（：1）を切り替えます。
［ユーザ名］、［名前］、または［グループ名］の右側に、選択された入力モードが表示されます。

**参　考**

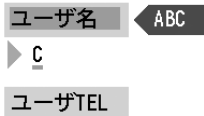
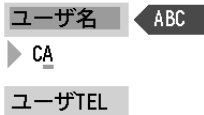
- ここではユーザ名や電話番号を登録する場合について説明しています。［ユーザ名／電話番号登録］画面を表示する方法については、「ユーザ名とファクス／電話番号を登録する」（P.33）を参照してください。

## 2 テンキーで、文字を入力する

入力する文字が表示されるまで繰り返し押します。

**次に入力したい文字が同じボタンに割り当てられているとき（例：「C」のあとに「A」を入力する場合）：**

▶ボタンを押してから、同じボタンをもう一度押します。

**1** **2ボタンを３回押す**

**2** **▶ボタンを押してから2ボタンをもう１度押す**

**スペースを入力するとき：**

▶ボタンを２回押します（数字入力時は１回）。

**文字を消去するとき：**

◀ボタンを押します。

**入力した文字をすべて消去するとき：**

◀ボタンを長押しします。

# 日付と時刻を登録する

参　考

- 日付は、［年 / 月 / 日］、［月 / 日 / 年］、［日 / 月 / 年］の３つの表示形式から選ぶことができます。
  詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- MP ドライバをインストールしたパソコンに本製品を接続すると、パソコンの日付と時刻の設定が本製品にコピーされます。パソコンで日付と時刻を正しく設定しておくと、本製品での設定を省略することができます。
- 電源プラグを抜いた場合や停電があった場合、本製品で設定した日付と時刻は消えますが、MP ドライバをインストールしたパソコンに接続すると、パソコンの設定どおりにセットされます。

## 1 日付／時刻設定画面を表示する

1 ファクスボタンを押してから、メニューボタンを押す

2 ◀▶ボタンで［設定］を選び、OK ボタンを押す

3 ◀▶ボタンで［本体設定］を選び、OK ボタンを押す

4 ▲▼ボタンで［ファクス設定］を選び、OK ボタンを押す

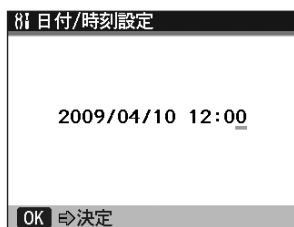
5 ▲▼ボタンで［基本設定］を選び、OK ボタンを押す

6 ▲▼ボタンで［日付/時刻設定］を選び、OK ボタンを押す

## 2 日付と時刻を入力する

日付/時刻設定

2009/04/10 12:00

OK ⇨決定

1 テンキーで、現在の日付と時刻（24時間形式）を入力する

西暦は下２桁を入力してください。

参　考

- ▲▼ボタンでも数値を変更することができます。
- 入力を間違えたときは、◀▶ボタンを押してカーソルを修正したい位置まで移動させ、正しく入力し直してください。

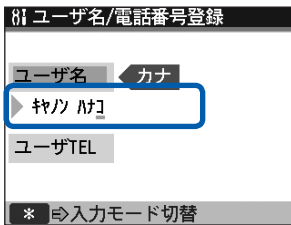
2 OK ボタンを押す

## 3 ファクスボタンを押して、ファクス待機画面に戻る

# ユーザ名とファクス／電話番号を登録する

## 1 [ユーザ名/電話番号登録]画面を表示する

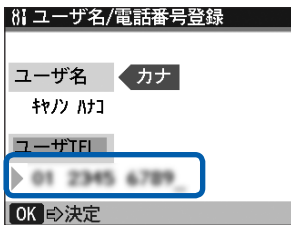
1 ファクスボタンを押してから、メニューボタンを押す
2 ◀▶ボタンで［設定］を選び、OKボタンを押す
3 ◀▶ボタンで［本体設定］を選び、OKボタンを押す
4 ▲▼ボタンで［ファクス設定］を選び、OKボタンを押す
5 ▲▼ボタンで［基本設定］を選び、OKボタンを押す
6 ▲▼ボタンで［ユーザ名/電話番号登録］を選び、OKボタンを押す

## 2 発信元の名前を入力する

1 テンキーで発信元の名前を入力する（スペースを含む最大24文字）

参　考

- 文字を入力する方法や消去する方法については、「文字や数字を入力する」（P.30）を参照してください。

2 OKボタンまたは▼ボタンを押す

## 3 ファクス／電話番号を入力する

1 テンキーで、ファクス／電話番号を入力する（スペースを含む最大20桁）
番号の前にプラス記号（＋）を入力するときは、ボタンを押します。

参　考

- 文字を入力する方法や消去する方法については、「文字や数字を入力する」（P.30）を参照してください。

2 OKボタンを押す

## 4 ファクスボタンを押して、ファクス待機画面に戻る

# そのほかの基本設定について

［ファクス設定］の［基本設定］を選ぶと、以下のような項目を設定できます。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

## 自動印刷

ファクスを受信したとき、自動的に受信したファクスを印刷することができます。
［しない］に設定すると、受信したファクスはメモリに保存され、送／受信結果レポート、マルチ通信結果レポート、通信管理レポートを自動で印刷できません。

## 日付表示形式

液晶モニター、または送信ファクスに印刷される日付の表示形式を変更することができます。
表示形式には、［年／月／日］、［月／日／年］、［日／月／年］の３とおりがあります。

## 発信元記録位置

発信元情報を印刷する位置（画像領域の外または画像領域の中）を変更することができます。
印刷位置を選んだあとに、ファクス／電話番号の前に付ける文字（［FAX］または［TEL］）を選びます。

## オフフックアラーム

電話機の受話器が外れているとき、警告音を鳴らすかどうかを設定することができます。

## 音量調整

呼び出し音や通信音などの音量を調節することができます。

## 呼び出し音質

本製品の呼び出し音の音質を変更することができます。

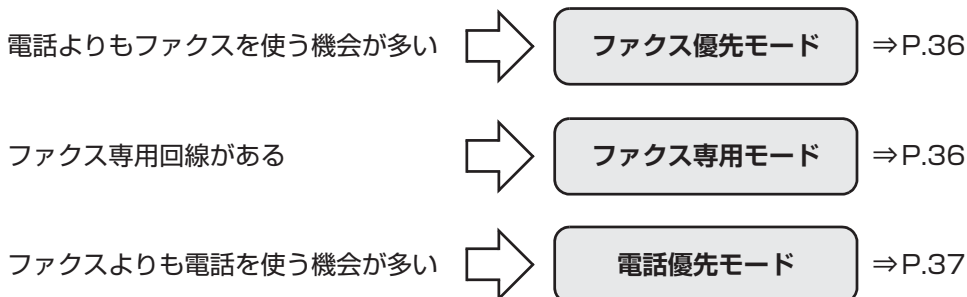
## 通信管理レポート

送受信したファクスの履歴が印刷されます。お買い上げ時は、20回通信するごとに自動的に印刷される設定になっています。このレポートは手動で印刷することもできます。

# 受信モードを設定する

## 受信モードを選ぶ

受信のしかたには、次の3とおりの方法があります。ご使用の用途に合わせて受信モードを選んでください。

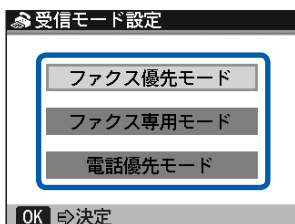
| | | |
|---|---|---|
| 電話よりもファクスを使う機会が多い | **ファクス優先モード** | ⇒P.36 |
| ファクス専用回線がある | **ファクス専用モード** | ⇒P.36 |
| ファクスよりも電話を使う機会が多い | **電話優先モード** | ⇒P.37 |

参　考

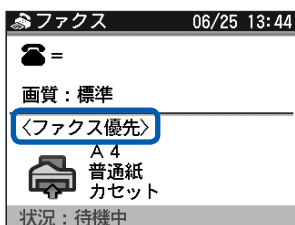
- 設定した受信モードにより、受信の操作手順が異なります。各受信モードごとの受信方法については「ファクスを受信する」（⇒P.87）を参照してください。
- 1つの回線をファクスと電話で共用したい場合は、外付け機器接続部に電話機や留守番電話機を接続する必要があります。

### 1 受信モード設定画面を表示する

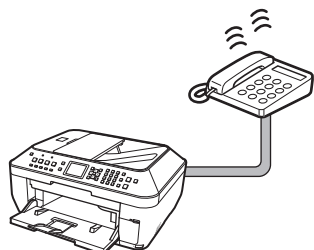
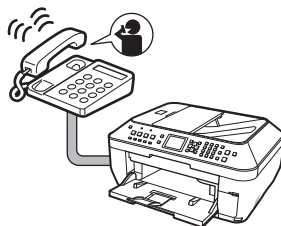
1 ファクスボタンを押してから、メニューボタンを押す

2 ◀▶ボタンで［受信モード設定］を選び、OKボタンを押す

### 2 受信モードを選ぶ

▲▼ボタンで受信モードを選び、OKボタンを押してください。

### 3 ファクスボタンを押して、ファクス待機画面に戻る

選んだ受信モードが液晶モニターに表示されます。

## 電話よりもファクスを使う機会が多い：

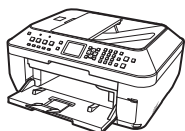
**ファクスと電話機を自動的に切り替えたい（ファクス優先モード）**

着信

電話：呼び出し音が鳴ります。
受話器を取ると、相手と会話ができます。

ファクス：自動的に受信します。

参　考

- 外付けの電話機を本製品に接続している場合は、設定しているモードにかかわらず、着信があると電話機の呼び出し音が鳴ります。
- ［設定］→［本体設定］→［ファクス設定］→［受信機能設定］→［着信呼び出し］で［しない］に設定すると、着信時の呼び出し音を鳴らさないようにすることができます。

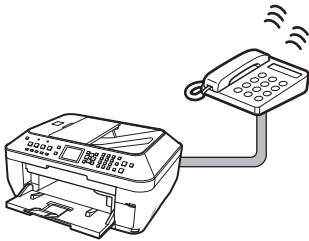
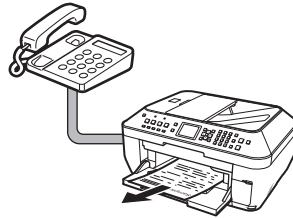
## ファクス専用の回線がある：

**ファクスだけを受信したい（ファクス専用モード）**

着信

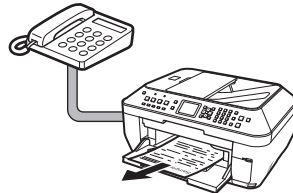
自動的にファクスを受信します。

## ファクスよりも電話をよく使う：

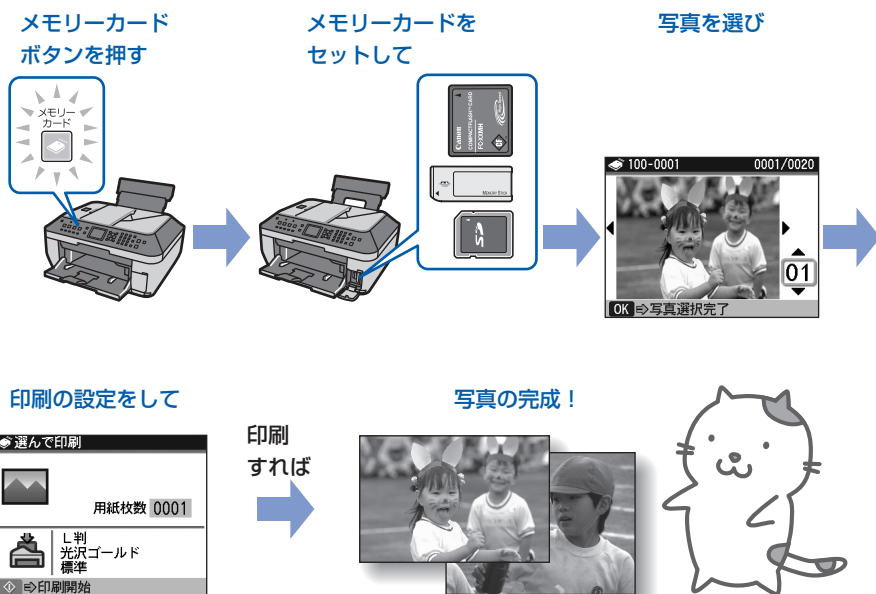
ファクスは手動で受信したい（**電話優先モード**）

電話：呼び出し音が鳴ります。
受話器を取ると、相手と会話ができます。

着信

ファクス：呼び出し音が鳴ります。受話器を取り、「ポーポー」という音が聞こえたときは、自動的にファクスに切り替わり、ファクスが受信されます。

参　考

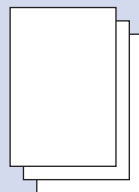
- ファクスに自動的に切り替わらない場合は、カラースタートボタンまたはモノクロスタートボタンを押してください。

留守番電話を接続している場合
電話：メッセージが応答します。
ファクス：ファクスが自動的に受信されます。

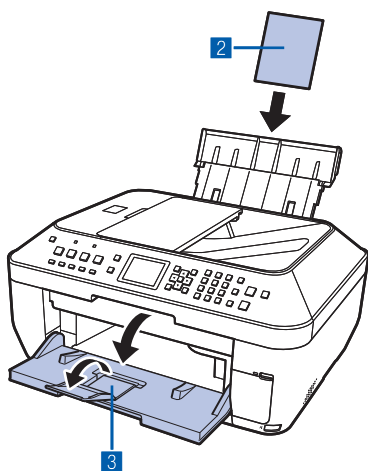
# メモリーカードから印刷してみよう

デジタルカメラなどで撮影した写真を、本製品の液晶モニターで確認しながら印刷することができます。
メモリーカードに保存されている写真をA4サイズの用紙に一覧で印刷し、その中から選んで印刷する機能や、指定したレイアウトに好きな写真を印刷する便利な機能もあります。

# メモリーカードの写真を印刷する

メモリーカードに保存されている写真を、本製品の液晶モニターで確認しながら印刷してみましょう。
ここでは、L判サイズの写真用紙に、写真をフチなしで印刷する方法について説明します。
操作する際は、参照先のページに記載されている注意事項と操作方法を確認してください。

用意するもの

写真の入ったメモリーカード
⇒「メモリーカードをセットする前に」（P.47）

印刷用の用紙
⇒「使用できる用紙について」（P.115）

## 1 印刷の準備をする

**1 電源が入っていることを確認する⇒P.16**

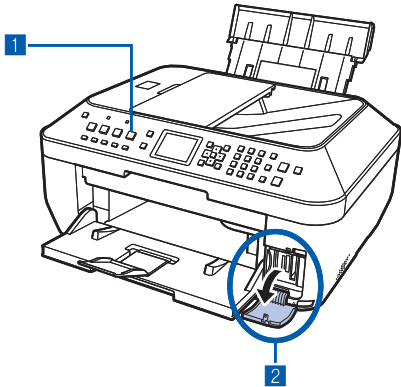
**2 用紙をセットする⇒P.108**

ここでは、L判サイズの写真用紙を後トレイにセットします。

参　考

- A4またはレターサイズの普通紙に印刷するときは、カセットに用紙がセットされていることを確認してください。
  それ以外の用紙は、後トレイにセットします。

**3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く**

## 2 メモリーカードをセットする

**1 メモリーカードボタンを押す**

カードメニュー画面が表示されます。

**2 メモリーカードを、ラベル面を左にしてカードスロットにセットする**

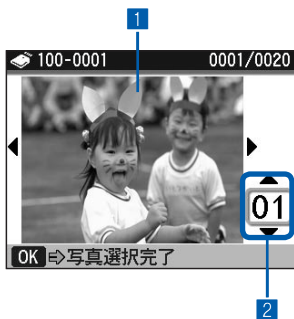
本製品にセットできるメモリーカードの種類とセット位置については、「メモリーカードをセットする」（P.47）を参照してください。

**3 ◀▶ボタンで［選んで印刷］を選び、OKボタンを押す**

写真選択画面が表示されます。

参　考

- コピーモード、ファクスモード、設定画面の各画面が表示されているときにメモリーカードをセットしても、［メモリーカード］の［選んで印刷］画面を表示することができます。
- ［選んで印刷］のほかにも、便利な印刷機能があります。⇒「いろいろな機能を使ってみよう」（P.45）
- ［カード書き込み状態］で［USB接続PCから可能］または［LAN接続PCから可能］に設定している場合は、本製品のパネル操作でメモリーカード印刷することはできません。メニューボタンを押してから［設定］→［本体設定］→［詳細設定］の順に選び、［カード書き込み状態］を［PCから書き込み禁止］に設定してください。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

## 3 印刷したい写真を選ぶ

**1 ◀▶ボタンで印刷したい写真を表示する**

参　考

- 写真の読み込み中は、液晶モニターに⌛が表示される場合があります。⌛が表示されているときに◀▶ボタンを押すと、画像が正しく選べないことがあります。

**2 ▲▼ボタンまたはテンキーで印刷枚数を指定する**

**3 手順1、2を繰り返し、印刷したい写真ごとに印刷枚数を指定する**

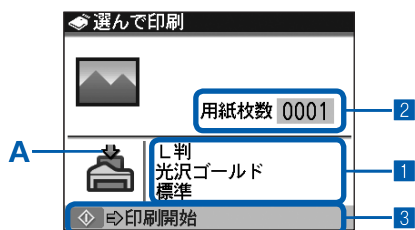
参　考

**こんなこともできます**

- 表示方法を変更する⇒P.45
- 印刷する写真の一部を切り抜く－トリミング⇒P.46

**4 OKボタンを押す**

印刷確認画面が表示されます。

## 4 印刷を開始する

**1 用紙のサイズや種類、印刷品質などを確認し、設定する**

ここでは、用紙サイズに［L判］、用紙の種類にセットした写真用紙が設定されていることを確認してください。
設定内容を変更するには、用紙／設定ボタンを押してください。
⇒「用紙／設定画面の基本操作」（P.21）、「設定を変更する」（P.43）

参考

- 用紙の種類に［普通紙］、用紙サイズに［A4］または［レターサイズ］を指定したときには、給紙位置を示すイラストのカセット位置に矢印が表示されます。
  それ以外の用紙を指定すると、後トレイの位置に矢印（A）が表示されます。
  設定した用紙が、給紙位置に正しくセットされていることを確認してください。

**2 印刷に必要な用紙の枚数を確認する**

**3 カラースタートボタンを押す**

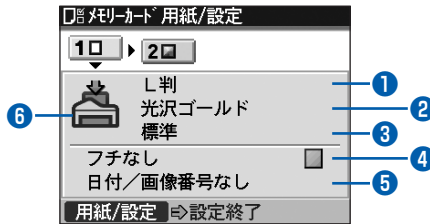
写真の印刷が開始されます。

参考

- 印刷を中止するときは、ストップボタンを押します。
- モノクロスタートボタンを押しても、印刷は開始されません。
- 印刷終了後に戻るボタンを押すと、カードメニュー画面が表示され、メモリーカードのいろいろな機能を選ぶことができます。
- メモリーカードを取り出すときは、「メモリーカードを取り出す」（P.50）を参照してください。

# 設定を変更する

用紙／設定ボタンを押して、印刷するときの用紙サイズや用紙の種類、印刷品質など、印刷設定を変更することができます。
設定方法については、「用紙／設定画面の基本操作」（P.21）を参照してください。

## 設定タブ 1

❶ 用紙サイズ　：　［L判］や［A4］など、印刷したい用紙のサイズを選びます。

❷ 用紙の種類　：　［光沢ゴールド］や［普通紙］など、印刷したい用紙の種類を選びます。

参　考

- 用紙サイズや用紙の種類を正しく設定しないと、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。⇒「用紙のセット位置について」（P.108）

❸ 印刷品質　：　［きれい］または［標準］を設定できます。

❹ フチあり／フチなし　：　フチのあり／なしを設定できます。

参　考

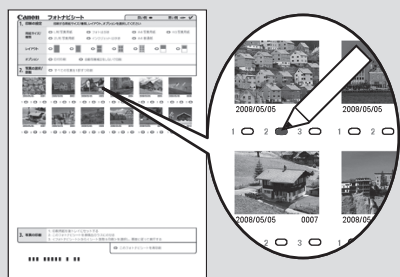
- 用紙の種類を［普通紙］に設定したときには、［フチなし］に設定することはできません。

❺ 日付画像番号　：　［日付のみ印刷］や［画像番号のみ印刷］など、日付や画像の番号を印刷する設定ができます。

❻ 給紙位置　：　用紙サイズや用紙の種類で指定した用紙により、給紙位置に矢印が表示されます。
A4またはレターサイズの普通紙を指定した場合は、カセットに矢印が表示されます。それ以外の用紙を指定した場合は、後トレイに矢印が表示されます。
表示された給紙位置に、設定した用紙がセットされていることを確認してください。給紙位置の設定については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- 用紙のサイズや種類、印刷品質、画像補正、フチなし印刷などの設定項目は保存され、電源を入れ直しても次回メモリーカード用紙／設定画面にその設定が表示されます。
- 機能によっては、組み合わせて設定できない項目があります。
- 用紙／設定ボタンを押して表示されるメモリーカード用紙／設定画面の設定タブ２で、写真の補正を自動または手動で行うことができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

**フォトナビシートを使って印刷する**

メモリーカードの写真を A4 サイズの用紙に一覧形式で印刷し（印刷されたこの用紙を「フォトナビシート」と呼びます）、そのシート上で写真、印刷枚数、用紙サイズなどを選んで印刷することもできます。
カードメニュー画面から［フォトナビシート］→［フォトナビシート印刷］を選んで実行します。操作方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

# いろいろな機能を使ってみよう

カードメニューから［いろいろな印刷］を選ぶと、いろいろな方法で印刷することができます。また、カードモードで写真を印刷するときの便利な機能があります。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

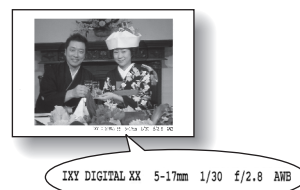
## いろいろなレイアウトで印刷する

カードメニュー画面から［いろいろな印刷］を選ぶと、いろいろなレイアウトを選ぶことができます。ほかに、［DPOF印刷］を選ぶこともできます。

［レイアウト印刷］

［シール紙印刷］

［すべてを印刷］

［インデックス印刷］

［撮影情報印刷］

## 表示方法を変更する

写真選択画面で表示切替ボタンを押すと、画像の表示方法を変更することができます。

［4画面表示］

［フルスクリーン表示］

## 写真の一部を切り抜く

写真選択画面で*ボタンを押すと、写真をトリミングすることができます。

［トリミング］

## 画像を補正する

用紙／設定ボタンを押して表示されるメモリーカード用紙／設定画面の設定タブ2で、写真の補正を自動または手動で、明るさやコントラスト、色合いなどの調整や加工を行うことができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

［自動写真補正を設定］（初期設定）

## 撮影日の日付をつけて印刷する

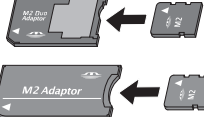
用紙／設定ボタンを押して表示されるメモリーカード用紙／設定画面の設定タブ１で、［日付画像番号］を［日付のみ印刷］または［日付＋画像番号印刷］に設定すると、写真に撮影日の日付や画像番号を付けて印刷することができます。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

# メモリーカードをセットする

## メモリーカードをセットする前に

本製品で使用できるメモリーカードと画像データは以下のとおりです。

**重　要**

- デジタルカメラが動作を保証していないメモリーカードに撮影／保存されている写真は、本製品で読み込めない場合やデータが破損する場合があります。デジタルカメラが動作を保証しているメモリーカードについては、デジタルカメラに付属の取扱説明書を参照してください。
- メモリーカードは、DCF Ver.1.0/2.0規格のデジタルカメラでフォーマットしてください。パソコン固有のフォーマットには対応していません。

### カードスロットに直接セットできるメモリーカード：

| | |
|---|---|
| | • SD/SDHCメモリーカード<br>• マルチメディアカード（ver.4.1）<br>• マルチメディアカードプラス（ver.4.1） |
| | • コンパクトフラッシュ（CF）カード<br>TYPE Ⅰ /TYPE Ⅱ（3.3V）に対応<br>• マイクロドライブ |
| | • メモリースティック<br>• メモリースティックPRO<br>• メモリースティックDuo<br>• メモリースティックPRO Duo |

### カードアダプタを使用してセットするメモリーカード：

**重　要**

- 以下のメモリーカードは、必ず専用のカードアダプタに取り付けてからカードスロットにセットしてください。カードアダプタに取り付けずに直接カードスロットにセットすると、メモリーカードが取り出せなくなる場合があります。そのような場合は「困ったときには」の「メモリーカードが取り出せない」（P.180）を参照してください。

| | |
|---|---|
| | • miniSD/miniSDHCカード *1 |
| | • microSD/microSDHCカード *1 |
| | • xD-Pictureカード *2<br>• xD-Pictureカード Type M *2/Type H *2 |
| | • RS-MMC（ver.4.1）*3 |
| | • メモリースティック マイクロ *4 |

*1　専用の「SDカードアダプタ」を使用してください。
*2　別途xD-Pictureカード用コンパクトフラッシュカードアダプタをお買い求めください。
　　推奨xD-Picture Cardアダプタ（2008年10月現在）
　　富士フイルム株式会社製　型番：DPC-CF
*3　専用のカードアダプタを使用してください。
*4　専用のDuoサイズアダプタ、またはスタンダードサイズアダプタを使用してください。

### 印刷できる画像データ：

本製品はDCF Ver.1.0/2.0規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif ver.2.2/2.21準拠）、TIFF（Exif ver.2.2/2.21準拠）、およびDPOF（Ver.1.00準拠）に対応しています。その他の静止画（RAW画像等）や動画は印刷できません。

## メモリーカードをセットする

**重　要**

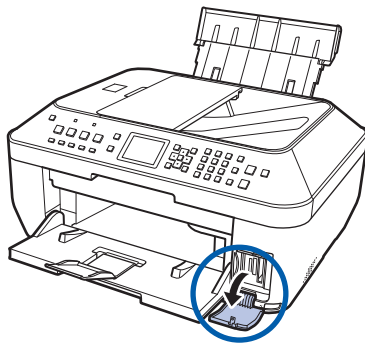
- メモリーカードをカードスロットにセットすると、カードスロットのアクセスランプが点灯します。このアクセスランプが点滅しているときは、メモリーカードの読み込みなどが行われていますので、カードスロットの周りには触れないでください。

**参　考**

- [カード書き込み状態] を [USB接続PCから可能] または [LAN接続PCから可能] に設定している場合は、本製品のパネル操作でメモリーカードから印刷したり、スキャンしたデータをメモリーカードに保存したりすることはできません。本製品のカードスロットをパソコンのメモリーカード用ドライブとして操作したあとは、メモリーカードを抜いてからメニューボタンを押して [設定] → [本体設定] → [詳細設定] の順に選び、[カード書き込み状態] を [PCから書き込み禁止] に設定してください。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- メモリーカードに保存されている写真をパソコンで編集・加工したときは、必ずパソコンから印刷してください。操作パネルから印刷を行うと、正しく印刷できないことがあります。

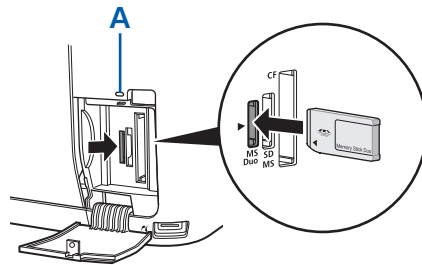
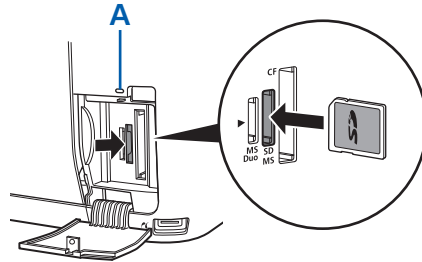
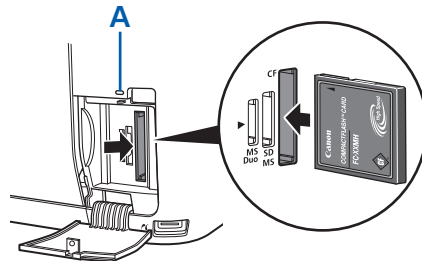
### 1　メモリーカードを準備する

「メモリーカードをセットする前に」（P.47）を参照して、カードアダプタが必要なメモリーカードは、専用のカードアダプタに取り付けます。

### 2　電源が入っていることを確認し、カードスロットカバーを開ける

## 3 メモリーカードを１枚だけセットする

メモリーカードの種類により、セットする位置が異なります。以下のセット位置を参照しながら、ラベル面を左にしてカードスロットにまっすぐ差し込んでください。
メモリーカードが正しくセットされると、アクセスランプ（A）が点灯します。

下記の＊のメモリーカードはカードアダプタに取り付けてから、カードスロットにセットしてください。

**メモリースティックDuo、メモリースティックPRO Duo、メモリースティックマイクロ（DUOサイズアダプタ装着）＊の場合：**

**SD/SDHCメモリーカード、miniSD/miniSDHCカード＊、microSD/microSDHCカード＊、メモリースティック、メモリースティックPRO、メモリースティックマイクロ（スタンダードサイズアダプタ装着）＊、マルチメディアカード（ver.4.1）、マルチメディアカード プラス（ver.4.1）、RS-MMC（ver.4.1）＊の場合：**

**コンパクトフラッシュ、マイクロドライブ、xD-Pictureカード＊、xD-Pictureカード Type M/Type H＊の場合：**

**重　要**

- メモリーカードがカードスロットから少しはみ出した状態でセットされます。それ以上は無理に押し込まないでください。本製品やメモリーカードが破損するおそれがあります。
- メモリーカードの向きをよく確認して、カードスロットにセットしてください。間違った向きで無理にセットすると、本製品やメモリーカードが破損するおそれがあります。
- 一度に複数のメモリーカードをセットしないでください。

## 4 カードスロットカバーを閉じる

# メモリーカードを取り出す

重 要

- カードスロットをパソコン用メモリーカードドライブとして使用していた場合は、メモリーカードを本製品から取り出す前にパソコン側での取り出し操作が必要になります。
  - －USB接続でWindowsをご使用の場合は、リムーバブルディスクアイコンを右クリックして［取り出し］を選んで取り出し操作を行ってください。［取り出し］が表示されない場合は、アクセスランプが点灯していることを確認し、カードを取り出してください。
  - －有線LAN経由でカードスロットをご使用の場合は、パソコン側の取り出し操作は必要ありません。
  - －Macintoshをご使用の場合は、アイコンをゴミ箱に捨ててください。

## 1 カードスロットカバーを開ける

## 2 アクセスランプが点灯していることを確認して、カードを取り出す

メモリーカードをつまんで、まっすぐ引き出します。

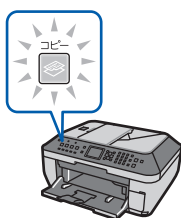
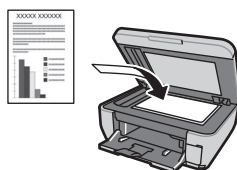
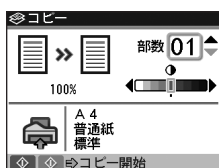
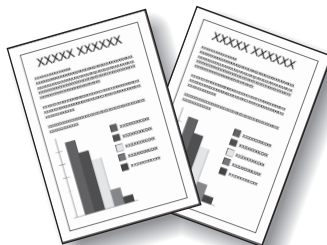
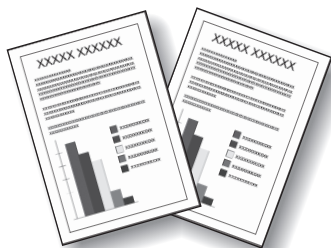
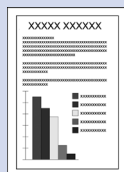
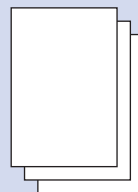
重 要

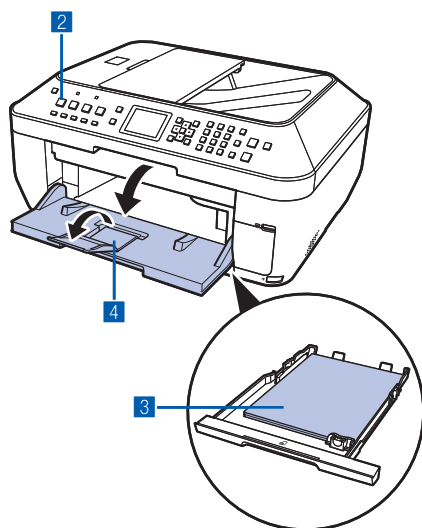
- アクセスランプの点滅中は、メモリーカードを取り出さないでください。ランプが点滅しているときは、メモリーカードからデータを読み込み／書き込みしています。ランプの点滅中にメモリーカードを取り出したり電源を切ったりすると、カードのデータが破損することがあります。

## 3 カードスロットカバーを閉じる

# コピーしてみよう

印刷する用紙に合わせた拡大／縮小や、２枚の原稿を１枚の用紙に収めるなど、いろいろなコピー方法を選べます。

# コピーする

ここではA4サイズの書類を普通紙にコピーする方法について説明します。操作する際は、参照先のページに記載されている注意事項と操作方法を確認してください。

**用意するもの**

コピーしたいもの
⇒「セットできる原稿について」（P.124）

印刷用の用紙
⇒「使用できる用紙について」（P.115）

## 1 コピーの準備をする

**1 電源が入っていることを確認する**⇒P.16

**2 コピーモードが選ばれていないときは、コピーボタンを押す**

コピー待機画面が表示されます。

**3 用紙をセットする**⇒P.108

ここでは、カセットにA4の普通紙がセットされていることを確認します。

参　考

- A4、B5、A5、レターサイズの普通紙は、カセットにセットします。それ以外の用紙は、後トレイにセットしてください。

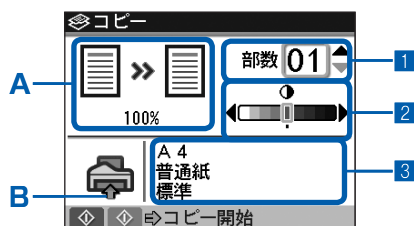
**4 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く**

**5 原稿台ガラスまたはADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする**⇒P.119

原稿台ガラスにセットするときは、コピーしたい面を下にして、図のように原稿位置合わせマーク（↘）に合わせます。

参　考

- コピーできる原稿の種類や条件、ADF（自動原稿給紙装置）へのセットのしかたについては、「原稿をセットする」（P.119）を参照してください。

## 2 コピーを開始する

1 ▲▼ボタンまたはテンキーでコピー部数を指定する

2 ◀▶ボタンで濃度（明るさ）を設定する

◀ボタンを押すと薄くなり、▶ボタンを押すと濃くなります。
自動濃度調整に設定することもできます。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

3 用紙サイズや用紙の種類などを確認する

ここでは、用紙サイズ［A4］、用紙の種類［普通紙］、印刷品質［標準］が設定されていることを確認します。
用紙サイズや用紙の種類、倍率（A）、そのほかの設定内容を確認、変更するには、用紙／設定ボタンを押してください。⇒P.54

参 考

- 用紙の種類に［普通紙］、用紙サイズに［A4］［B5］［A5］［レターサイズ］のいずれかを指定したときには、給紙位置のイラストのカセットに矢印（B）が表示されます。
  それ以外の用紙を指定すると後トレイに矢印が表示されます。
  設定した用紙が、給紙位置に正しくセットされていることを確認してください。
- いろいろなレイアウトを設定してコピーする場合は、メニューボタンを押し、◀▶ボタンで［いろいろなコピー］を選んで機能を選択してください。
  ⇒「いろいろなコピー機能を使ってみよう」（P.55）

4 カラーコピーをする場合はカラースタートボタンを押し、白黒コピーをする場合はモノクロスタートボタンを押す

コピーが開始されます。
コピー終了後、原稿台ガラスまたは原稿排紙口から原稿を取り出してください。

重 要

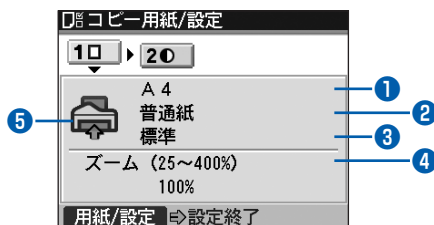
- コピーが終わるまで原稿台カバーを開けたり、セットした原稿を動かさないでください。

参 考

- コピーを中止するときは、ストップボタンを押します。
- コピーモード（コピーボタンを押したあとの状態）でも、ファクスは受信されます。

# 設定を変更する

用紙／設定ボタンを押して、コピーするときの用紙サイズや用紙の種類、印刷品質など、印刷設定を変更することができます。
設定方法については、「用紙／設定画面の基本操作」（P.21）を参照してください。

## 設定タブ 1

| | | |
|---|---|---|
| ❶ 用紙サイズ | ： | ［A4］や［B5］など、印刷したい用紙のサイズを選びます。 |
| ❷ 用紙の種類 | ： | ［普通紙］や［光沢ゴールド］など、印刷したい用紙の種類を選びます。 |

参　考

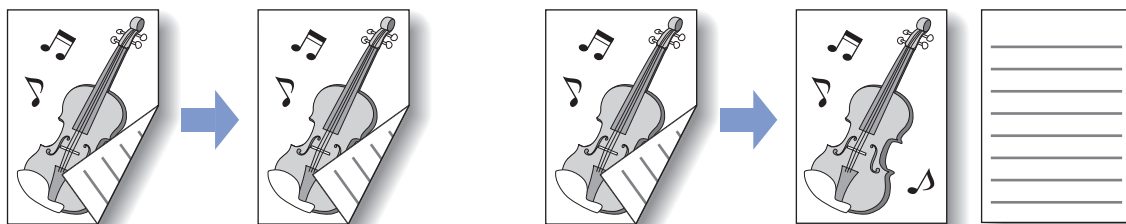
• 用紙サイズや用紙の種類を正しく設定しないと、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。⇒「用紙のセット位置について」（P.108）

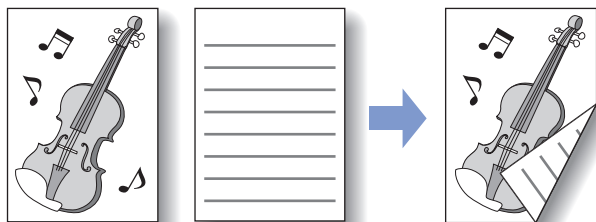
| | | |
|---|---|---|
| ❸ 印刷品質 | ： | ［きれい］や［標準］など、コピーしたい原稿に合わせて印刷品質を設定します。設定できる印刷品質は、「用紙の種類」で指定した用紙により異なります。 |
| ❹ 倍率 | ： | 拡大／縮小の方法を設定します。任意の数字で倍率を指定したり、A4→B5やA4→はがきなど、用紙サイズを選んで倍率を設定することもできます。拡大／縮小せずにコピーするときは、［等倍（100%）］を選びます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。 |
| ❺ 給紙位置 | ： | 用紙サイズや用紙の種類で指定した用紙により、給紙位置に矢印が表示されます。<br>A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を指定した場合は、カセットに矢印が表示されます。それ以外の用紙を指定した場合は、後トレイに矢印が表示されます。<br>表示された給紙位置に、設定した用紙がセットされていることを確認してください。給紙位置の設定については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。 |

参　考

• 用紙のサイズや種類、印刷品質、自動濃度調整などの設定項目は保存され、電源を入れ直しても次回コピーするときにその設定が表示されます。
• 機能によっては、組み合わせて設定できない項目があります。
• 用紙の種類が［普通紙］の場合で、［はやい］を選んで思ったような品質で印刷できないときは、［標準］または［きれい］を選んで、もう一度印刷してみてください。
• 設定タブ2の自動濃度調整や日付／ページ番号の印刷設定について詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

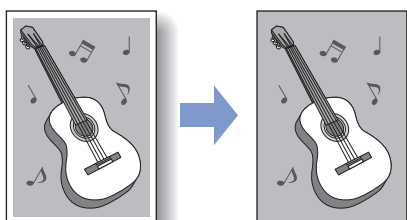
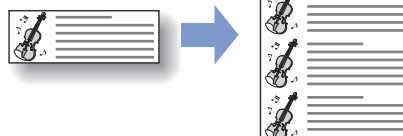
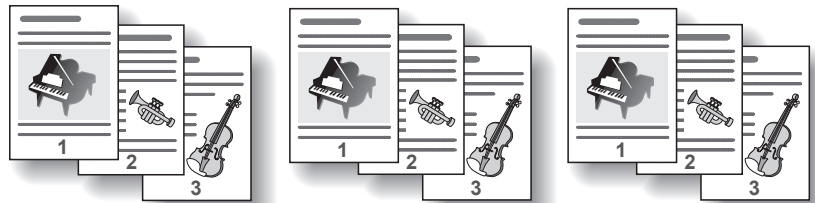
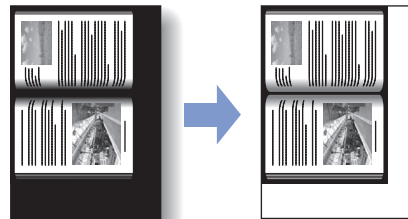
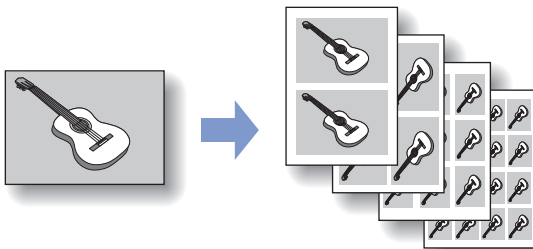
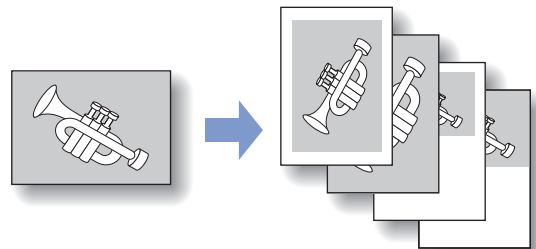
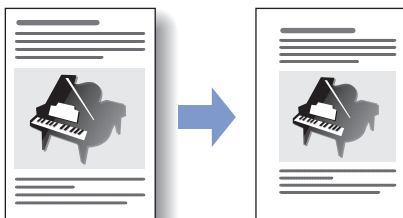
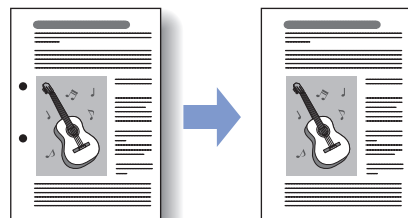
# いろいろなコピー機能を使ってみよう

コピーメニューから［いろいろなコピー］を選ぶと、以下のようにいろいろな方法でコピーすることができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

［両面読込⇒両面印刷］

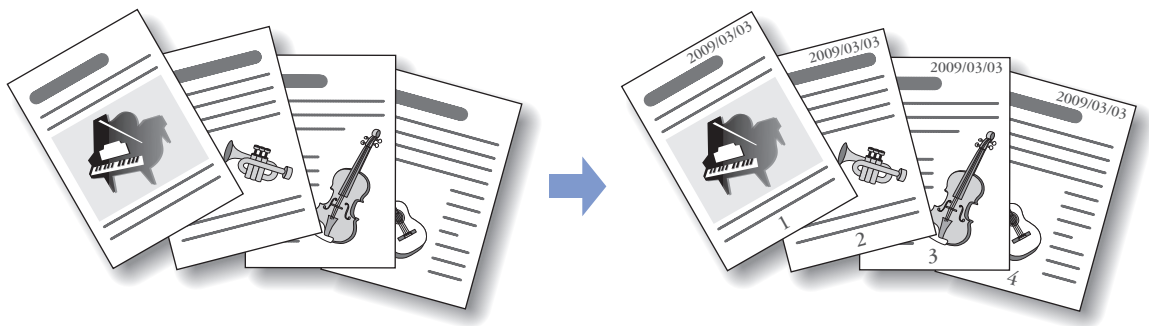
［両面読込⇒片面印刷］

［片面読込⇒両面印刷］

［両面コピー］

［2 in 1 コピー］

［4 in 1 コピー］

［フチなしコピー］

［繰り返しコピー］

1
2
3
標準で３部ずつコピーした場合
[ページ順にコピー]
[色あせ補正コピー]
[枠消しコピー]
[シール紙コピー]
[絵はがき風コピー]
[とじしろコピー]
[パンチ穴消しコピー]

参　考

**日付／ページ番号を印刷するには：**

- 用紙／設定ボタンを押して表示されるコピー用紙/設定画面の設定タブ2には、日付やページ番号を印刷できる設定があります。いろいろなコピー機能と組み合わせて設定できます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

# スキャンしてみよう

スキャンしたデータは、パソコンに転送して付属のアプリケーションソフトを使って編集／加工したり、本製品に取り付けたUSBフラッシュメモリーやメモリーカードに保存することができます。

# スキャンしたデータを保存する

ここでは、「自動判別」（おまかせモード）で、原稿台ガラスまたはADF（自動原稿給紙装置）にセットした原稿の種類を自動判別し、USB接続またはネットワークに接続してあるパソコンに保存する方法について説明します。

スキャンしたデータをメモリーカードやUSBフラッシュメモリーに保存する方法や、パソコンからスキャンする方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

重　要

- データの破損または消失については、本製品の保障期間内であっても、理由の如何にかかわらず、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

参　考

- 「おまかせモード」で判別できる原稿の種類は、写真、はがき、名刺、雑誌、新聞、文書、CD/DVDです。その他の原稿は、原稿の種類を指定してスキャンしてください。

## 操作パネルを使ったスキャンの準備

原稿をスキャンする前に、次のことを確認してください。

- ソフトウェア（MPドライバとMP Navigator EX（エムピー・ナビゲーター・イーエックス））はインストールされていますか？
  まだインストールしていない場合は、『かんたんスタートガイド』を参照してソフトウェアをインストールしてください。
- スキャンする原稿は、原稿台ガラスまたはADF（自動原稿給紙装置）にセットできる原稿の条件に合っていますか？
  詳しくは、「原稿をセットする」（P.119）を参照してください。

### 本製品をUSB接続または有線LAN接続でご使用の場合

本製品とパソコンがUSBケーブルまたはLANケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。

重　要

- 画像をスキャンしているときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときにUSBケーブルまたはLANケーブルを抜き差ししないでください。

### 本製品をネットワークに接続している場合

ネットワークに接続しているパソコンを使用する場合は、次のことを確認してください。

- Canon IJ Network Scan Utility（キヤノン・アイジェイ・ネットワーク・スキャン・ユーティリティ）はインストールされていますか？
  まだインストールしていない場合は、『かんたんスタートガイド』を参照してCanon IJ Network Scan Utilityをインストールしてください。
- Canon IJ Network Scan Utilityの設定画面で本製品が選択されていますか？
  設定手順については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- Canon IJ Network Scan Utilityが起動していますか？
  詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- 本製品の操作パネルを使って、スキャンした画像をネットワーク経由でパソコンに送信しない場合は、Canon IJ Network Scan Utilityは必要ありません。

### Mac OS X v.10.3.9 をご使用の場合

Mac OS Xの［アプリケーション］にあるイメージキャプチャで、起動するアプリケーションソフトをMP Navigator EXに設定しておく必要があります。

①［移動］メニューから［アプリケーション］を選び、［イメージキャプチャ］をダブルクリックする

②スキャナウィンドウの左下にある［オプション］ボタンをクリックし、［スキャナボタンが押されたときに起動するアプリケーション］で［MP Navigator EX 2］を選び、［OK］ボタンをクリックする
イメージキャプチャを終了するには、［イメージキャプチャ］メニューから［イメージキャプチャを終了］を選びます。

参　考

- ［オプション］が表示されていない場合は、［イメージキャプチャ］メニューから［環境設定］を選び、［スキャナ］で［可能なときにはTWAINソフトウェアを使用する］のチェックマークを外して、いったんイメージキャプチャを終了し、起動し直してください。

## スキャンしたデータをパソコンに保存する

### 1 スキャンの準備をする

**1 本製品の電源が入っていることを確認する**
**⇒P.16**

**2 原稿台ガラスまたはADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする****⇒P.119**

### 2 スキャン操作を選ぶ

**1 スキャンボタンを押す**

**2 ◀▶ボタンで［パソコン］を選び、OKボタンを押す**

パソコンを選択する画面が表示されます。

**3 ▲▼ボタンで、保存先のパソコンを選び、OKボタンを押す**

ここでは、［ローカル（USB)］を選びます。
原稿選択画面が表示されます。

参　考

- ネットワーク接続の場合は、一覧に表示されているパソコン名から保存先を選んでください。
- USB接続のみでパソコンを接続している場合、液晶モニターには［ローカル（USB)］しか表示されません。

**4 ▲▼ボタンで原稿の種類と原稿のセット位置を選び、OKボタンを押す**

ここでは、「自動判別」を選びます。

参　考

- 原稿の種類に合わせて正しく原稿がセットされていることを確認してください。⇒P.119

参　考

- 手順3でネットワーク接続されたパソコンを選ぶと、［自動判別］は表示されません。
- 原稿の種類は［自動判別］のほかに、［文書（原稿台）］、［写真（原稿台）］、［文書（ADF片面）］、［文書（ADF両面）］があります。［自動判別］以外を選ぶと、スキャンしたデータをすべて１つのPDFファイルで保存したり、メールに添付したり、アプリケーションで開いたりすることができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- ［自動判別］を選んで原稿をスキャンする場合は、MP Navigator EX（エムピー・ナビゲーター・イーエックス）の設定にしたがってスキャンされます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

## 3 スキャンを開始する

### 1 原稿台ガラスまたはADF（自動原稿給紙装置）に原稿がセットされていることを確認する

### 2 カラースタートボタンまたはモノクロスタートボタンを押す

MP Navigator EXで設定されている内容で、原稿がスキャンされます。

参　考

- 原稿の種類によって画像の位置やサイズが正しくスキャンできない場合は、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照して、MP Navigator EXの［原稿の種類］と［原稿サイズ］を実際の原稿に合わせてください。
- 以下の条件を満たしている場合に、ネットワークに接続されているパソコンが液晶モニターに表示されます。
  －Canon IJ Network Scan Utility（キヤノン・アイジェイ・ネットワーク・スキャン・ユーティリティ）がパソコンにインストールされている
  －Canon IJ Network Scan Utilityの設定画面で本製品が選択されている

参　考

- 原稿がスキャンされたあとの動作は、手順２の4で選んだスキャン操作の設定により異なります。動作の設定方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

**Windows Vistaをご使用の場合**

- 手順３のあとでプログラムの選択画面が表示される場合があります。その場合は、［MP Navigator EX 2.1］を選んで［OK］ボタンをクリックしてください。手順３の2でMP Navigator EXを起動させるように設定できます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

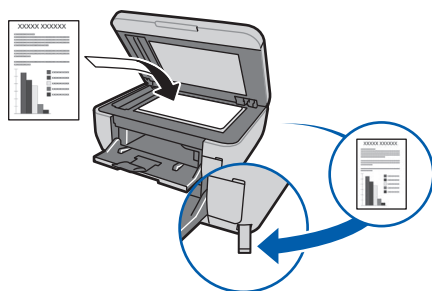
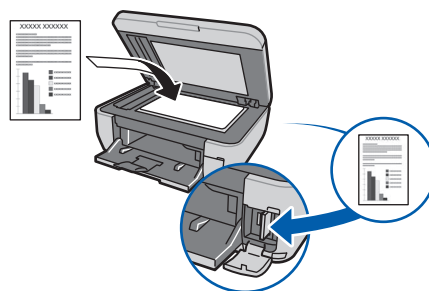
**Windows XPをご使用の場合**

- 初めて本製品でスキャンしたときに、手順３の2のあとでプログラムの選択画面が表示される場合があります。その場合は、起動するアプリケーションソフトに［MP Navigator EX 2.1］を指定して、［この動作には常にこのプログラムを使う］にチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックしてください。次回からMP Navigator EXが自動的に起動します。

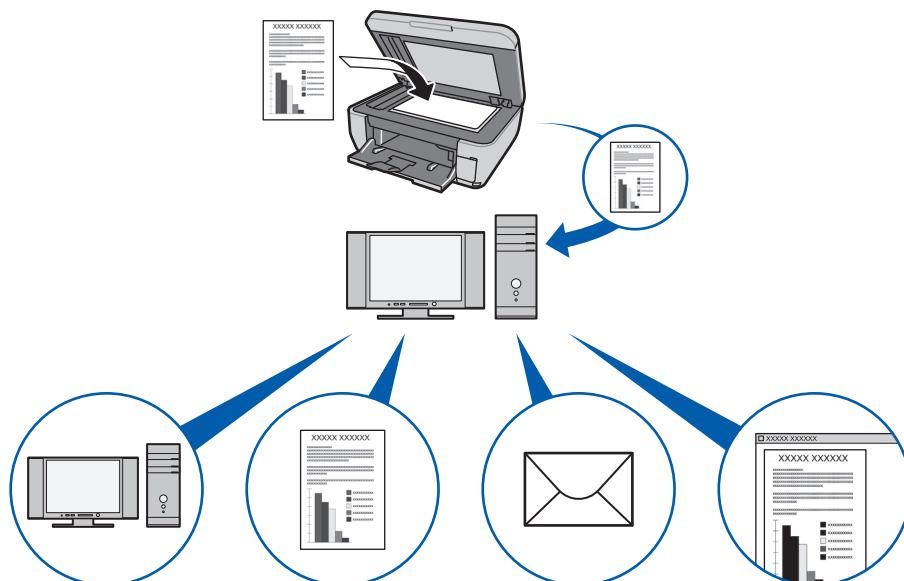
# いろいろなスキャン機能を使ってみよう

本製品でスキャンしたデータは、パソコンへ保存するほかに、本製品に取り付けたUSBフラッシュメモリーやメモリーカードに保存することもできます。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

## いろいろな保存先を選ぶ

スキャンボタンを押すと、[パソコン] のほかに、いろいろなスキャンデータの処理を選ぶことができます。

[USBメモリー]　　[メモリーカード]

## いろいろな処理方法を指定する

スキャンしたデータをパソコンへ保存する場合、原稿の種類で「自動判別」以外を選ぶと、スキャンしたデータの処理方法を指定することができます。

[パソコンに保存] [PDFファイルで保存] [メールに添付] [アプリケーションで開く]

参　考

- 各スキャン操作は、MP Navigator EX（エムピー・ナビゲーター・イーエックス）から設定することもできます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

# パソコンから印刷してみよう

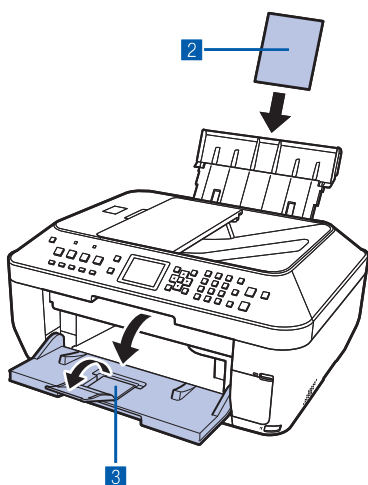
ここでは、文書や写真などをパソコンから印刷する方法について説明しています。
付属のソフトウェアEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使うと、デジタルカメラで撮った写真をかんたんな操作で印刷することができます。

# 写真を印刷する(Easy-PhotoPrint EXを使う)

付属のソフトウェアEasy-PhotoPrint EX(イージー・フォトプリント・イーエックス)を使って、パソコンに保存されている画像データを印刷してみましょう。
ここでは、L判サイズの写真用紙に、画像をフチなしで印刷する方法について説明します。詳しくは、『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)を参照してください。

参 考

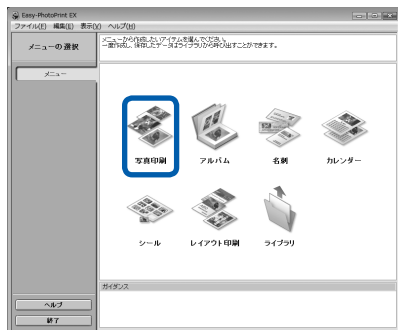
- Windowsの画面を例に説明していますが、Macintoshでも操作方法は同じです。
- Easy-PhotoPrint EXをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で[選んでインストール]から[Easy-PhotoPrint EX]を選んでインストールします。

## 1 印刷の準備をする

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.16

2 用紙をセットする⇒P.108

ここでは、L判サイズの写真用紙を後トレイにセットします。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

## 2 Easy-PhotoPrint EXを起動し、[写真印刷]を選ぶ

1 Easy-PhotoPrint EXを起動する

Windows

デスクトップのアイコン をダブルクリックする

Macintosh

[移動]メニューから[アプリケーション]→[Canon Utilities]→[Easy-PhotoPrint EX]の順に選び、[Easy-PhotoPrint EX]をダブルクリックする

参　考

Windows

- Solution Menu（ソリューション・メニュー）から起動するときは、デスクトップ上の をダブルクリックしてSolution Menuを表示し、 をクリックします。⇒P.105
- ［スタート］メニューから起動するときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows 2000をご使用の場合は［プログラム］）→［Canon Utilities］→［Easy-PhotoPrint EX］→［Easy-PhotoPrint EX］の順に選びます。

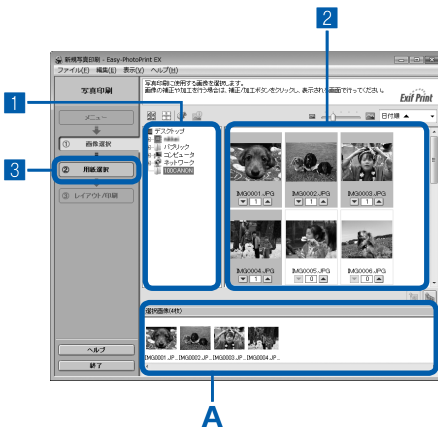
Macintosh

- Solution Menu（ソリューション・メニュー）から起動するときは、Dock内にある をクリックしてSolution Menuを表示し、 をクリックします。⇒P.105

2 ［写真印刷］をクリックする

参　考

- ［写真印刷］のほかにも、「アルバム」や「カレンダー」、「シール」などの印刷もできます。
⇒「Easy-PhotoPrint EXのいろいろな機能を使ってみよう」（P.69）

## 3 印刷する写真を選ぶ

1 画像が保存されているフォルダを選ぶ

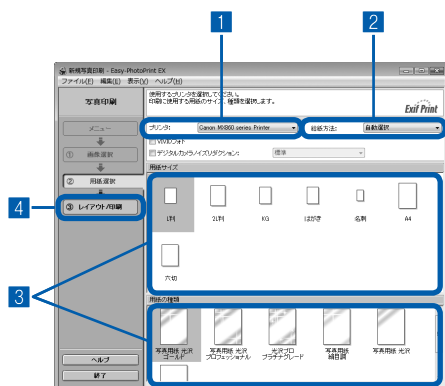
2 印刷する画像をクリックする

枚数が［1］と表示され、［選択画像］エリア（A）に選んだ画像が表示されます。複数の画像を同時に選ぶことができます。

参　考

- 同じ画像を2枚以上印刷したい場合は、▲ボタンをクリックして枚数を変更します。
- 選んだ画像を取り消すには、［選択画像］エリアで取り消したい画像をクリックしてから ボタンをクリックします。▼ボタンで枚数を［0］にしても取り消すことができます。
- 選んだ画像の補正や加工を行うこともできます。
⇒「Easy-PhotoPrint EX のいろいろな機能を使ってみよう」（P.69）

3 ［用紙選択］をクリックする

## 4 用紙を選ぶ

**1** ［プリンタ］にご使用の製品名が表示されていることを確認する

**2** ［給紙方法］で［自動選択］が選ばれていることを確認する

参　考

- そのほかの給紙方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

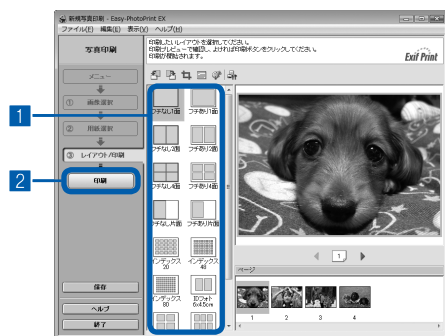
**3** ［用紙サイズ］と［用紙の種類］で、印刷したい用紙を選ぶ

ここでは、［用紙サイズ］で［L判］、［用紙の種類］でセットした用紙の種類を選びます。

参　考

- 給紙方法で［自動選択］が設定されていると、A4サイズの普通紙を指定したときにはカセットから給紙され、それ以外の写真用紙などを指定したときには、後トレイから給紙されます。用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

**4** ［レイアウト/印刷］をクリックする

## 5 レイアウトを選び、印刷する

**1** 写真のレイアウトを選ぶ

ここでは［フチなし１面］を選びます。
選んだレイアウトでプレビューが表示され、印刷結果が確認できます。

参　考

- 写真の向きを変更したり、一部分だけを切り抜いて（トリミング）印刷したりすることができます。操作方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

**2** ［印刷］をクリックする

参　考

**Windows**

- 印刷中に本製品のストップボタンを押すか、プリンタ状態の確認画面の［印刷中止］ボタンをクリックすると、印刷を中止できます。印刷中止後は、白紙が排出されることがあります。
  プリンタ状態の確認画面は、タスクバー上の［Canon（ご使用の製品名）Printer］をクリックして表示します。

**Macintosh**

- Dock内にあるプリンタのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［プリンタを一時停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。印刷中止後は、白紙が排出されることがあります。

## Easy-PhotoPrint EXのいろいろな機能を使ってみよう

Easy-PhotoPrint EXで使える便利な機能の一部を紹介しています。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

### いろいろなオリジナルアイテムを作成する

撮った写真を活用してアルバムやカレンダーなどを作成することができます。

［アルバム］　［名刺］　［カレンダー］

［シール］　［レイアウト印刷］

### 画像を補正する

画像に対して自動または手動で、赤目補正や顔くっきり補正、美肌加工、明るさ、コントラストなどの調整や補正/加工を行うことができます。

［明るさ］

# 文書を印刷する（Windows）

ここでは、A4サイズの書類を普通紙に印刷する方法について説明します。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 本製品をパソコンに接続してご使用になる場合、印刷機能のあるアプリケーションソフトから、ファクスドライバを使ってファクスを送信することができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- 本書ではWindows Vista operating system Ultimate Edition（以降、Windows Vista）をご使用の場合に表示される画面を基本に説明します。

## 1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.16

## 2 用紙をセットする⇒P.108

ここでは、カセットにA4サイズの普通紙がセットされていることを確認します。

参　考

- A4、B5、A5、レターサイズの普通紙はカセットに、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

## 3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

## 4 アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

## 5 プリンタドライバの設定画面を開く

**1** アプリケーションソフトの［ファイル］メニューまたはツールバーから［印刷］を選ぶ

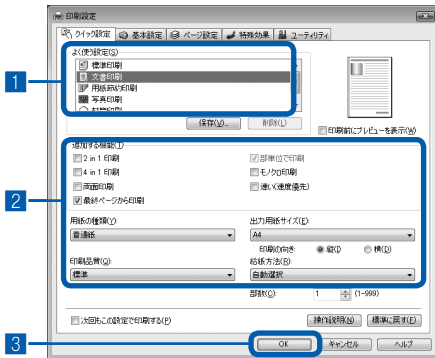
［印刷］ダイアログが表示されます。

**2** ご使用の製品名が表示されていることを確認する

参　考

- 別の製品名が選ばれている場合は、ご使用の製品名をクリックしてください。

**3** ［詳細設定］（または［プロパティ］）ボタンをクリックする

# 6 印刷に必要な設定をする

## 1 ［よく使う設定］で［文書印刷］を選ぶ

参　考

- ［よく使う設定］で［文書印刷］、［写真印刷］といった印刷目的を選ぶと、選んだ目的により、［追加する機能］の項目に自動的にチェックマークが表示されます。また、印刷目的に適した用紙や品質などの設定が表示されます。
- ［部数］で2部以上の部数を指定すると、［部単位で印刷］にチェックマークが付いて表示されます。

## 2 表示された設定内容を確認する

ここでは、［用紙の種類］で［普通紙］、［印刷品質］で［標準］、［出力用紙サイズ］で［A4］、［給紙方法］で［自動選択］が選ばれていることを確認してください。

参　考

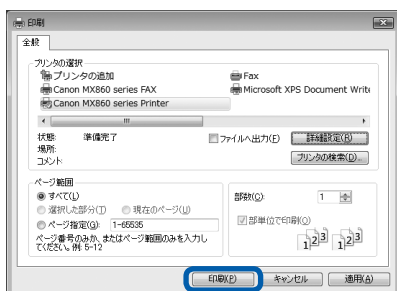
- 設定内容は変更することができます。ただし、［出力用紙サイズ］を変更した場合は、［ページ設定］シートの［用紙サイズ］の設定がアプリケーションソフトの設定と合っていることを確認してください。
  詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- 給紙方法で［自動選択］が設定されていると、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を指定したときにはカセットから給紙され、それ以外の写真用紙などを指定したときには、後トレイから給紙されます。
  用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

## 3 ［OK］ボタンをクリックする

参　考

- プリンタドライバ機能の設定方法については、［ヘルプ］ボタンや［操作説明］ボタンをクリックして、ヘルプや『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。［操作説明］ボタンは、プリンタドライバの［クイック設定］シート、［基本設定］シートおよび［ユーティリティ］シートに表示されます。ただし、電子マニュアル（取扱説明書）がパソコンにインストールされている必要があります。
- 変更した内容に名前を付けて［よく使う設定］に登録することもできます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- ［次回もこの設定で印刷する］にチェックマークを付けると、次回プリンタドライバの設定画面を開いたときには、現在表示されている内容が表示されます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。
- ［印刷前にプレビューを表示］にチェックマークを付けると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。
- ［基本設定］シートや［ページ設定］シートでは、詳細な印刷設定をすることができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

## 7 印刷を開始する

［印刷］（または［OK］）ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参　考

- 長形の封筒を指定した場合、印刷時にセット方法についてのメッセージが表示されます。
  ［今後、このメッセージを表示しない。］にチェックマークをつけると、次回からメッセージは表示されなくなります。封筒印刷時の設定については、「封筒をセットする」（P.112）を参照してください。
- 印刷中に本製品のストップボタンを押すか、プリンタ状態の確認画面の［印刷中止］ボタンをクリックすると、印刷を中止できます。印刷中止後は、白紙が排出されることがあります。
  プリンタ状態の確認画面は、タスクバー上の［Canon（ご使用の製品名）Printer］をクリックして表示します。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.137）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

# 文書を印刷する（Macintosh）

ここでは、A4サイズの書類を普通紙に印刷する方法について説明します。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。
  詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

## Mac OS X v.10.5.xの場合

### 1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.16

### 2 用紙をセットする⇒P.108

ここでは、カセットにA4サイズの普通紙がセットされていることを確認します。

参　考

- A4、B5、A5、レターサイズの普通紙はカセットに、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

### 3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

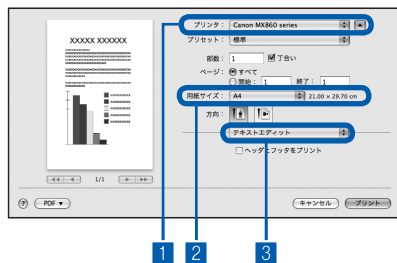
### 4 アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

### 5 プリントダイアログを開く

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶと、プリントダイアログが表示されます。

参　考

- 以下の画面が表示された場合は、▼ボタンをクリックしてください。

## 6 印刷に必要な設定をする

**1 ［プリンタ］でご使用の製品名が表示されていることを確認する**

**2 ［用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選ぶ**

ここでは、［A4］を選びます。

**3 ポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選ぶ**

**4 ［用紙の種類］でセットした用紙の種類を選ぶ**

ここでは、［普通紙］を選びます。

参　考

- 給紙方法で［自動選択］が設定されていると、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を指定したときにはカセットから給紙され、それ以外の写真用紙などを指定したときには、後トレイから給紙されます。
  用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

**5 ［給紙方法］で［自動選択］が選ばれていることを確認する**

参　考

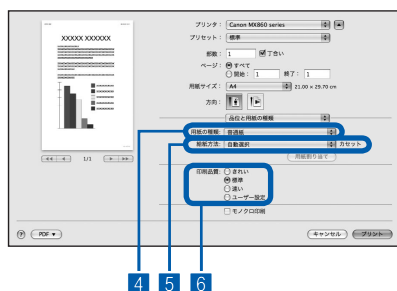
- そのほかの給紙方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

**6 ［印刷品質］で印刷品質を選ぶ**

ここでは、［標準］を選びます。

参　考

- 印刷品質については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- プリンタドライバ機能の設定方法については、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］、［カラーオプション］、［フチなし全面印刷］、または［両面印刷ととじしろ］の?ボタンをクリックして、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。電子マニュアル（取扱説明書）がインストールされていないと、?ボタンをクリックしても『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）は表示されません。
- 左側に表示されるプレビュー画面で印刷結果を確認することができます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。

## 7 印刷を開始する

［プリント］ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参考

- Dock内にあるプリンタのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［プリンタを一時停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。印刷中止後は、白紙が排出されることがあります。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.137）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

## Mac OS X v.10.4.xまたはMac OS X v.10.3.9の場合

参考
- ここではMac OS X v.10.4.xをご使用の場合に表示される画面を基本に説明しています。

### 1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.16

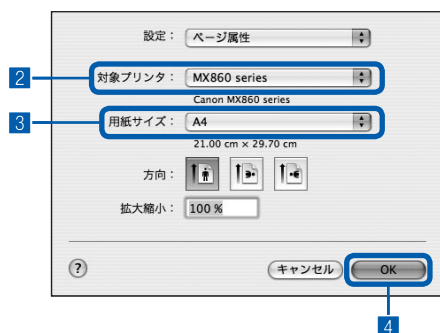
### 2 用紙をセットする⇒P.108

ここでは、カセットにA4サイズの普通紙がセットされていることを確認します。

参考
- A4、B5、A5、レターサイズの普通紙はカセットに、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

### 3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

### 4 アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

### 5 用紙サイズを設定する

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

ページ設定ダイアログが表示されます。

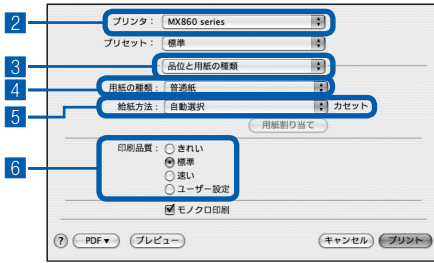
2 ［対象プリンタ］でご使用の製品名が表示されていることを確認する

本製品をネットワークに接続している場合は、［対象プリンタ］でご使用の製品名とMACアドレスが表示されます。

3 ［用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選ぶ

ここでは、［A4］を選びます。

4 ［OK］ボタンをクリックする

# 6 印刷に必要な設定をする

**1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ**

プリントダイアログが表示されます。

**2 ［プリンタ］でご使用の製品名が表示されていることを確認する**

**3 ポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選ぶ**

**4 ［用紙の種類］でセットした用紙の種類を選ぶ**

ここでは、［普通紙］を選びます。

参　考

- 給紙方法で［自動選択］が設定されていると、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を指定したときにはカセットから給紙され、それ以外の写真用紙などを指定したときには、後トレイから給紙されます。用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

**5 ［給紙方法］で［自動選択］が選ばれていることを確認する**

参　考

- そのほかの給紙方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

**6 ［印刷品質］で印刷品質を選ぶ**

ここでは、［標準］を選びます。

参　考

- 印刷品質については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- プリンタドライバ機能の設定方法については、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］、［カラーオプション］、［特殊効果］、［フチなし全面印刷］、または［両面印刷ととじしろ］の ? ボタンをクリックして、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。電子マニュアル（取扱説明書）がインストールされていないと、 ? ボタンをクリックしても『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）は表示されません。
- ［プレビュー］ボタンをクリックすると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。

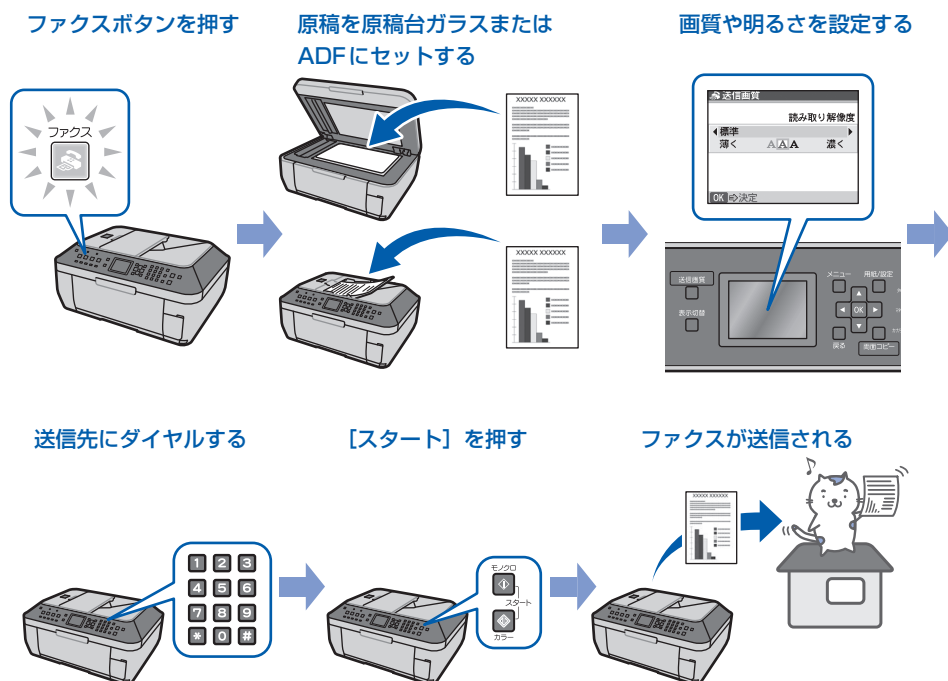
## 7 印刷を開始する

［プリント］ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参　考

- Dock内にあるプリンタのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［ジョブを停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。印刷中止後は、白紙が排出されることがあります。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.137）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

# ファクスを使ってみよう

本製品のファクス機能を使って、ファクスを送受信する基本的な方法を説明しています。

# ファクスを送信する

ここでは、テンキーを使用して直接ダイヤルして送信する方法と、ワンタッチダイヤルに送信先を登録して送信する方法について説明します。
そのほかの送信方法については、「いろいろな送信機能を使ってみよう」（P.84）を参照してください。

参　考

- 本製品をPBX（構内電話交換機）や別の電話交換システムに接続しているときは、まず外線呼び出し番号をダイヤルしてから、相手のファクス／電話番号をダイヤルしてください。

## ダイヤルして送信する

### 1 ファクス送信の準備をする

**1** 電源が入っていることを確認する⇒P.16

**2** 原稿台ガラスまたはADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする⇒P.119

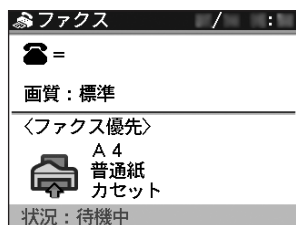
重　要

- 両面原稿を送信する場合、原稿は原稿台ガラスにセットしてください。ADF（自動原稿給紙装置）から両面原稿を読み込むことはできません。

参　考

- 送信できる原稿の種類や条件、セットのしかたについては、「原稿をセットする」（P.119）を参照してください。

**3** ファクスボタンを押す

ファクス送信の待機画面が表示されます。

**4** 必要に応じて、画質（解像度）や濃度（明るさ）を調整する⇒P.83

### 2 ファクスを送信する

**原稿台ガラスに原稿をセットしたとき：**

**1** テンキーで、送信先のファクス番号にダイヤルする

**2** カラーファクスを送信する場合はカラースタートボタンを押し、白黒ファクスを送信する場合はモノクロスタートボタンを押す

重　要

- カラー送信は送信先のファクス機がカラーファクスに対応しているときのみ有効になります。

**3** OK ボタンを押す

送信が始まります。

参　考

**原稿が複数枚ある場合は**

- 原稿台ガラスに次の原稿をセットし、手順2の2で押したボタンと同じボタンを押します。同じ方法を繰り返し、すべての原稿を読み込み終わったらOK ボタンを押します。
- 1枚目の原稿でモノクロスタートボタンを押した場合、2枚目以降がカラーの原稿でもモノクロで送信されます。

**ADF（自動原稿給紙装置）にセットしたとき：**

**1 テンキーで、送信先のファクス番号にダイヤルする**

**2 カラーファクスを送信する場合はカラースタートボタンを押し、白黒ファクスを送信する場合はモノクロスタートボタンを押す**

自動的に原稿が読み込まれ、送信が始まります。

重　要

- カラー送信は送信先のファクス機がカラーファクスに対応しているときのみ有効になります。

参　考

- 送信を中止するときは、ストップボタンを押し、液晶モニターの表示にしたがってください。
- 原稿の読み取り中にストップボタンを押して原稿がADF（自動原稿給紙装置）に残った場合は、液晶モニターに［ADFに原稿が残っています　OKを押すと、原稿を排出します］のメッセージが表示されます。OKボタンを押すと、ADF（自動原稿給紙装置）に残った原稿が自動的に排紙されます。

**自動リダイヤルについて**

- 送信先が話し中などで、ファクスを送信できなかったときには、間隔を空けて自動的にリダイヤルをすることができます。お買い上げ時には、［設定］→［本体設定］→［ファクス設定］→［送信機能設定］の［自動リダイヤル］が［する］に設定されています。［自動リダイヤル］を［する］に設定すると、［リダイヤル回数］でリダイヤルする回数を、［リダイヤル間隔］でリダイヤルする間隔を分単位で設定できます。

## テンキーで送信した番号にリダイヤルする

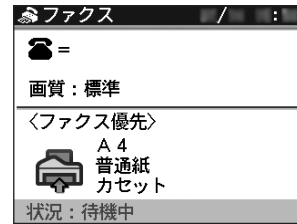
リダイヤル／ポーズボタンを押すと、テンキーを使用して送信したファクス番号を一覧に表示し、選択した番号にダイヤルすることができます。

### 1 ファクス送信の準備をする

**1 電源が入っていることを確認する⇒P.16**

**2 原稿台ガラスまたはADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする⇒P.119**

**3 ファクスボタンを押す**

ファクス送信の待機画面が表示されます。

**4 必要に応じて、画質（解像度）や濃度（明るさ）を調整する⇒P.83**

### 2 リダイヤルの一覧から電話番号を選択する

**1 リダイヤル／ポーズボタンを押す**

テンキーを使用して送信したファクス番号の一覧が表示されます。

**2 ▲▼ボタンでダイヤルしたい番号を選ぶ**

**3 OKボタンを押す**

ファクス送信の待機画面に、選んだ番号が表示されます。

### 3 ファクスを送信する

**カラーファクスを送信する場合はカラースタートボタンを押し、白黒ファクスを送信する場合はモノクロスタートボタンを押す**

重　要

- カラー送信は送信先のファクス機がカラーファクスに対応しているときのみ有効になります。

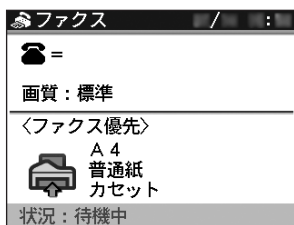
## ワンタッチダイヤルを使って送信する

操作パネルのワンタッチダイヤルボタン（01 ～ 05）に宛先を登録しておくと、かんたんな操作でファクスを送信することができます。

### 1 ファクス送信の準備をする

1 電源が入っていることを確認する⇒P.16

2 原稿台ガラスまたはADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする⇒P.119

3 ファクスボタンを押す
ファクス送信の待機画面が表示されます。

4 必要に応じて、画質（解像度）や濃度（明るさ）を調整する⇒P.83

### 2 ファクスを送信する

1 ワンタッチボタンを押す
送信先のファクス／電話番号が登録されているワンタッチボタン（01 ～ 05）を押します。

2 カラーファクスを送信する場合はカラースタートボタンを押し、白黒ファクスを送信する場合はモノクロスタートボタンを押す

**重　要**

- カラー送信は送信先のファクス機がカラーファクスに対応しているときのみ有効になります。

## ワンタッチダイヤルに登録する

### 1 ワンタッチダイヤル画面を表示する

1 ファクスボタンを押してから、メニューボタンを押す

2 ◀▶ボタンで［電話番号登録］を選び、OKボタンを押す

3 ▲▼ボタンで［ワンタッチダイヤル］を選び、OKボタンを押す

### 2 ワンタッチダイヤルに登録する

1 ▲▼ボタンで、未登録のワンタッチダイヤルの番号（01 ～ 05）を選び、OKボタンを押す

**参　考**

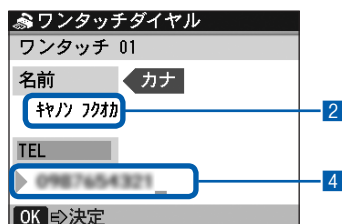
- 未登録の番号を選ぶと、新規に登録できます。
  登録済みの番号を選ぶと、登録内容を編集するのか、削除するのかを選ぶ画面が表示されます。

2 テンキーで送信先の名前を入力する（スペースを含む最大16文字）

**参　考**

- 文字の入力方法については、「文字や数字を入力する」（P.30）を参照してください。

3 OKボタンまたは▼ボタンを押す

4 テンキーで登録したいファクス／電話番号を入力する（スペースを含む最大60桁）

5 OKボタンを押す
ワンタッチダイヤル画面の指定した番号に、登録した名前が表示されます。

**参　考**

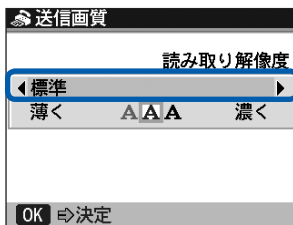
- ファクスボタンを押すと、登録した内容を保存してファクス待機画面に戻ります。

## 送信画質を設定する

送信する原稿の画質（解像度）や濃度（明るさ）を調整することができます。画質を高く設定すると、よりきれいな原稿を送信できますが、送信時間が長くなります。また、濃度を濃く設定すると全体が濃くなり、薄い鉛筆の文字などが見えるようになります。送信する原稿の種類に合わせて、画質や濃度を調整してください。

### 1 ファクスボタンを押してから、送信画質ボタンを押す

### 2 読み取り解像度を設定する

**1 ▲▼ボタンで読み取り解像度を選ぶ**

**2 ◀▶ボタンで画質を選ぶ**

標準：　通常の文字だけの原稿に適しています。

ファイン：　細かい文字の入った原稿に適しています。

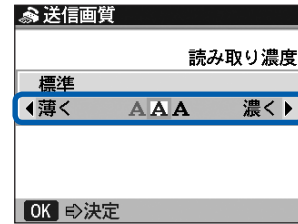
ファインEX：　詳細なイラストや細かい文字の入った原稿に適しています。送信先のファクス機がファインEX（300×300dpi）に対応していない場合は、標準またはファイン（200×200dpi）で送信します。

写真：　写真の入った原稿に適しています。

参考

- カラーでファクス送信する場合、［写真］の解像度になります。

### 3 濃度(明るさ)を設定する

**1 ▲▼ボタンで読み取り濃度を選ぶ**

**2 ◀▶ボタンで濃度を選ぶ**

◀ボタンを押すと薄くなります。
▶ボタンを押すと濃くなります。

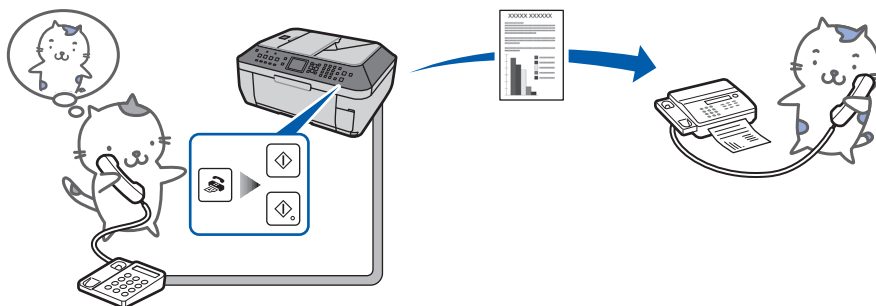
**3 OKボタンを押す**

ファクス送信の待機画面に戻ります。

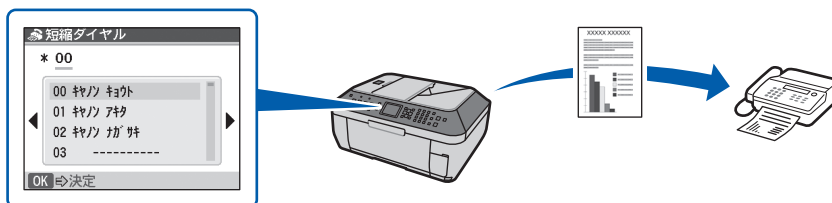
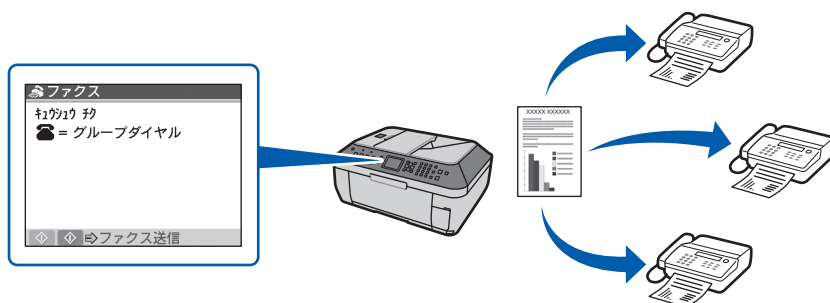
# いろいろな送信機能を使ってみよう

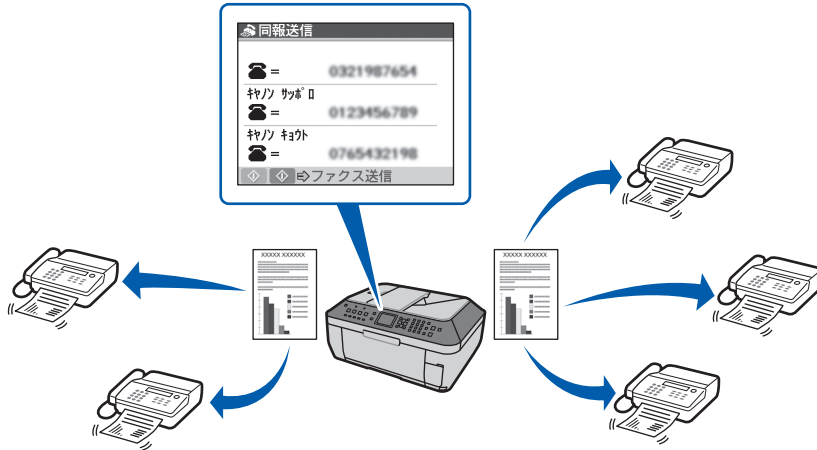
ファクスは、以下のようないろいろな方法で送信することができます。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

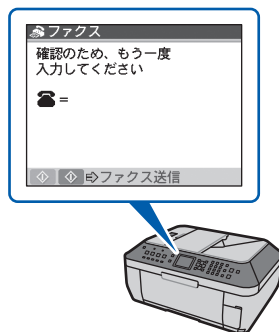
## 送信先の状況を確認してから送信する

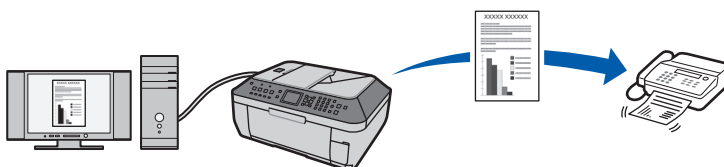
ファクスを送信する前に、相手と会話をしたいときや、相手が自動的にファクスに切り替わらないファクスを使っているときは、送信先がファクスを受信できるかどうかを確認してから手動で送信します。
本製品では、本製品に接続した電話機を使ってダイヤルすることができます。

## 番号を登録してかんたんな操作で送信する

短縮ダイヤルやグループダイヤルに送信先のファクス／電話番号を登録しておくことで、かんたんな操作でファクスを送信することができます。

### ・短縮ダイヤル

### ・グループダイヤル

## 複数の相手に一度に送信する（同報通信）

短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録している番号を指定して、同じ原稿を複数の相手（106件まで登録可能）に一度に送信できます。

## ファクス番号確認入力（誤送信防止）

電話番号の違う相手にファクスを送信しないように、テンキーで送信先のファクス／電話番号を入力し、カラースタートボタンやモノクロスタートボタン、OKボタンを押したあと、もう一度同じ番号を入力した場合のみファクスを送信できます。

## Windows パソコンから送信する

パソコンに接続してご使用になる場合、印刷機能のあるアプリケーションソフトから、ファクスドライバを使ってファクスを送信することができます。

### ダイヤルサーチ

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている登録名や登録番号を検索して表示し、ダイヤルすることができます。

参　考

- 本製品では、銀行、航空券の予約、ホテルの予約などのプッシュホンサービスがご利用できます。プッシュホンサービスではプッシュ信号を使用するため、本製品をダイヤル回線に接続している場合は、一時的にプッシュ信号に切り替えてご利用ください。

## ファクス送信の設定について

ファクス送信に関する設定には、以下のようないろいろな設定があります。必要に応じて設定してください。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

### ECM送信

ECM（自動誤り訂正モード）方式でファクスを送信できます。
受信側のファクス機がECM方式に対応している場合、自動的に誤りを訂正し再送します。

### ポーズ時間設定

ファクス／電話番号を入力するときに、リダイヤル／ポーズボタンを押して番号と番号の間にポーズを入力したときのポーズ１つ分の時間を設定することができます。

### 送信スタートスピード

ファクスの送信速度を設定することができます。

### カラー送信処理

ADF（自動原稿給紙装置）を使ってカラーで送信するとき、送信先のファクスがカラーに対応していない場合に、白黒モードで読み取って送信することができます。

### 送信結果レポート

送信したあとに、自動的に送信結果レポートを印刷することができます。
[印刷しない]、[エラー時のみ印刷]または[送信ごとに印刷]を指定することができます。

### ダイヤルトーン検知

発信動作と着信動作が重なったとき、本製品がダイヤルトーン音を確認してから発信して、ファクス誤送信を防止することができます。

### 送信先のFAX情報確認

ダイヤルしたファクス／電話番号と、送信先のファクス／電話番号が一致するかどうか比較し、一致しない場合に送信を中止することができます。

# ファクスを受信する

ここでは、本製品でファクスを受信する操作を受信モード別に説明しています。
また、エラーなどで本製品のメモリに受信された原稿を印刷する方法について説明しています。

## ファクス受信の準備をする

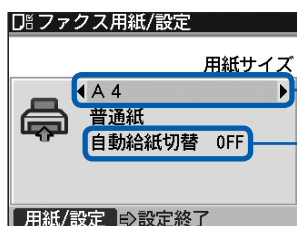
ファクスを受信するためには、以下の操作にしたがって準備してください。

### 1 電源が入っていることを確認する⇒P.16

### 2 受信モードの設定を確認する⇒P.35

### 3 印刷する用紙をセットする⇒P.108

ファクスを受信すると、普通紙の給紙位置にセットしてある普通紙に印刷されます。お買い上げ時は、カセットから給紙する設定になっています。
普通紙の給紙位置の設定については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

### 4 必要に応じて印刷する用紙を設定する

1 **ファクスボタンを押す**

2 **用紙／設定ボタンを押す**
ファクス用紙／設定画面が表示されます。

3 **用紙サイズを指定する**
A4 ／レター／リーガルサイズが指定できます。

4 **自動給紙切替を設定する**
［ON］に設定すると、カセットまたは後トレイにセットした普通紙のどちらかがなくなると、自動的にもう片方の給紙口から用紙を給紙します。
［OFF］に設定すると、普通紙の給紙位置に設定した給紙口からのみ給紙されます。

5 **用紙／設定ボタンを押す**
設定内容を確定します。

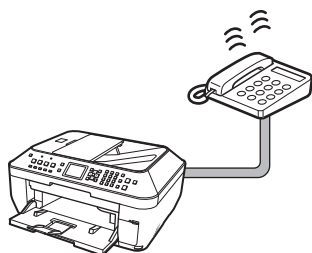
# 受信モード別に受信する

参　考

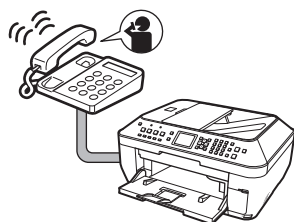
- ファクスと電話の両方を一つの電話回線で使いたい場合は、本製品の電話回線接続部に電話または留守番電話を接続する必要があります。
- 設定した受信モードにより、受信の操作手順が異なります。各受信モードについては「受信モードを設定する」(⇒P.35)を参照してください。

### ファクス優先モードが設定されている場合：

受信モードがファクス優先モードに設定されているときには、以下のように受信します。

## 1　ファクスまたは電話が着信する

## 2　受信する

ファクスの場合：自動的に受信します。

電話の場合：呼び出し音が鳴ります。受話器を取ると、相手と会話できます。

参　考

- 電話がかかってきたときに電話機から呼び出し音が鳴るまでに、多少時間がかかります。
- 外付けの電話機を本製品に接続している場合は、設定している受信モードにかかわらず、着信があると電話機の呼び出し音（着信呼び出し回数で設定されている回数）が鳴ります。
- ［設定］→［本体設定］→［ファクス設定］→［受信機能設定］→［着信呼び出し］で［しない］に設定すると、着信時の呼び出し音を鳴らさないようにすることができます。

**ファクス優先モードの設定について**

- 受信モードをファクス優先モードに設定している場合は、ファクスモードでメニューキーを押して［設定］→［本体設定］→［ファクス設定］を選び、［受信機能設定］の［ファクス優先モード］を選ぶことで、以下の設定を変更できます。
  ［呼び出し開始時間］：着信がファクスか電話かを本製品が判断するための時間
  ［TEL呼び出し時間］：着信が電話の場合に、呼び出し音を鳴らす時間
  ［呼び出し後の動作］：設定した呼び出し時間が経過したあと、ファクスを受信するかどうか

## ファクス専用モードが設定されている場合：

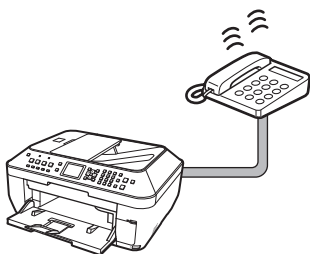
受信モードがファクス専用モードに設定されているときには、ファクス専用回線を使用してファクスを着信すると、ファクスを自動的に受信します。

参　考

- ファクス受信時に呼び出し音は鳴りません。
- 電話または留守番電話を併用する場合は、本製品に電話機を接続し、ファクス優先モードか電話優先モードに変更してください。

## 電話優先モードが設定されている場合：

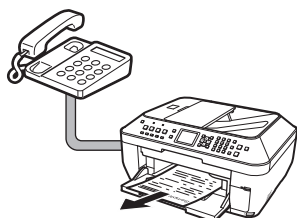
受信モードが電話優先モードに設定されているときには、以下のように受信します。

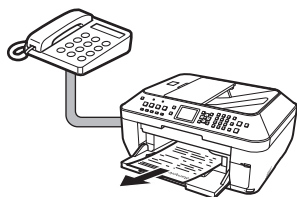
### 1　ファクスまたは電話が着信する

着信音が鳴ったら、受話器を取ります。

## 2 受信する

ファクスの場合：呼び出し音が鳴ります。受話器を取り、「ポーポー」という音が聞こえたときは、自動的にファクスに切り替わり、ファクスが受信されます。受信が開始されたら受話器を置きます。

参 考

- ファクスに自動的に切り替わらない場合は、カラースタートボタンまたはモノクロスタートボタンを押してください。

電話の場合：受話器を取ると、相手と会話できます。

留守番電話機を接続している場合：電話の場合は、メッセージが応答します。
ファクスの場合は、自動的に受信します。

参 考

- 一定の時間呼び出し音を鳴らしたあと、自動的にファクスを受信することもできます。ファクス設定画面の［受信機能設定］で［自動受信切り替え］を［する］に設定し、受信開始時間を設定してください。
  詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- 本製品に接続した電話機が本製品から離れた場所にある場合は、本製品に接続した電話機の受話器を取ったあとに「25」（リモート受信ID）をダイヤルすると、ファクスを受信できます（リモート受信）。
  なお、リモート受信はプッシュ回線でのみ、使用できます。リモート受信をしないようにも設定できます。
  詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- 留守番電話機を接続している場合は留守番電話機を留守モードにし、次のように設定してください。
  －応答メッセージの長さは 15 秒以内にしてください。
  －メッセージでは、ファクスの送信方法を説明してください。

# 本製品のメモリに一時的に受信する（代行受信）

ファクスを送信できなかった場合や受信したファクスを印刷できなかった場合、未送信のファクスや印刷できなかったファクスは一時的にメモリに保存されます（代行受信）。ただし、送信エラーになった場合は、メモリに保存されません。保存されたファクスは、一覧（原稿リスト）にして印刷したり、指定したファクスの内容を印刷したりできます。

重　要

- 電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷しておいてください。

次のような状況でファクスを受信すると、ファクスが自動的にメモリに保存されます。

## • 受信中にインクがなくなったとき

なくなったインクタンクを交換すると、メモリに保存されたファクスは自動的に印刷されます。

参　考

- インクがなくなっても、受信したファクスを強制的に印刷するように設定することができます。ただし、インク切れにより、ファクスの内容が部分的もしくはすべて印刷されないことがあります。また、ファクスの内容はメモリに保存されません。なお、すでにインクがなくなっている場合は、［設定］→［本体設定］→［ファクス設定］の［基本設定］で［自動印刷］を［しない］に設定して、インク交換中に受信したファクスがメモリに保存されるようにしてください。インクタンクを交換したあとにメモリに保存したファクスを手動で印刷することをお勧めします。⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

## • 受信中に用紙がなくなったとき

用紙をセットし、OKボタンを押すと、メモリに保存されたファクスは自動的に印刷されます。

## • A4、レターサイズ、またはリーガルサイズ以外の用紙がセットされているとき

A4、レターサイズ、またはリーガルサイズの用紙をセットし、用紙設定を確認してください。
⇒「ファクス受信の準備をする」（P.87）

## • ストップボタンを押して、受信したファクスの印刷を中止したとき

ファクスボタンを押してください。

参　考

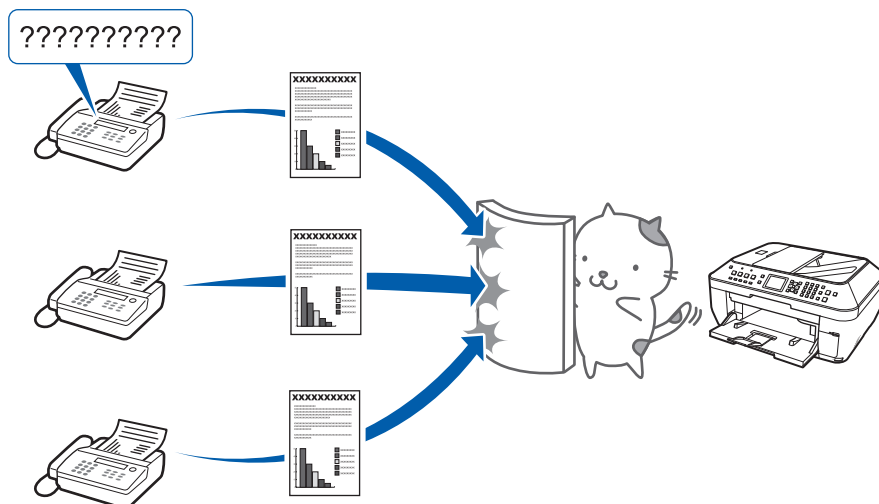
- 本製品のメモリには、約250ページ分*（約30件）のファクスが保存できます。
- ［設定］→［本体設定］→［ファクス設定］の［基本設定］で［自動印刷］を［する］に設定した場合、受信したファクスは自動で印刷されます。［しない］に設定した場合、受信したファクスはメモリに保存されるので、メモリ照会から印刷してください。⇒P.95
- メモリがいっぱいになると、残りのページは受信できません。メモリに保存されている原稿を印刷または削除してから、送信元に連絡して、もう一度送信してもらってください。⇒ P.94

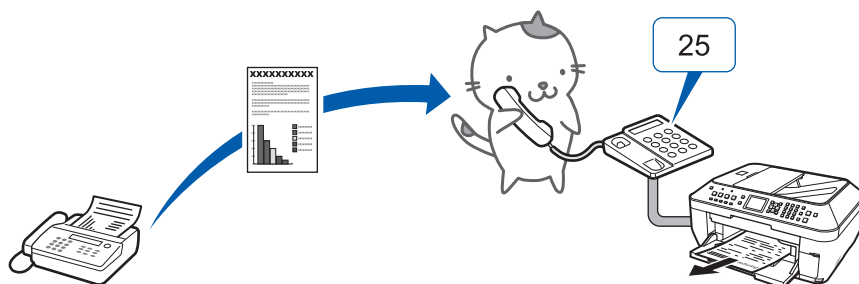
* キヤノンFAX標準チャートNo.1（標準モード）使用時

# いろいろな受信機能を使ってみよう

ファクスには、以下のようないろいろな受信機能があります。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

## ファクス受信拒否設定

［設定］→［本体設定］→［ファクス設定］→［受信機能設定］の［ファクス受信拒否設定］で［する］に設定すると、発信元情報がない番号、またはワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルに登録されていない番号、通信拒否番号に登録されている番号に対して、ファクス受信を拒否することができます。

## 本製品に接続されている電話機からファクスを受信する（リモート受信）

本製品が離れた場所にある場合は、本製品に接続した電話機の受話器を取ったあとに25（リモート受信ID）をダイヤルすると、ファクスを受信できます（リモート受信）。
リモート受信を有効にするには、［設定］→［基本設定］→［ファクス設定］→［受信機能設定］の［リモート受信］で［する］を選び、［リモート受信ID］を設定／変更することができます。

# ファクス受信の設定について

ファクス受信に関する設定には、以下のようないろいろな設定があります。必要に応じて設定してください。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

## ECM受信

ECM（自動誤り訂正モード）方式で受信することができます。
送信側のファクス機もECM方式に対応している場合、送信側のファクス機が自動的に誤りを訂正し再送します。

## ファクス優先モード

ファクス優先モードを設定したときの、呼び出し開始時間やTEL呼び出し時間、呼び出し後の動作など、詳細な設定をします。

## 着信呼び出し

ファクス優先モードまたはファクス専用モードで、着信があったときに外部接続機器の呼び出し音を鳴らすことができます。

## 自動受信切り替え

電話優先モードで、一定の時間呼び出し音を鳴らしたあと、自動的にファクスを受信することができます。

## 受信画像縮小

セットした用紙サイズにおさまるように、受信したファクスを自動的に縮小して印刷することができます。

## 受信スタートスピード

ファクスの受信速度を設定することができます。

## 受信結果レポート

ファクスを受信したあとに、自動的に受信結果レポートを印刷することができます。
［印刷しない］、［エラー時のみ印刷］または［受信ごとに印刷］を指定することができます。

# ファクスを使用するときに便利な機能

ファクスを使用するときに、以下のようないろいろな機能があります。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

## メモリ照会

原稿リスト印刷：メモリに保存されているファクスの一覧を印刷します。
指定原稿印刷：メモリに保存されているファクスを選んで印刷します。
指定原稿削除：メモリに保存されているファクスを選んで削除します。
受信原稿を一括印刷：メモリ内の受信したファクスを一度に印刷します。
メモリ内原稿を一括削除：メモリ内のすべてのファクスを一度に削除します。

## レポート／リスト印刷

### 通信管理レポート

送受信したファクスの履歴が印刷されます。お買い上げ時は、20回通信するごとに自動的に印刷される設定になっています。

2009 02/02 10:29 FAX 0345678912　　ｷﾔﾉﾝ ﾄｳｷｮｳ　　001

****************************
***　通信管理レポート　***
****************************

| 開始時刻 | 相手の電話番号 | 相手の名前 | 番号 | 通信モード | | 枚数 | 通信結果 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 02/02 10:11 | 0765432198 | ｷﾔﾉﾝ ﾌｸｵｶ | 0001 | 送信 | ｶﾗｰ | 1 | OK | 00'31 |
| 02/02 10:14 | 0987654321 | ｷﾔﾉﾝ ｻｯﾎﾟﾛ | 0002 | 送信 | ｶﾗｰ | 1 | OK | 00'33 |
| 02/02 10:19 | 0912345678 | ｷﾔﾉﾝ ﾅｶﾞｻｷ | 0003 | 送信 | ECM | 2 | OK | 00'14 |
| 02/02 10:25 | 0123456789 | ｷﾔﾉﾝ ｵｵｻｶ | 5001 | 自動受信 | ｶﾗｰ | 1 | OK | 00'36 |
| 02/02 10:28 | 0678912345 | ｷﾔﾉﾝ ｷｮｳﾄ | 0004 | 送信 | ECM | 1 | OK | 00'11 |

### 電話番号リスト

2009 02/02 10:11 FAX 0345678912　　ｷﾔﾉﾝ ﾄｳｷｮｳ　　001
***　短縮ダイヤル電話番号リスト　***
番号
[* 00
[* 01
[* 02
[* 03

2009 02/02 10:11 FAX 0345678912　　ｷﾔﾉﾝ ﾄｳｷｮｳ　　001
***　ワンタッチダイヤル電話番号リスト　***
番号
[ 01
[ 02
[ 03
[ 04

2009 02/02 10:12 FAX 0345678912　　ｷﾔﾉﾝ ﾄｳｷｮｳ　　001
***　グループダイヤル電話番号リスト　***

[ 04] ｶﾝｻｲ ﾁｸ　　[ 03] 0678912345　ｷﾔﾉﾝ ｵｵｻｶ
　　　　　　　　[* 00] 0765432198　ｷﾔﾉﾝ ｷｮｳﾄ
[* 03] ｷｭｳｼｭｳ ﾁｸ　　[ 01] 0912345678　ｷﾔﾉﾝ ﾌｸｵｶ
　　　　　　　　[* 02] 0987654321　ｷﾔﾉﾝ ﾅｶﾞｻｷ

# 電話番号登録

ワンタッチダイヤル：よく使う送信先のファクス／電話番号をワンタッチダイヤルに登録します。
短縮ダイヤル：よく使う送信先のファクス／電話番号を短縮ダイヤル番号に登録します。
グループダイヤル：複数のファクス／電話番号をまとめてグループダイヤルに登録します。
通信拒否番号：着信を受けたくないファクス／電話番号を通信拒否番号として登録します。

## メモリに保存されているファクスを印刷する

### メモリに保存されるファクスについて

次の場合、受信したファクスは印刷されず、メモリに自動的に保存されます。

- 受信中にインクがなくなったとき
- 受信中に用紙がなくなったとき
- A4、レター、またはリーガルサイズ以外の用紙がセットされているとき
- ［基本設定］の［自動印刷］が［しない］に設定されているとき
- ストップボタンを押して、受信したファクスの印刷を中止したとき

### 1 普通紙がカセットにセットされていることを確認する

用紙のセット方法については、「用紙をセットする」（P.108）を参照してください。

### 2 メモリ照会画面を表示する

1 ファクスボタンを押してから、メニューボタンを押す

2 ◀▶ボタンで［メモリ照会］を選び、OKボタンを押す

### 3 メモリ内のファクスを一括して印刷する

1 ▲▼ボタンで［受信原稿を一括印刷］を選び、OKボタンを押す

参考

- ［原稿リスト印刷］を選ぶと、メモリに保存されているファクスの一覧を印刷することができます。
- ［指定原稿印刷］を選ぶと、印刷したい原稿を選んで印刷することができます。
- ［指定原稿削除］を選ぶと、削除したいファクスを選んで削除することができます。
- ［メモリ内原稿を一括削除］を選ぶと、メモリ内のファクスを一度にすべてのファクスを削除することができます。

**2** ▲▼ボタンで［はい］を選び、OKボタンを押す

メモリに保存されているファクスが1件ずつ印刷されます。

印刷した原稿を
メモリから
削除しますか？
はい
いいえ

**3** ▲▼ボタンで［はい］を選ぶ

削除しないで、メモリに残しておく場合は、［いいえ］を選びます。

**4** OKボタンを押す

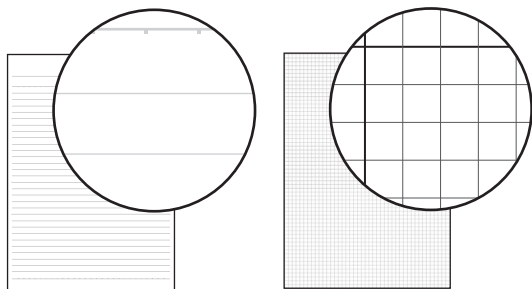
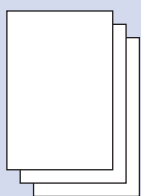
参　考

- 1件印刷するごとに削除の確認メッセージが表示されるので、すべてのファクスが印刷されるまで同じ操作を繰り返します。

# そのほかの使いかた

本製品のそのほかの使いかたとして、レポート用紙や方眼紙などの定型フォームの印刷方法や本体設定の各機能、デジタルカメラや携帯電話から直接印刷する機能について紹介しています。
また、操作の手助けとなる『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の見かたや、Solution Menu（ソリューション・メニュー）、マイ プリンタについても説明しています。

# レポート用紙や方眼紙などを印刷する

ここでは定型フォームを選んで印刷する操作について説明します。

### 用意するもの

A4、B5またはレターサイズの普通紙
⇒「使用できる用紙について」（P.115）

## 1 印刷の準備をする

1 電源が入っていることを確認する⇒P.16

2 カセットにA4、B5またはレターサイズの普通紙がセットされていることを確認する⇒P.108

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

## 2 定型フォームを選ぶ

1 メニューボタンを押す

2 ◀▶ボタンで［設定］を選び、OKボタンを押す

3 ◀▶ボタンで［定型フォーム印刷］を選び、OKボタンを押す

4 ◀▶ボタンで印刷したいフォームを選び、OKボタンを押す

参考

- 選べる定型フォームについては「いろいろなレイアウトで印刷してみよう」（P.99）を参照してください。

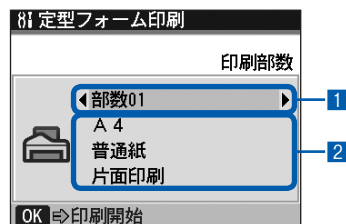
## 3 印刷を開始する

1 ▲▼ボタンで［印刷部数］を選び、◀▶ボタンで印刷部数を指定する

2 用紙のサイズや両面設定などを確認する

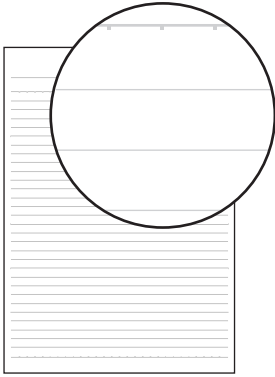
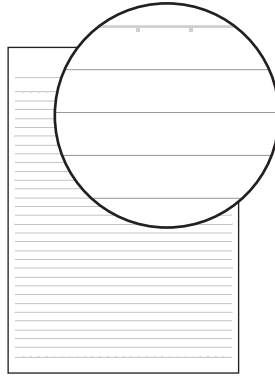
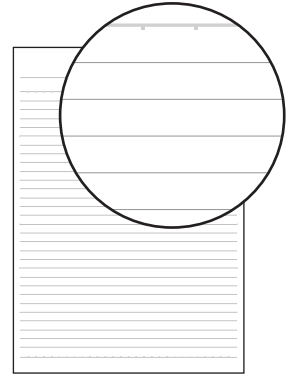
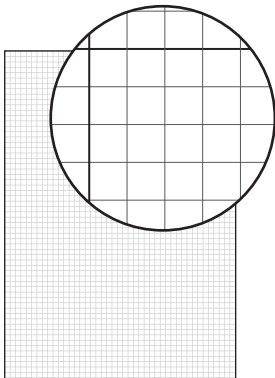
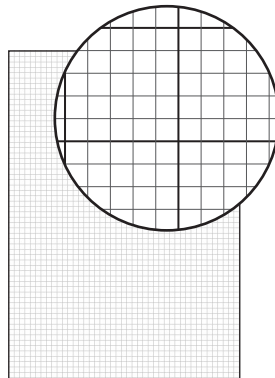
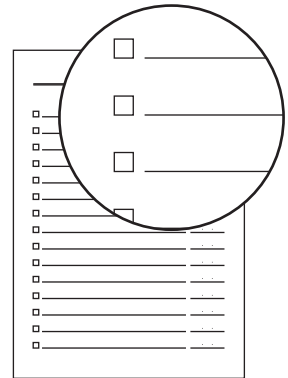
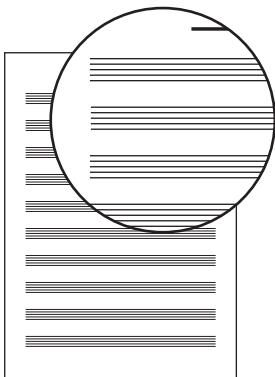
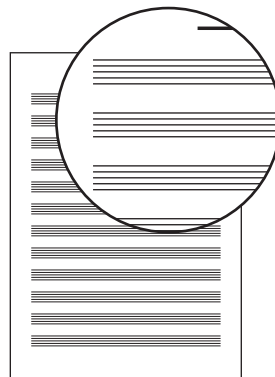
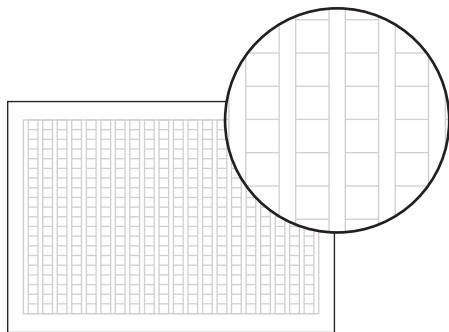
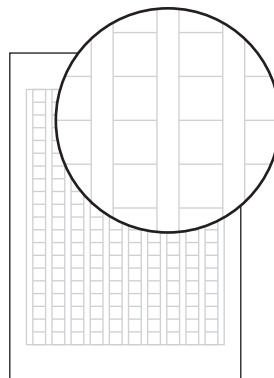
設定内容を変更するには、▲▼ボタンで変更したい項目を選び、◀▶ボタンで設定を変更します。

参考

- 用紙サイズに指定できるのは、［A4］、［レターサイズ］または［B5］です。［B5］は、選んだフォームによっては指定できない場合があります。用紙の種類は［普通紙］のみで設定を変更できません。

3 OKボタンを押す

印刷が開始されます。

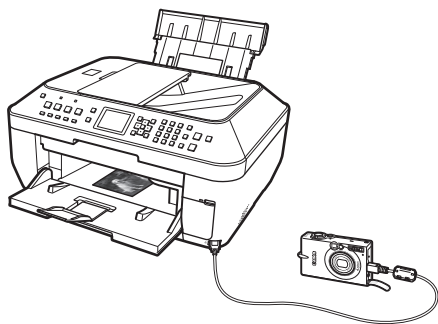
## いろいろなレイアウトで印刷してみよう

ここでは定型フォーム印刷で選べるフォームのレイアウトを紹介します。

[レポート用紙１
罫線８mm（Ｕ罫）]

[レポート用紙２
罫線７mm（Ａ罫）]

[レポート用紙３
罫線６mm（Ｂ罫）]

[方眼紙１
方眼５mm]

[方眼紙２
方眼３mm]

[チェックリスト
チェックボックス付リスト]

[五線譜１
音楽罫１０段]

[五線譜２
音楽罫１２段]

[原稿用紙１
400字詰め]

[原稿用紙２
200字詰め]

# デジタルカメラや携帯電話などから直接印刷する

## PictBridge対応機器を接続して印刷する

本製品とPictBridgeに対応した機器を各社推奨のUSBケーブルで接続すれば、機器内に保存された画像を直接印刷することができます。

対応機器を接続して印刷する方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
また、対応機器での印刷設定方法については、対応機器に付属の取扱説明書を参照してください。

**本製品に接続可能な機器：**
PictBridgeに対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず接続可能

重　要

- PictBridge対応機器を接続する場合は、3mを超える長さのUSBケーブルを使用すると周辺の機器の動作に影響を与える可能性がありますので、使用しないでください。

参　考

- PictBridgeは、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像を、パソコンを介さずに直接プリンタで印刷するための規格です。
- 対応機器には マークが表示されています。

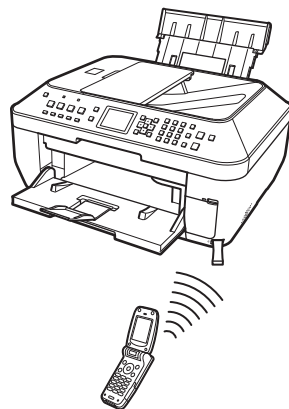
**印刷可能な画像データ：**
DCF Ver.1.0/2.0規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif ver.2.2/2.21準拠）、またはPNGデータ

参　考

- PictBridge対応機器で印刷する場合は、本製品の操作パネルで印刷品質を設定してください。PictBridge対応機器からは印刷品質の設定は行えません。

## ワイヤレスで印刷する

オプションのBluetoothユニットBU-30を使用すると、Bluetooth通信機能がある携帯電話やパソコンからワイヤレスで印刷することができます。

印刷方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

# 本製品の設定について

ここでは、［設定］の［本体設定］から設定／変更できる項目について紹介します。設定／変更方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

## 普通紙の給紙設定

普通紙を給紙する位置を後トレイまたはカセットに設定します。
ご購入時の普通紙の給紙設定は、カセットに設定されています。後トレイに変更するときは、ここで設定を変更します。

## ファクス設定

### 基本設定

自動印刷や日付／時刻設定、ユーザ名／電話番号登録、音量調整、呼び出し音質、回線種別自動判別など、ファクスの基本的な設定をします。

### 送信機能設定

ECM送信やポーズ時間設定、自動リダイヤル、FAX番号確認入力など、ファクスの送信に関する設定をします。

### 受信機能設定

ECM受信やファクス優先モード、着信呼び出し、ファクス受信拒否設定など、ファクスの受信に関する設定をします。

## 印刷設定

### 用紙のこすれ改善

印刷面がこすれてしまった場合のみ設定します。

### コピーフチはみ出し量

コピーの種類を［フチなしコピー］に設定したときに、はみ出し量を設定します。

## LAN設定

### LAN 有線／無線の切替

有線LANを有効にするか、無線LANを有効にするかを切り換えます。

### 無線LAN接続設定

WPS（Wi-Fi Protected Setup）やWCN（Windows Connect Now）で無線LANの接続設定を行います。WCN設定はWindows Vistaのみ対応です。詳しくは『かんたんスタートガイド』を参照してください。

### 無線LAN設定表示

本製品の無線LANのネットワーク設定情報を液晶モニターに表示します。

### 有線LAN設定表示

本製品の有線LANのネットワーク設定情報を液晶モニターに表示します。

### IPv4/IPv6設定

IPバージョン（IPv4またはIPv6）を設定します。通常はIPv4設定でご使用いただくことをお勧めします。

### WSD設定

WSD（Windows Vistaがサポートするネットワークプロトコルの一つ）の設定（有効／無効）を切り替えます。

### LAN設定情報印刷

本製品のネットワーク設定情報を印刷します。

### LAN設定リセット

本製品のネットワーク設定情報を初期化します。

## 詳細設定

### カード書き込み状態

本製品のカードスロットをパソコンのメモリーカード用ドライブとして使用できるように設定できます。

### 音量調整

操作パネルのボタンを押したときに出る音の音量や、エラー警告の音量を調整します。

### サイレント設定

夜間など、本製品の動作音（コピー時／メモリーカード印刷時／ PictBridge対応機器からの印刷時／ワイヤレス印刷時など）が気になるときに設定します。

**キーリピート**

数値を入力するときに、ボタンの長押しで数値が早く増えたり減ったりするように設定できます。
無効に設定すると、ボタンを長押ししてもボタンを１度しか押していない操作と同様となります。

**両面排紙設定**

両面原稿を読み取るときの原稿の排紙方法を設定します。
［スピード優先－裏表順］を設定すると高速で読み取りますが、2ページ目を裏に、1ページ目を表に排紙し、複数ページの原稿を読み取った場合は「2、1」「4、3」「6、5」... という順に重ねられて排紙されます。

## 携帯電話印刷設定

ワイヤレス通信対応機器から印刷するときに、用紙やレイアウトなどを設定します。
この設定は、オプションのBluetoothユニットを接続した場合のみ表示されます。

## Bluetooth通信設定

機種名やパスキーなどのBluetooth通信の設定を変更できます。
この設定は、オプションのBluetoothユニットを接続した場合のみ表示されます。

## PictBridge印刷設定

PictBridge対応機器から印刷するときに、用紙や印刷品質などを設定します。

## 言語選択

液晶モニターに表示する言語を変更します。

## 設定リセット

本製品で設定した値を、電話番号登録のみ／設定値のみ／両方リセットのいずれかを指定して、ご購入時の設定に戻すことができます（ただし、LAN設定、プリントヘッド位置調整での設定値、言語選択で設定した言語についてはリセットされません）。

# 『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）について

付属のCD-ROM『セットアップCD-ROM』には、パソコンの画面で見る取扱説明書（電子マニュアル）の『もっと活用ガイド』が収録されています。

『もっと活用ガイド』では、本書には記載されていない使いかたや各種設定のしかた、トラブルが起こったときの対処方法、付属のアプリケーションソフトの使いかたについて説明しています。

本製品の機能を十分に知ってご活用いただくために、『もっと活用ガイド』をご利用ください。

参　考

- 『もっと活用ガイド』をインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［電子マニュアル（取扱説明書）］を選んでインストールします。
- 『もっと活用ガイド』は、Solution Menu（ソリューション・メニュー）から表示することもできます。（P.105）

※画面はWindows Vistaのものです。

## 『もっと活用ガイド』を表示するには

### Windows

### デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする

『もっと活用ガイド』の画面では次のようなことができます。

- 『もっと活用ガイド』をまとめて印刷したり、特定の章や項目だけを印刷したりできます。
- よく見るページを「マイマニュアル」として登録しておくことができます。

### Macintosh

### デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする

# Solution Menuとマイ プリンタについて



Solution Menu（ソリューション・メニュー）やマイ プリンタは、パソコンのウィンドウ上のボタンをクリックするだけで、本製品に関する情報をかんたんに表示したり、設定できる便利なソフトウェアです。

Solution Menuからは、本製品に付属のアプリケーションソフトを起動したり、操作方法の説明を表示できます。また、トラブルの対処方法について知ることもできます。

マイ プリンタからは、プリンタドライバの設定画面を表示したり、操作に困ったときに対処方法について知ることもできます。マイ プリンタはMacintoshではご使用になれません。

参考

- Solution Menuをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［Solution Menu］を選んでインストールします。

Windows

- ［スタート］メニューから表示するときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows 2000をご使用の場合は［プログラム］）→［Canon Utilities］→［Solution Menu］→［Solution Menu］の順に選びます。

Macintosh

- メニューバーから表示するときは、［移動］メニューから［アプリケーション］→［Canon Utilities］→［Solution Menu］の順に選び、［Solution Menu］をダブルクリックします。

## Solution Menuを表示するには

### Windows

### デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする

### Macintosh

### Dock内にあるアイコン をクリックする

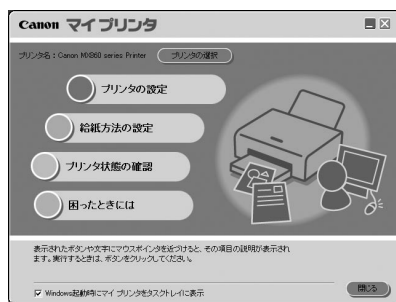
※画面はWindows Vistaのものです。

使いたい機能のボタンをクリックします。

起動後は、タイトルバーのボタンをクリックしてサイズを変更できます。

## マイ プリンタを表示するには

### Windows

### デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする

参考

- マイ プリンタはSolution Menuからも表示することができます。
- マイ プリンタをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［マイ プリンタ］を選んでインストールします。
- ［スタート］メニューから表示するときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows 2000をご使用の場合は［プログラム］）→［Canon Utilities］→［マイ プリンタ］→［マイ プリンタ］の順に選びます。

# 用紙／原稿をセットする

ここでは、本製品で使用できる用紙／原稿の種類と、印刷する用紙を後トレイまたはカセットにセットする方法、コピーやスキャンする原稿のセット方法について説明しています。

# 用紙をセットする

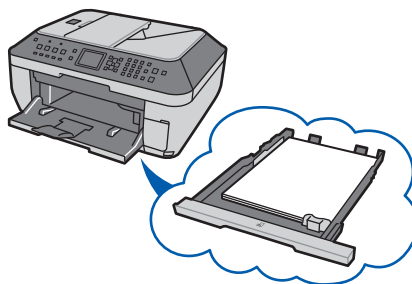
## 用紙のセット位置について

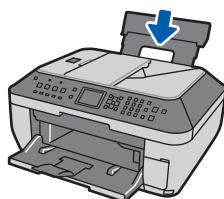
用紙は、カセットと後トレイの２箇所にセットすることができます。
用紙サイズや種類によってそれぞれセットできる用紙が決められています。用紙サイズや用紙の種類の設定にしたがって、カセットまたは後トレイから給紙されます。
⇒「使用できる用紙について」（P.115）

参考

- プリンタドライバで給紙方法が［自動選択］に設定されていると、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を指定したときにはカセットから給紙され、それ以外の写真用紙などを指定したときには、後トレイから給紙されます。
  印刷する際は、用紙サイズと用紙の種類を正しく設定してください。用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。
  それぞれの給紙箇所への用紙のセット方法については、「カセットに用紙をセットする」（P.109）、「後トレイに用紙をセットする」（P.111）を参照してください。
  ［自動選択］については、「文書を印刷する（Windows）」（P.70）または「文書を印刷する（Macintosh）」（P.73）を参照してください。
  そのほかの給紙方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- ファクス用紙／設定画面で［自動給紙切替］を有効に設定しておくと、受信したファクスは、普通紙の給紙設定で指定された給紙箇所から用紙がなくなると、給紙位置を自動的に切り替えて印刷します。

### 普通紙はカセットにセットします

A4、B5、A5、レターサイズの普通紙に印刷するときは、カセットにセットします。
印刷するときに操作パネルまたはプリンタドライバの印刷設定で、用紙の種類を［普通紙］（A4、B5、A5、レターサイズ）に設定すると、自動的にカセットから給紙されます。給紙方法の変更については『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

### 写真用紙やはがきは後トレイにセットします

写真用紙やはがきに印刷するときは、後トレイにセットします。
印刷するときに操作パネルまたはプリンタドライバの印刷設定で、用紙の種類を普通紙以外の写真用紙やはがきに設定すると、自動的に後トレイから給紙されます。
また、A4、B5、A5、レターサイズ以外の普通紙に印刷する場合も、後トレイにセットしてください。

## カセットに用紙をセットする

カセットには、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙のみセットできます。
⇒「使用できる用紙について」（P.115）

### ●普通紙に印刷するときの注意

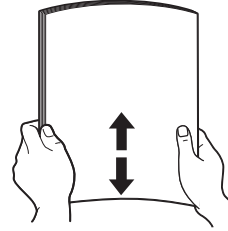
重　要

- 普通紙をL判、2L判、KGサイズ、名刺の大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

参　考

- カセットにはA4、B5、A5、レターサイズの普通紙のみセットできます。それ以外の用紙は後トレイにセットしてください。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」（P.115）を参照してください。
- 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン普通紙・ホワイトSW-101が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口SW-201がお勧めです。
  本製品で使用できる用紙サイズ、重さについては、「使用できる用紙について」（P.115）を参照してください。

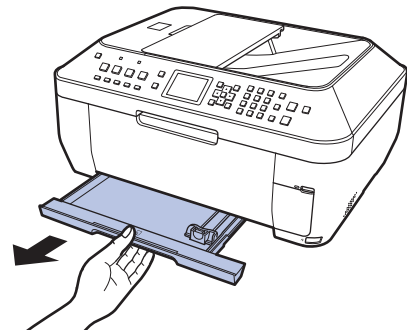
## 1 用紙の準備をする

セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。

参　考

- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直しかたについては、「困ったときには」の「印刷面が汚れる／こすれる」（P.157）を参照してください。

## 2 用紙をセットする

### 1 カセットを手前に引き出す

用紙／原稿をセットする

**2** **印刷したい面を下にして、先端が奥になるように、カセットの右側に合わせて用紙をセットする**

**3** **手前側の用紙ガイド（A）を用紙サイズのマーク位置に合わせる**

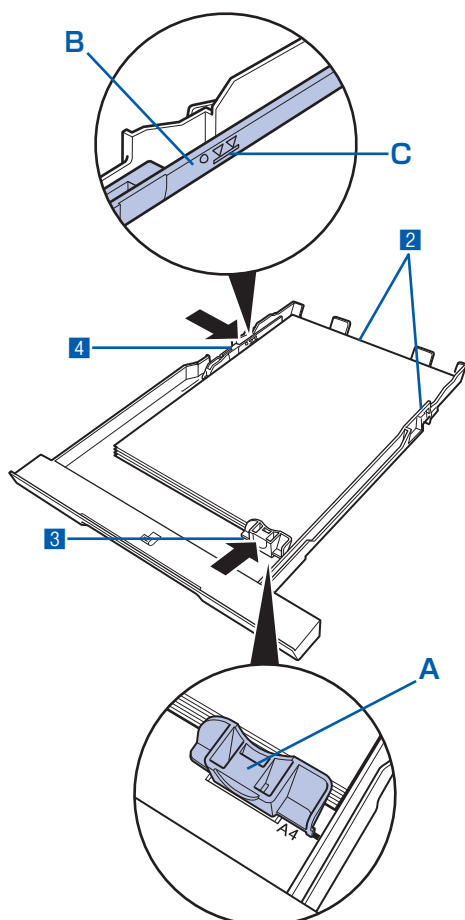
用紙ガイド（A）が用紙サイズのマーク位置に合うと止まります。

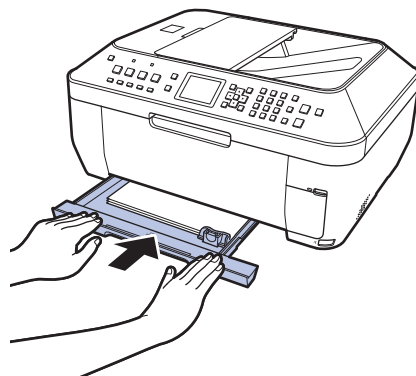
参　考

- 用紙ガイド（A）と用紙の間には隙間ができることがあります。

**4** **左側の用紙ガイド（B）を用紙の端にぴったり合わせる**

参　考

- （C）の線を超えないようにセットしてください。

**5** **カセットを本体に差し込む**

奥に突き当たるまでまっすぐ押し込んでください。

## 3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

参　考

**用紙をセットしたら**

- パソコンを使わずに本製品を操作してコピーや印刷する場合は、用紙／設定画面で［用紙サイズ］と［用紙の種類］をセットした用紙に合わせて設定します。
  ⇒「設定を変更する」（P.43、P.54）
- パソコンから印刷する場合は、プリンタドライバで［出力用紙サイズ］（［用紙サイズ］）と［用紙の種類］をセットした用紙に合わせて設定します。
  Windowsの場合
  ⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.70）
  Macintoshの場合
  ⇒「文書を印刷する（Macintosh）」（P.73）

# 後トレイに用紙をセットする

## 写真用紙／はがきをセットする

●はがきに印刷するときの注意

重　要

- 普通紙をはがきの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。
- 通常のはがきや往復はがきは、パソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 宛名面はパソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復はがきに印刷するときは、ご使用のアプリケーションソフトおよびプリンタドライバで用紙サイズを必ず「往復はがき」に設定してください。
- 往復はがきにフチなし全面印刷はできません。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目がつくと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。

参　考

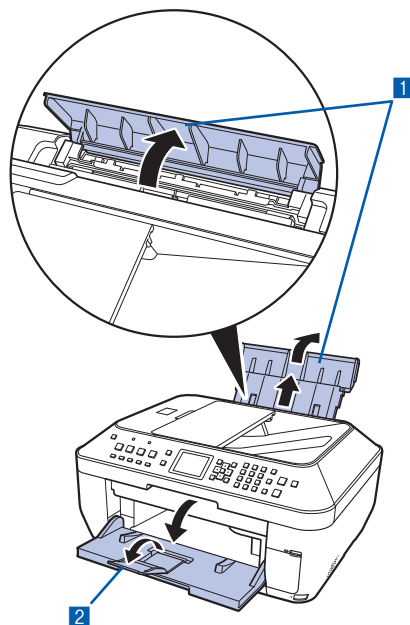
- はがき、往復はがきは自動両面印刷には対応していません。
- はがきの両面に１面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとに宛名面を印刷することをお勧めします。このとき、通信面の先端がめくれたり傷がついたりする場合は、宛名面から印刷すると状態が改善することがあります。
- はがきを持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触らないでください。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」（P.115）を参照してください。

### 1　用紙の準備をする⇒P.108

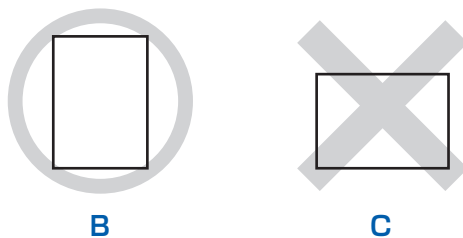
セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。

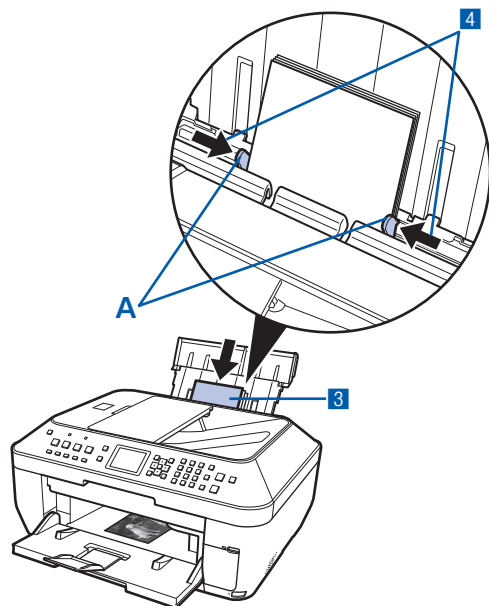
### 2　用紙をセットする

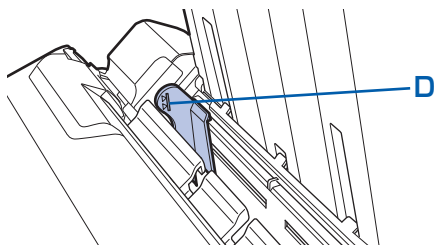
1　用紙サポートを開き、上に持ち上げてから奥に傾ける

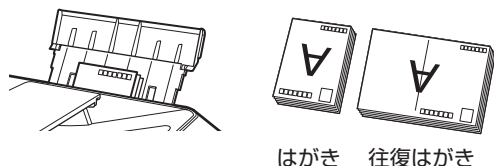
2　排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

3　用紙ガイド（A）を広げ、用紙の印刷面を上にして、後トレイの中央にセットする

重　要

- 用紙（往復はがきを除く）は縦方向（B）にセットしてください。横方向（C）にセットすると紙づまりの原因となります。

**4 用紙ガイド（A）を動かし、用紙の両端に合わせる**

用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

参考

- 用紙は（D）の線を超えないようにセットしてください。

### はがきの場合：

郵便番号欄を下向きにセットします。用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

はがき　往復はがき

参考

**用紙をセットしたら**

- パソコンを使わずに本製品を操作してコピーや印刷する場合は、用紙／設定画面で［用紙サイズ］と［用紙の種類］をセットした用紙に合わせて設定します。
  ⇒「設定を変更する」（P.43、P.54）
- パソコンから印刷する場合は、プリンタドライバで［出力用紙サイズ］（［用紙サイズ］）と［用紙の種類］をセットした用紙に合わせて設定します。
  Windowsの場合
  ⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.70）
  Macintoshの場合
  ⇒「文書を印刷する（Macintosh）」（P.73）

## 封筒をセットする

一般の長形３号／４号の封筒と、洋形４号／６号の封筒に印刷できます。
プリンタドライバで適切に設定することにより、宛名は封筒の向きに合わせて、自動的に回転して印刷されます。

重要

- パソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 次のような封筒は使用できません。
  －角形封筒
  －型押しやコーティングなどの加工された封筒
  －ふたが二重（またはシール）になっている封筒
  －ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒
- Macintoshをご使用の場合は、長形３号／４号の封筒は印刷できません。

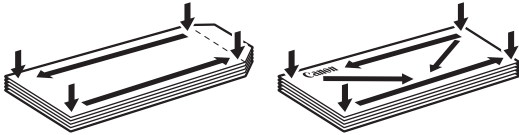
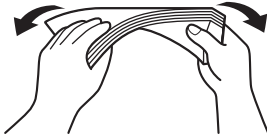
参考

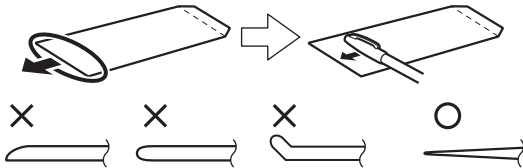
- Windowsをご使用の場合、長形封筒の印刷時にセット方法についてのメッセージが表示されます。［今後、このメッセージを表示しない。］にチェックマークをつけると、次回からメッセージは表示されなくなります。

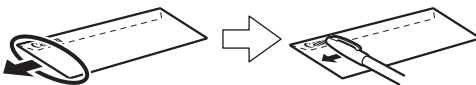
## 1 封筒の準備をする

- 封筒の四隅と縁を押して平らにします。

・長形封筒

・洋形封筒

- 封筒が反っている場合は、両手で対角線上の端を持って、逆方向に軽く曲げます。

- 封筒のふた部分が折れ曲がっている場合は平らにします。
- 挿入方向の先端部をペンで押して平らに伸ばします。

・長形封筒

上の図は、封筒の先端部の断面図です。

・洋形封筒

**重　要**

- 平らになっていなかったり、端がそろっていなかったりすると、紙づまりの原因になることがあります。反りやふくらみが3mmを超えないようにしてください。

## 2 封筒をセットする

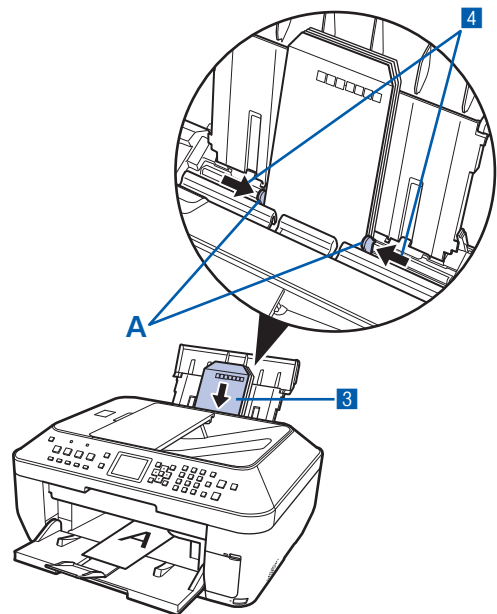
**1** **用紙サポートを開き、上に持ち上げてから奥に傾ける⇒P.111**

**2** **排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く⇒P.111**

**3** **用紙ガイド（A）を広げ、封筒の印刷面を上にして、後トレイの中央にセットする**

一度に10枚までセットできます。

**4** **用紙ガイド（A）を動かし、封筒の両端に合わせる**

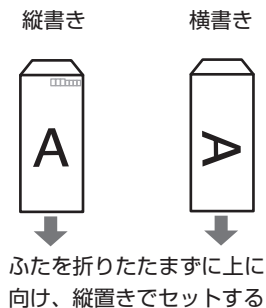
用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

## 3 プリンタドライバで用紙の設定をする

プリンタドライバの設定画面を開き、以下の設定を行ってください。

- **長形封筒（Windowsのみ）**

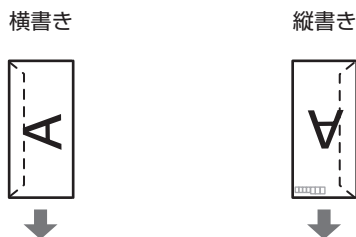
セットのしかた：

縦書き　　横書き

ふたを折りたたまずに上に向け、縦置きでセットする

[よく使う設定]　：[封筒印刷]
[封筒サイズの設定] 画面：[長形３号]、[長形４号]
[印刷の向き]　：[縦]（縦書きの場合）
　　[横]（横書きの場合）

- **洋形封筒**

セットのしかた：

横書き

ふたを左側にし、折りたたんだ面を裏にして、縦置きでセットする

縦書き

郵便番号欄を下に向け、ふたを折りたたんだ面を裏にして、縦置きでセットする

**Windows**

[よく使う設定]　：[封筒印刷]
[封筒サイズの設定] 画面：[洋形４号]、[洋形６号]
[印刷の向き]　：[横]（横書きの場合）
　　[縦]（縦書きの場合）

**Macintosh**

[用紙の種類]　：[封筒]
[用紙のサイズ]：[洋形４号]、[洋形６号]
[方向]　：[横]（横書きの場合）
　　[縦]（縦書きの場合）

**重　要**

- 封筒のサイズや印刷の向きを正しく選ばないと、上下逆さまに印刷されたり、90度回転して印刷されたりします。

**参　考**

- Windowsをご使用の場合、印刷結果が上下逆さまになるときは、プリンタドライバの設定画面を開き、[よく使う設定]で[封筒印刷]を選び、[追加する機能]で[180度回転]にチェックマークを付けてください。
- プリンタドライバの設定については、以下を参照してください。
  Windowsの場合
  ⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.70）
  Macintoshの場合
  ⇒「文書を印刷する（Macintosh）」（P.73）

# 使用できる用紙について

最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙をお選びください。キヤノンでは、写真や文書のための用紙はもちろん、シール紙やはがきなど、印刷の楽しさを広げるさまざまな種類の用紙をご用意しています。大切な写真の印刷には、キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。

## 種類

### 市販の用紙

| 用紙の名称＜型番＞*1 | 最大積載枚数 | | 排紙トレイの最大積載枚数 | ［用紙の種類］の設定 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 後トレイ | カセット | | 操作パネル | プリンタドライバ |
| 普通紙（再生紙を含む）*2 | 約150枚 | 約150枚 | 約50枚 | 普通紙 | 普通紙 |
| はがき／年賀はがき *4 | 40枚 | 使用できません *6 | 40枚 | — | はがき |
| インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき *3 | 40枚 | | 40枚 | （通信面のみ）IJはがき | （通信面）インクジェットはがき（宛名面）はがき |
| インクジェット光沢はがき／写真用年賀はがき *3 | 20枚 | | 20枚 | （通信面のみ）IJはがき | （通信面）インクジェットはがき（宛名面）はがき |
| 往復はがき *4 | 40枚 | | *7 | — | はがき |
| 封筒 *4 | 10枚 | | *7 | — | 封筒 |

### キヤノン純正紙

| 用紙の名称＜型番＞*1 | 最大積載枚数 | | 排紙トレイの最大積載枚数 | ［用紙の種類］の設定 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 後トレイ | カセット | | 操作パネル | プリンタドライバ |
| **書類の印刷に** | | | | | |
| カラー普通紙＜LC-301＞ | 約100枚 | 約100枚 | 約50枚 | 普通紙 | 普通紙 |
| キヤノン普通紙・ホワイト＜SW-101＞ | 約130枚 | 約130枚 | 約50枚 | 普通紙 | 普通紙 |
| キヤノン普通紙・ホワイト両面厚口　＜SW-201＞ | 約100枚 | 約100枚 | 約50枚 | 普通紙 | 普通紙 |
| **写真の印刷に** | | | | | |
| キヤノン写真用紙・光沢プロ［プラチナグレード］＜PT-101＞ *5 | A4、2L判、六切：10枚 L判、KG、はがき：20枚 | 使用できません *6 | *7 | プラチナグレード | 光沢プロ プラチナグレード |
| キヤノン写真用紙・光沢プロフェッショナル＜PR-201＞ *5 | | | | 光沢プロ | 写真用紙 光沢プロフェッショナル |
| キヤノン写真用紙・光沢＜GP-501＞ *5 | | | | 光沢 | 写真用紙 光沢 |
| キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド　＜GL-101＞ *5 | | | | 光沢ゴールド | 写真用紙 光沢ゴールド |
| キヤノン写真用紙・絹目調＜SG-201＞ *5 | | | | 絹目調 | 写真用紙 絹目調 |
| マットフォトペーパー＜MP-101＞ | | | | マットフォト | マットフォトペーパー |

| 用紙の名称＜型番＞*1 | 最大積載枚数 | | 排紙トレイの最大積載枚数 | ［用紙の種類］の設定 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 後トレイ | カセット | | 操作パネル | プリンタドライバ |
| **年賀状、挨拶状の印刷に** | | | | | |
| ハイグレードコートはがき<br>＜CH-301＞ *3 | 40枚 | 使用できません *6 | 40枚 | （通信面のみ）IJはがき | （通信面）インクジェットはがき<br>（宛名面）はがき |
| キヤノン写真はがき・光沢<br>＜KH-301＞ *3 | 20枚 | | 20枚 | （通信面のみ）光沢 | （通信面）写真用紙光沢<br>（宛名面）はがき |
| フォト光沢ハガキ<br>＜KH-201N＞ *3 | 20枚 | | 20枚 | （通信面のみ）光沢 | （通信面）写真用紙光沢<br>（宛名面）はがき |
| プロフェッショナルフォトはがき<br>＜PH-101＞ *3 *5 | 20枚 | | 20枚 | （通信面のみ）光沢プロ | （通信面）写真用紙光沢プロフェッショナル<br>（宛名面）はがき |
| **ビジネス文書の印刷に** | | | | | |
| 高品位専用紙<br>＜HR-101S＞ *4 | 80枚 | 使用できません *6 | 50枚 | — | 高品位専用紙 |
| **オリジナルグッズ作りに** | | | | | |
| Tシャツ転写紙<br>＜TR-301＞ *4 | 1枚 | 使用できません *6 | *7 | — | Tシャツ転写紙 |
| ピクサスプチシール<br>＜PS-101＞ *8 *9<br>（16面光沢フォトシール） | 1枚 | | | 光沢 | 写真用紙 光沢 |
| ピクサスプチシール・フリーカット<br>＜PS-201＞ *8 *9 | 1枚 | | | 光沢 | 写真用紙 光沢 |
| フォトシールセット<br>＜PSHRS＞ *8 *9<br>（2面/4面/9面/16面） | 1枚 | | | 光沢 | 写真用紙 光沢 |
| 片面光沢名刺用紙<br>＜KM-101＞ *10 | 20枚 | | | 光沢 | 写真用紙 光沢 |
| 両面マット名刺用紙<br>＜MM-101＞ *10 | 20枚 | | | 光沢 | （写真・イラスト）写真用紙 光沢<br>（文字）普通紙 |

*1 ＜型番＞のあるものは、キヤノン純正紙です。用紙の裏表や使用上の注意については、各用紙の取扱説明書を参照してください。また、種類によって取り扱っているサイズが異なります。詳しくは、キヤノンピクサスホームページcanon.jp/pixusをご覧ください。

*2 用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を半分以下に減らしてください。（再生紙は古紙配合率100%の再生紙が使用できます。）

*3 宛名面はパソコンからの印刷にのみ使用できます。

*4 パソコンからの印刷にのみ使用できます。

*5 用紙を重ねてセットすると、用紙を引き込む際に印刷面に跡が付いたり、用紙がうまく送られない場合があります。その場合は、用紙を1枚ずつセットしてください。

*6 カセットから給紙した場合、故障の原因になることがありますので、必ず後トレイにセットしてください。

*7　にじみや変色を防ぐため、続けて印刷するときは、先に印刷した用紙を排紙トレイから取り出すことをお勧めします。
*8　シール紙にコピーするときは、コピーモードの［いろいろなコピー］から［シール紙コピー］を選び、コピーしてください。この場合は、用紙の種類を設定することはできません。⇒P.55
メモリーカードの写真をシール紙に印刷するときは、メモリーカードモードの［いろいろな印刷］から［シール紙印刷］を選び、印刷してください。この場合は、用紙の種類を設定することはできません。⇒P.45
携帯電話の写真をシール紙に印刷するときは、［携帯電話印刷設定］で用紙サイズに［シール紙］を指定することで、印刷することができます。⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）
*9　『セットアップCD-ROM』に付属のEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使うと印刷の設定がかんたんにできます。パソコンにインストールしてお使いください。
*10　パソコンからテキストデータを印刷する場合、データは名刺サイズ（55mm×91mm）で作成し、上下左右の余白を5mm程度に設定してください。

参　考

- PictBridge対応機器、および、携帯電話の写真を印刷するときの用紙サイズと用紙の種類の設定方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

## サイズ

使用できる用紙サイズは、以下のとおりです。

参　考

- カセットにセットできる普通紙の用紙サイズは、以下のとおりです。
  A4、B5、A5、レターサイズ
  それ以外の普通紙は、カセットにセットできません。後トレイにセットしてください。
- Macintoshをご使用の場合、長形3号／4号の封筒は使用できません。

### 定型：

- Letter 8.5 x 11［レター］（215.9×279.4mm）
- Legal［リーガル］（215.9×355.6mm）
- A5（148.0×210.0mm）
- A4（210.0×297.0mm）
- B5［B5（JIS）］（182.0×257.0mm）
- KG（101.6×152.4mm）
- US 4 x 8（101.6×203.2mm）
- US 5 x 7（127.0×177.8mm）
- 六切（203.2×254.0mm）
- L判（89.0×127.0mm）
- 2L判（127.0×178.0mm）
- はがき（100.0×148.0mm）
- 往復はがき（200.0×148.0mm）
- US Comm. Env. #10［#10封筒］（104.6×241.3mm）
- EUR DL Env.［DL封筒］（110.0×220.0mm）
- 長形3号（120.0×235.0mm）
- 長形4号（90.0×205.0mm）
- 洋形4号（105.0×235.0mm）
- 洋形6号（98.0×190.0mm）
- ワイド101.6 x 180.6mm［ワイド］（101.6×180.6mm）
- 名刺（55.0×91.0mm）

### 非定型：

以下の範囲内で用紙サイズを設定することもできます。

- 最小サイズ：　55.0mm×91.0mm（後トレイ）
  148.0mm×210.0mm（カセット）
- 最大サイズ：　215.9mm×676.0mm（後トレイ）
  215.9mm×297.0mm（カセット）

## 重さ

64～105g/m$^2$（キヤノン純正紙以外の普通紙）
この範囲外の重さの用紙（キヤノン純正紙以外）は、紙づまりの原因となりますので使用しないでください。

## 保管上の注意について

- 用紙は印刷する直前に、印刷する枚数だけをパッケージから取り出して使用してください。
- 反りを防ぐため、使用しない用紙は用紙が入っていたパッケージに入れ、水平に置いて保管してください。また、高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。

## 使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている／反りのある／しわが付いている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙（重さ64g/$m^2$未満）
- 厚すぎる用紙（キヤノン純正紙以外の普通紙で重さ105g/$m^2$を超えるもの）
- はがきより薄い紙、普通紙やメモ用紙を裁断した用紙（はがき／L判など、A5サイズより小さい用紙に印刷する場合）
- 絵はがき
- 一度折り曲げた往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- ふたが二重になっている封筒
- ふたがシールになっている封筒
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒
- ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒
- 穴のあいている用紙
- 長方形以外の形状の用紙
- ステープルや粘着剤などでとじている用紙
- 粘着剤の付いた用紙
- 表面にラメなどが付いている用紙

# 原稿をセットする

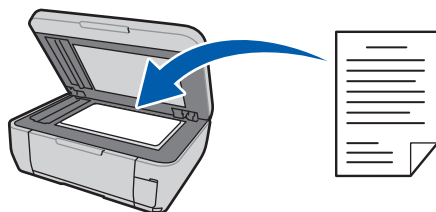
本製品の原稿台ガラスまたはADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする方法について説明します。



## 原稿のセット位置について

原稿は、原稿台ガラスとADF（自動原稿給紙装置）の2箇所にセットすることができます。
原稿のサイズや種類、用途によってセットする場所を選んでください。
⇒「セットできる原稿について」（P.124）

### 書類や写真、本などは原稿台ガラスにセットします

書類や写真、本などの原稿を1枚ずつコピー、ファクス、スキャンする場合は、原稿台ガラスにセットします。
原稿をよりきれいに読み込みたいときも、原稿台ガラスにセットしてください。

### 同じサイズや厚さの原稿が複数枚あるときは、ADF（自動原稿給紙装置）にセットします

サイズや厚さおよび重さが同じ原稿を、複数枚続けてコピー、ファクス、スキャンする場合は、ADF（自動原稿給紙装置）にセットします。また、1枚の原稿をセットすることもできます。

参考

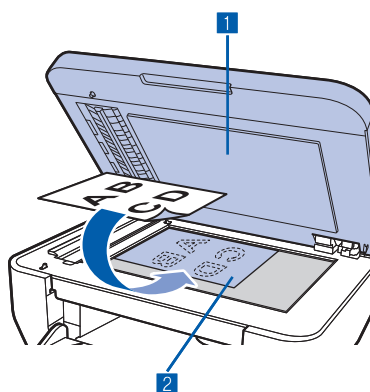
- ADF（自動原稿給紙装置）には、両面印刷された原稿もセットして、コピーやスキャンすることができます。

# 原稿台ガラスに原稿をセットする

原稿台ガラスにコピー、ファクス、またはスキャンしたい原稿をセットします。

**重　要**

- 原稿台ガラスに原稿をセットしたあと、原稿台カバーをきちんと閉じてコピーやファクス、スキャンをしてください。

## 1 原稿を原稿台ガラスにセットする

**1 原稿台カバーを開ける**

**⚠注意**

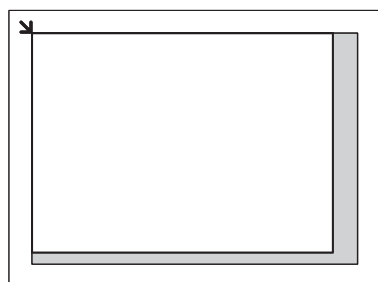
- 原稿台カバー上には物を置かないでください。原稿台カバーを開けた際、物が後トレイに落ち、故障の原因になります。

**2 コピー、ファクス、またはスキャンする面を下にして原稿を原稿台ガラスにセットする**

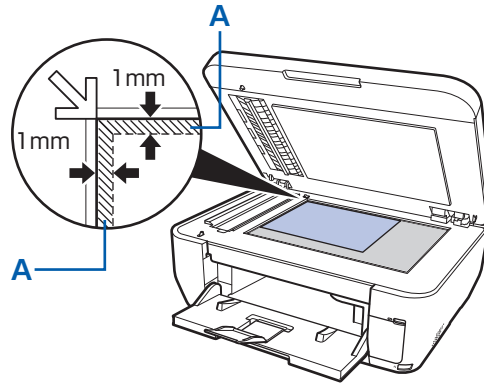
以下の、機能ごとのセット方法を確認してください。

**重　要**

- 原稿台ガラスに2.0kg以上の物をのせないでください。
- 原稿を強く（2.0kgを超える力で）押さえたり重みをかけないでください。強く押さえすぎるとスキャナが正しく動作しなくなったり、ガラスが破損するなどの危険があります。

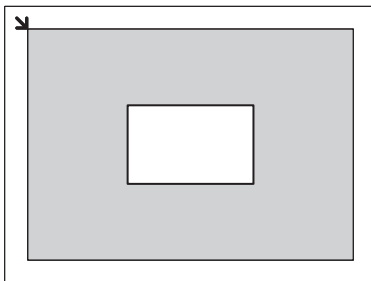
**●コピーまたはファクス送信する原稿をセットする場合**
**●スキャンボタンを押して、**
**－［USBメモリー］または［メモリーカード］を選びスキャンする場合**
**－［パソコン］を選び、雑誌／新聞／文書をスキャンする場合**
**●パソコンからアプリケーションソフトを使用して、雑誌／新聞／文書をスキャンする場合**

原稿を、読み込む面を下にして、原稿位置合わせマーク（↘）に合わせて置いてください。

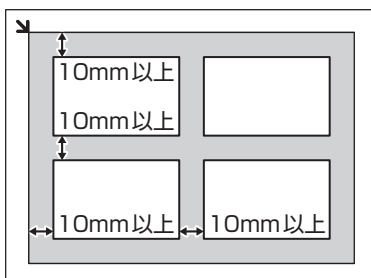
重　要

• 原稿台ガラスの端から1mmの部分（A）はコピーやスキャンができません。

• スキャンボタンを押して［USBメモリー］または［メモリーカード］を選び、［読取サイズ］を指定した場合、原稿位置合わせマーク（↘）からの原稿サイズになります。

## ●スキャンボタンを押して［パソコン］を選び、プリント写真／はがき／名刺／DVD/CDをスキャンする場合
## ●パソコンからアプリケーションソフトを使用して、プリント写真／はがき／名刺／DVD/CDをスキャンする場合

原稿の枚数に合わせて、スキャンする面を下にしてセットしてください。

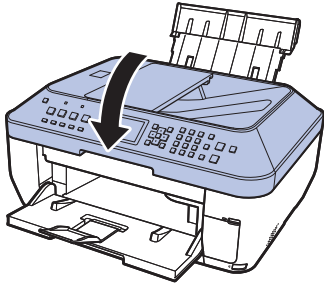
### 1枚だけセットする場合

原稿台ガラスの端から10mm以上離し、スキャンする面を下にして原稿を置いてください。

### 原稿が複数の場合

原稿が2枚以上ある場合は、原稿台ガラスの端から10mm以上離し、原稿と原稿の間も10mm以上離して置いてください。
E判やL判は4枚、2L判やはがきは2枚までセットできます。

参　考

- 原稿は、多少斜めになっていても、10度以内の傾きであれば、自動的に傾きは補正されます。
- ただし、長い辺が約180mm以上の写真の傾きは補正できません。

## 2 原稿台カバーをゆっくり閉じる

重　要

- 操作パネルおよび液晶モニターは持たないでください。

# ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする

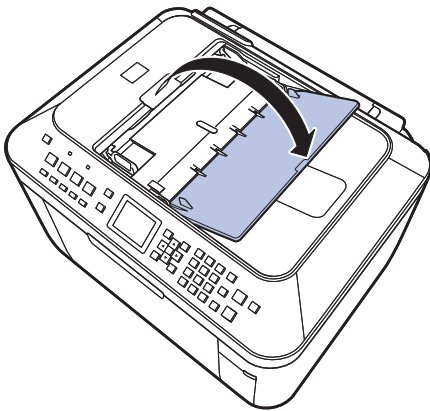
ADF（自動原稿給紙装置）にコピー、ファクス、またはスキャンしたい原稿をセットします。

参　考

- 原稿をよりきれいに読み込みたいときは、原稿台ガラスにセットしてください。

## 1 原稿台ガラスに原稿がないことを確認する

## 2 原稿をADF(自動原稿給紙装置)にセットする

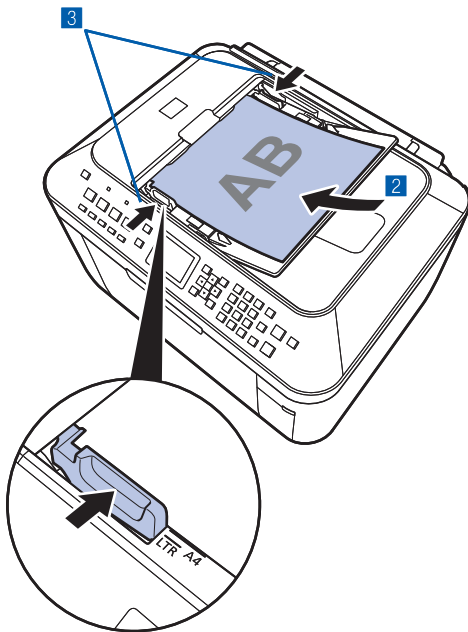
**1 原稿トレイを開ける**

**2 原稿を原稿トレイにセットし、ピッという音が鳴るまで差し込む**

原稿はコピー、ファクス、またはスキャンする面を上向きにして原稿トレイにのせてください。

参　考

- ［本体設定］の［詳細設定］で［アラーム音量設定］を［音量なし］に設定している場合は、原稿トレイに原稿をセットしても音は鳴りません。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

**3 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる**

原稿ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

# セットできる原稿について

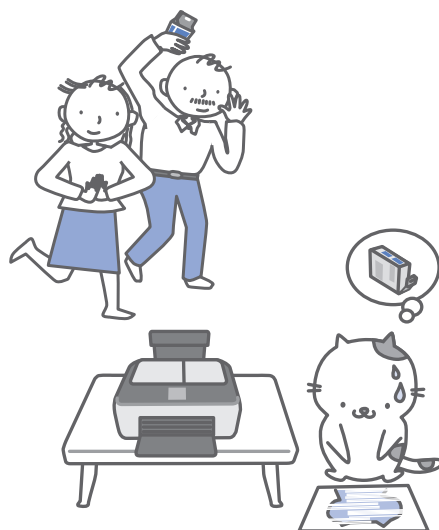
原稿台ガラスまたはADF（自動原稿給紙装置）にセットできる原稿は、以下のとおりです。

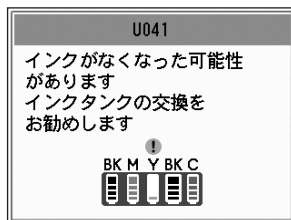
| | 原稿台ガラス | ADF（自動原稿給紙装置） |
|---|---|---|
| **原稿の種類** | • 写真<br>• 文書（書類、本、雑誌など）<br>• ADF（自動原稿給紙装置）にセットできない原稿 | サイズ、厚さ、および重さが同じ、１枚以上の普通紙原稿 |
| **サイズ（幅×長さ）** | 最大216mm × 297mm | • 最大216mm × 356mm<br>• 最小148mm × 148mm<br>両面コピー、2 in 1コピー、4 in 1コピー、または両面スキャンの場合はA4またはレターサイズのみ |
| **枚数** | 1枚 | • A4とレターサイズ：最大35枚（75 g/m²）、高さ5mm以下<br>• リーガルサイズ　：最大30枚（75 g/m²）、高さ4mm以下<br>• 上記以外の原稿：最大1枚 |
| **厚さ** | 最大10mm | 0.06～0.13mm |
| **質量** | ー | 50～90g/m² |

参　考

- 原稿にのり、インク、修正液などを使ったときは、乾いてからセットしてください。
  のりが付いている原稿は、乾いていてもADF（自動原稿給紙装置）にセットしないでください。紙づまりの原因となります。
- 原稿にホチキスの針やクリップなどが付いていないことを確認してからセットしてください。
- リーガルサイズの原稿は、ADF（自動原稿給紙装置）にセットしてください。
- 次のような原稿はADF（自動原稿給紙装置）にセットしないでください。紙づまりの原因となります。
  ーしわや折れ目のある原稿
  ー丸まっている原稿
  ー破れている原稿
  ー穴のあいている原稿
  ーのりが付いている原稿
  ーカーボン紙がついている原稿
  ー表面加工が施されている原稿
  ー薄質半透明紙または薄すぎる原稿
  ー写真または厚すぎる原稿

# お手入れ

ここでは、インクがなくなったときのインクタンクの交換方法、印刷がかすれたときのクリーニングの方法、用紙がうまく送られない場合の対処方法などについて説明します。

# インクタンクを交換する

印刷中にインクがなくなると、液晶モニターやパソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。なくなったインクを確認して、新しいインクタンクに交換してください。

参考

- エラーメッセージが表示されたら、メッセージの内容を確認して必要な対処をしてください。
  詳しくは「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.143）を参照してください。
- 本製品で使用できるインクタンクの番号については、本書の裏表紙を参照してください。
- インクが残っているのに印刷がかすれたり、白すじが入る場合は、「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.132）を参照してください。

## 交換の操作

インクタンクのインクがなくなったときは、次の手順でインクタンクを交換します。

重要

- インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。安全上問題はありませんが、まれに、純正品にないインク成分によるとみられるプリントヘッド部分の発熱・発煙事例＊も報告されています。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。
  （＊すべての非純正インクについて上記事例が報告されているものではありません。）
- 非純正インクタンクまたは非純正インクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。
- インクタンクの交換はすみやかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「取付期限」までに本製品に取り付けてください。また、開封後6ヶ月以内に使い切るようにしてください（本製品に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）。

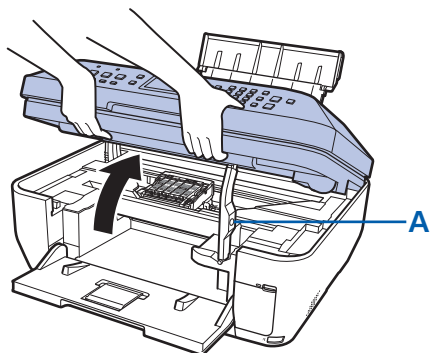
参考

- 黒のみの文章を印刷したり、モノクロ印刷をするときにも、ブラック以外のインクが使われることがあります。
  また、本製品の性能を維持するために行うクリーニングや強力クリーニングでも、各色のインクが使われます。
  インクがなくなった場合は、すみやかに新しいインクタンクに交換してください。

### 1 電源が入っていることを確認し、排紙トレイをゆっくり手前に開く

## 2 スキャナユニット（カバー）を持ち上げ、スキャナユニットサポート（A）で固定する

プリントヘッドホルダが交換位置に移動します。

### ⚠注意

- プリントヘッドホルダが動いている間はプリントヘッドホルダを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。プリントヘッドホルダの動きが止まるまでは、手を触れないでください。

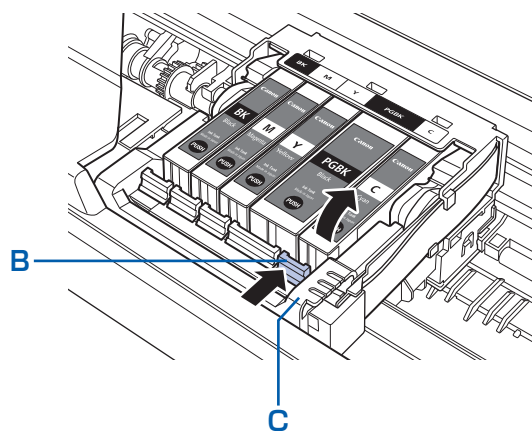
### 重 要

- 原稿台カバー上には物を置かないでください。原稿台カバーを開けた際、物が後トレイに落ち、故障の原因になります。
- 原稿台カバーが開いていると、スキャナユニット（カバー）は開きません。必ず、原稿台カバーと一緒にスキャナユニット（カバー）を持ち上げてください。
- 操作パネルおよび液晶モニターを持たないでください。
- 本体内部の金属部分やその他の部分に触れないでください。
- スキャナユニット（カバー）を開けたままにしていると、プリントヘッドホルダが右側へ移動します。その場合は、いったんスキャナユニット（カバー）を閉じ、再度開けてください。

### 参 考

- プリントヘッドホルダが交換位置に移動するときに動作音がしますが、正常な動作です。

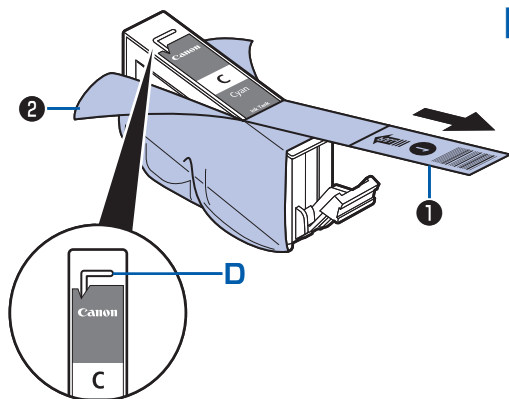
## 3 インクランプの点滅が速いインクタンクを取り外す

インクタンクの固定つまみ（B）を押し、インクタンクを上に持ち上げて外します。
プリントヘッドの固定レバー（C）には触れないようにしてください。

重　要

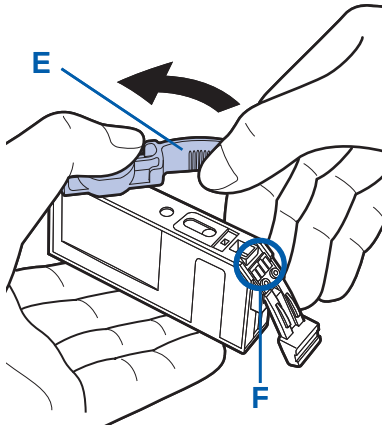
- 衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの取り扱いには注意してください。
- 空になったインクタンクは地域の条例にしたがって処分してください。
  また、キヤノンでは使用済みインクタンクの回収を推進しています。詳しくは「使用済みインクカートリッジ回収のお願い」（P.193）を参照してください。

参　考

- 一度に複数のインクタンクを外さず、必ず１つずつ交換してください。
- インクランプの点滅速度については、「インクの状態を確認する」（P.130）を参照してください。

## 4 インクタンクを準備する

1 新しいインクタンクをパッケージから取り出し、オレンジ色の保護テープ❶を矢印の方向に引いてはがしてから、フィルム❷をはがす

重　要

- 空気穴の溝（D）にフィルムが残らないようにはがしてください。
  空気穴がふさがっていると、インクが飛び出したり、インクが正しく供給されない場合があります。

**2** **インクタンクの底部にあるオレンジ色の保護キャップ（E）を、図のようにひねって取り外す**

指にインクが付着しないように、キャップを押さえながら取り外してください。

取り外した保護キャップは捨ててください。

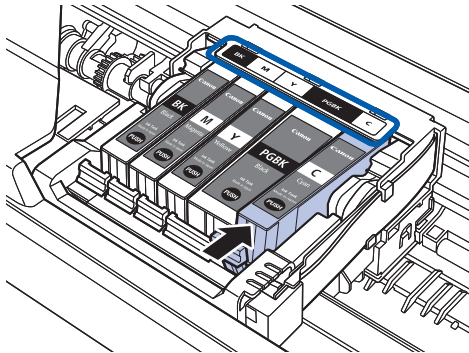
重　要

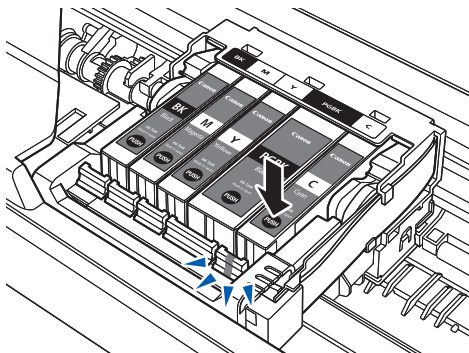
- インクタンクの基板部分（F）には触らないでください。正常に動作／印刷できなくなるおそれがあります。



重　要

- インクタンクを振るとインクが飛び散り、手やまわりのものを汚すおそれがあります。インクタンクの取り扱いには注意してください。
- インクが飛び出すことがありますので、インクタンクの側面は強く押さないでください。
- 取り外した保護キャップに付いているインクで、手やまわりのものを汚すおそれがあります。ご注意ください。
- 取り外した保護キャップは、再装着しないでください。地域の条例にしたがって処分してください。
- 保護キャップを取り外したあと、インク出口に手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。

## 5 インクタンクを取り付ける

**1** **新しいインクタンクをプリントヘッドに向かって斜めに差し込む**

ラベルに合わせて取り付けます。

**2** **インクタンク上面のPUSH部分を「カチッ」と音がするまでしっかり押して、インクタンクを固定する**

取り付けたら、インクランプが赤く点灯したことを確認してください。

重　要

- インクタンクの取り付け位置を間違えると印刷できません。プリントヘッドホルダに付いているラベルに合わせ、インクタンクを正しい位置に取り付けてください。
- ひとつでもセットされていないインクタンクがあると印刷できません。必ずすべてのインクタンクをセットしてください。

## 6 スキャナユニット(カバー)を持ち上げてスキャナユニットサポートをたたみ、ゆっくり閉じる

⚠注意

- スキャナユニットサポートをたたむときは、スキャナユニット（カバー）をしっかりと持ち、指などをはさまないように注意してください。

重　要

- 操作パネルおよび液晶モニターは持たないでください。

参　考

- スキャナユニット（カバー）を閉じたあとに液晶モニターにエラーメッセージが表示されている場合は、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.143）を参照してください。
- 次回印刷を開始すると、自動的にプリントヘッドのクリーニングが開始されます。終了するまでほかの操作を行わないでください。
- 罫線がずれて印刷されるなど、プリントヘッドの位置ずれが確認されたときには、プリントヘッドの位置を調整します。⇒P.137
- 操作中に動作音がする場合がありますが、正常な動作です。

# インクの状態を確認する

インクの状態は、液晶モニターやインクランプで確認することができます。

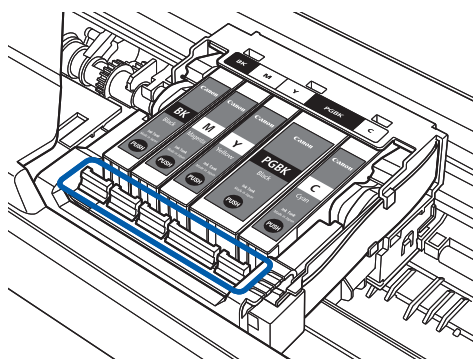
## 液晶モニターで確認する

本製品の電源が入っていることを確認し、コピーボタン、ファクスボタン、スキャンボタンまたはメモリーカードボタンを押すと、現在のインク残量が液晶モニターに表示されます。

❗の付いたインクが少なくなっています。しばらくは印刷を続けられますが、新しいインクタンクのご用意をお勧めします。

参　考

- 印刷中に液晶モニターに表示される画面でも、インクの状態を確認することができます。

## インクランプで確認する

1 電源が入っていることを確認し、排紙トレイをゆっくり手前に開く

2 スキャナユニット（カバー）を持ち上げ、スキャナユニットサポートで固定する⇒P.127

3 インクランプの状態を確認する



### 点灯

インクタンクは正しく取り付けられていて、印刷するのに十分なインクが残っています。

### 点滅

• **ゆっくり点滅（約３秒間隔）**

・・・繰り返し

インクが少なくなっています。しばらくは印刷を続けられますが、新しいインクタンクのご用意をお勧めします。

• **はやく点滅（約１秒間隔）**

・・・繰り返し

インクタンクが間違った位置に取り付けられているか、インクがなくなっています。プリントヘッドホルダに付いているラベルのとおりに正しい位置に取り付けられているか確認してください。取り付け位置が正しいのにインクランプが点滅している場合は、インクがなくなっています。新しいインクタンクに交換してください。

### 消灯

インクタンクがしっかり取り付けられていないか、インク残量検知機能を無効にしています。インクタンクがしっかり取り付けられていない場合は、インクタンクのPUSHの部分を「カチッ」と音がするまでしっかり押してください。しっかりセットできない場合は、インクタンクの底部にあるオレンジ色の保護キャップが外れているか確認してください。インク残量検知機能を無効にしている場合は、新しいインクタンクを取り付けてください。⇒P.126
インクタンクを取り付け直してもインクランプが点灯しない場合は、エラーが発生し、印刷できない状態です。液晶モニターに表示されているエラー内容をご確認ください。⇒P.143

# 印刷にかすれやむらがあるときには

印刷結果がかすれたり、色が正しく印刷されないときはプリントヘッドのノズルが目づまりしている可能性があります。以下の手順に沿って、ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を確認し、プリントヘッドのクリーニングを行います。
また、罫線がずれるなど印刷結果が思わしくないときは、プリントヘッドの位置調整を行うと状態が改善することがあります。

**重　要**

- プリントヘッドやインクタンクを洗浄したり、拭いたりしないでください。プリントヘッドやインクタンクの故障の原因になります。

**参　考**

**お手入れを行う前に**

- スキャナユニット（カバー）を開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください。
  点滅または消灯しているインクランプがある場合は、「インクの状態を確認する」（P.130）を参照して、必要な操作を行ってください。
- プリンタドライバの印刷品質を上げることで、印刷結果が改善される場合があります。詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

## 印刷がかすれている、むらがある場合：

**Step 1**
ノズルチェックパターンを印刷する⇒P.133
ノズルチェックパターンを確認する⇒P.134

パターンが欠けている場合

クリーニング後、ノズルチェックパターンを印刷して確認

**Step 2**
プリントヘッドをクリーニングする ⇒P.135

2回繰り返しても改善されない場合

**Step 3**
プリントヘッドを強力クリーニングする ⇒P.136

**参　考**

- Step 3までの操作を行っても症状が改善されない場合は、電源を切ってから電源プラグは抜かずに24時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行ってください。それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.191

## 罫線がずれるなど印刷に均一感がない場合：

プリントヘッド位置を調整する ⇒P.137

**参　考**

- お手入れの操作は、パソコンから行うこともできます。詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

## ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷します。

参　考

- インク残量が少ないとノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。⇒P.126

**用意するもの：A4サイズの普通紙１枚**

### 1 電源が入っていることを確認する

### 2 カセットにA4サイズの普通紙が１枚以上セットされていることを確認する

### 3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

### 4 ノズルチェックパターンを印刷する

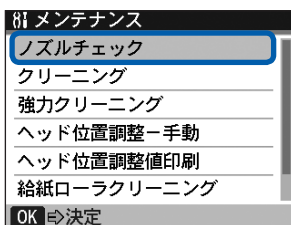
1 メニューボタンを押す

2 ◀▶ボタンで［設定］を選び、OKボタンを押す

設定画面が表示されます。

3 ◀▶ボタンで［メンテナンス］を選び、OKボタンを押す

メンテナンス画面が表示されます。

4 ▲▼ボタンで［ノズルチェック］を選び、OKボタンを押す

パターン印刷の確認画面が表示されます。

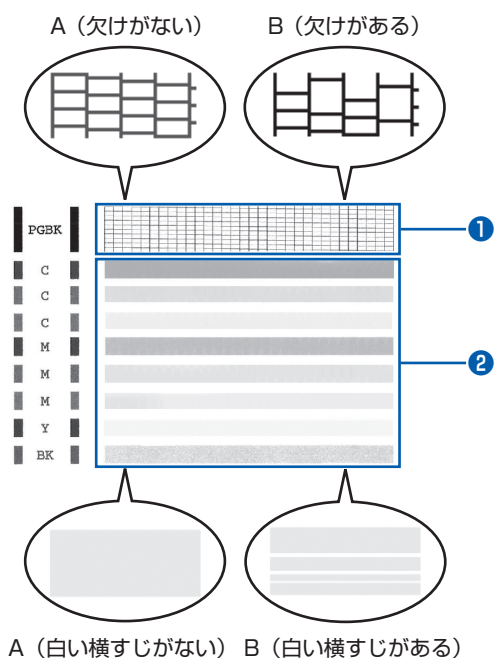
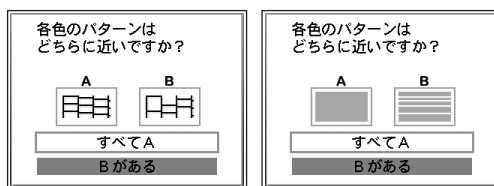
5 ▲▼ボタンで［はい］を選び、OKボタンを押す

ノズルチェックパターンが印刷され、液晶モニターにパターン確認画面が交互に表示されます。

### 5 ノズルチェックパターンを確認する⇒P.134

## ノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンを確認し、必要な場合はクリーニングを行います。

### 1 ❶のパターンに欠けがないか、❷のパターンに白い横すじが入っていないかを確認する

### 2 パターン確認画面で、印刷されたパターンに近いものを選ぶ

**❶ ❷どちらもA（欠け／白い横すじがない）の場合：**

**▲▼ボタンで［すべてA］を選んでOKボタンを押す**

クリーニングの必要はありません。メンテナンス画面に戻ります。

**❶か❷のどちらか、または❶と❷の両方にBがある（欠け／白い横すじがある）場合：**

1 **▲▼ボタンで［Bがある］を選んでOKボタンを押す**

クリーニングを行います。クリーニング確認画面が表示されます。

2 **▲▼ボタンで［はい］を選んでOKボタンを押す**

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。⇒P.135

参考

- 巻末の「知って得するヒント集」にノズルチェックパターンの良い例、悪い例がカラーで掲載されています。そちらもあわせて参照してください。

## プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンに欠けや白い横すじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルのつまりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。インクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

**用意するもの：A4サイズの普通紙1枚**

### 1 電源が入っていることを確認する

### 2 カセットにA4サイズの普通紙が1枚以上セットされていることを確認する

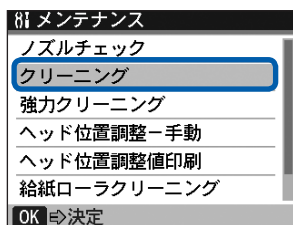
### 3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

### 4 プリントヘッドをクリーニングする

1 **メニューボタンを押す**

2 **◀▶ボタンで［設定］ を選び、OKボタンを押す**
設定画面が表示されます。

3 **◀▶ボタンで［メンテナンス］ を選び、OKボタンを押す**
メンテナンス画面が表示されます。

4 **▲▼ボタンで［クリーニング］を選び、OKボタンを押す**

確認画面が表示されます。

5 **▲▼ボタンで［はい］を選び、OKボタンを押す**
プリントヘッドのクリーニングが開始されます。
クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約1分30秒かかります。
パターン印刷の確認画面が表示されます。

6 **▲▼ボタンで［はい］を選び、OKボタンを押す**
ノズルチェックパターンが印刷されます。

### 5 ノズルチェックパターンを確認する⇒P.134

参　考

- クリーニングを2回繰り返しても改善されないときは、強力クリーニングを行ってください。⇒P.136

お手入れ

## プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、強力クリーニングを行ってください。強力クリーニングは、通常のクリーニングよりインクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

**用意するもの：A4サイズの普通紙１枚**

### 1 電源が入っていることを確認する

### 2 カセットにA4サイズの普通紙が１枚以上セットされていることを確認する

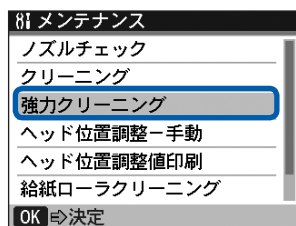
### 3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

### 4 プリントヘッドを強力クリーニングする

1 **メニューボタンを押す**

2 **◀▶ボタンで［設定］ を選び、OKボタンを押す**
設定画面が表示されます。

3 **◀▶ボタンで［メンテナンス］ を選び、OKボタンを押す**
メンテナンス画面が表示されます。

4 **▲▼ボタンで［強力クリーニング］を選び、OKボタンを押す**

確認画面が表示されます。

5 **▲▼ボタンで［はい］を選び、OKボタンを押す**
プリントヘッドの強力クリーニングが開始されます。
強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約２分かかります。
パターン印刷の確認画面が表示されます。

6 **▲▼ボタンで［はい］を選び、OKボタンを押す**
ノズルチェックパターンが印刷されます。

### 5 ノズルチェックパターンを確認する⇒P.134

特定の色だけが印刷されない場合は、そのインクタンクを交換します。⇒P.126

改善されない場合は、電源を切ってから電源プラグは抜かずに24時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行います。

それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.191

## プリントヘッド位置を調整する

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整します。

**用意するもの：A4サイズの普通紙３枚**

参　考

• ヘッド位置調整パターンは黒と青で印刷されます。

### 1 電源が入っていることを確認する

### 2 カセットにA4サイズの普通紙が３枚以上セットされていることを確認する

### 3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

### 4 プリントヘッドの位置調整パターンを印刷する

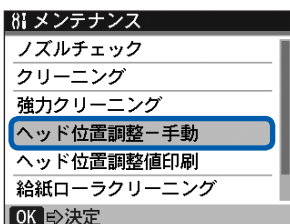
**1** メニューボタンを押す

**2** ◀▶ボタンで［設定］ を選び、OKボタンを押す

設定画面が表示されます。

**3** ◀▶ボタンで［メンテナンス］ を選び、OKボタンを押す

メンテナンス画面が表示されます。

**4** ▲▼ボタンで［ヘッド位置調整－手動］を選び、OKボタンを押す

確認画面が表示されます。

参　考

• ［ヘッド位置調整値印刷］を選ぶと、現在の調整値を印刷できます。

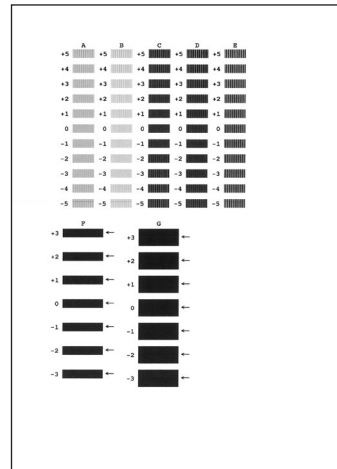
**5** ▲▼ボタンで［はい］を選び、OKボタンを押す

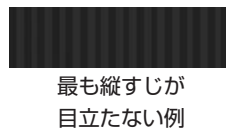
プリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。

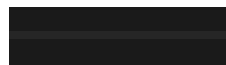
**6** パターンが正常に印刷されていることを確認し、▲▼ボタンで［はい］を選び、OKボタンを押す

ヘッド位置の調整値を入力する画面が表示されます。

### 5 プリントヘッドの位置を調整する

**1** 印刷結果を見て、A列の中から最もすじの目立たないパターンの番号を◀▶ボタンで入力する

参　考

• 以下を参考に、白いすじが最も目立たないものを選んでください。

最も縦すじが目立たない例

縦すじが目立つ例

最も横すじが目立たない例

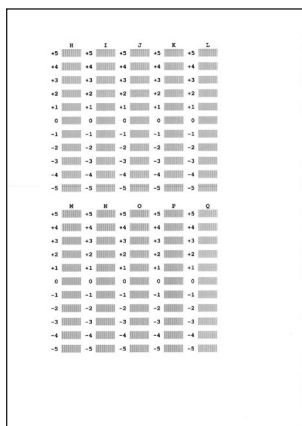
横すじが目立つ例

お手入れ

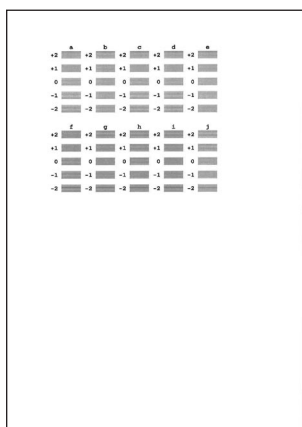
**2** **B列からG列まで、各列ごとに同様の操作を繰り返し、すべてのパターン番号を入力後、OKボタンを押す**

**3** **メッセージの内容を確認し、OKボタンを押す**

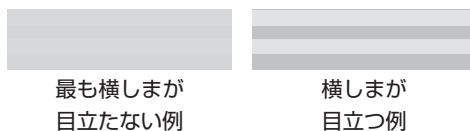
2枚目のプリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。

**4** **印刷結果を見て、H列からQ列それぞれの中から最も縦すじの目立たないパターンの番号を◀▶ボタンで入力し、OKボタンを押す**

**5** **メッセージの内容を確認し、OKボタンを押す**

3枚目のプリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。

**6** **印刷結果を見て、a列からj列それぞれの中から最も横しまの目立たないパターンの番号を◀▶ボタンで入力し、OKボタンを押す**

参 考

- 以下を参考に、横しまが最も目立たないものを選んでください。

| 最も横しまが目立たない例 | 横しまが目立つ例 |
| --- | --- |

# 給紙ローラをクリーニングする

給紙ローラに紙粉や汚れがつくと、用紙がうまく送られないことがあります。そのような場合は、給紙ローラのクリーニングを行います。給紙ローラのクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙３枚

## 1 電源が入っていることを確認し、本製品にセットされている用紙をすべて取り除く

## 2 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

## 3 給紙ローラをクリーニングする

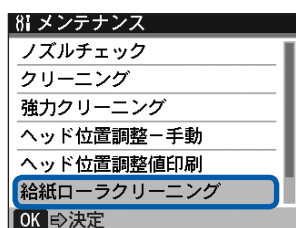
1 メニューボタンを押す

2 ◀▶ボタンで［設定］を選び、OKボタンを押す

設定画面が表示されます。

3 ◀▶ボタンで［メンテナンス］を選び、OKボタンを押す

メンテナンス画面が表示されます。

4 ▲▼ボタンで［給紙ローラクリーニング］を選び、OKボタンを押す

確認画面が表示されます。

5 ▲▼ボタンで［はい］を選び、OKボタンを押す

6 クリーニングする給紙箇所（［後トレイ］または［カセット］）を選び、OKボタンを押す

給紙ローラが回転してクリーニングが開始されます。

## 4 給紙ローラの回転が停止したことを確認し、用紙をセットする

手順３の6で選んだ給紙箇所に、A4サイズの普通紙３枚をセットしてください。

## 5 手順３の4から6を行い、セットした用紙でクリーニングする

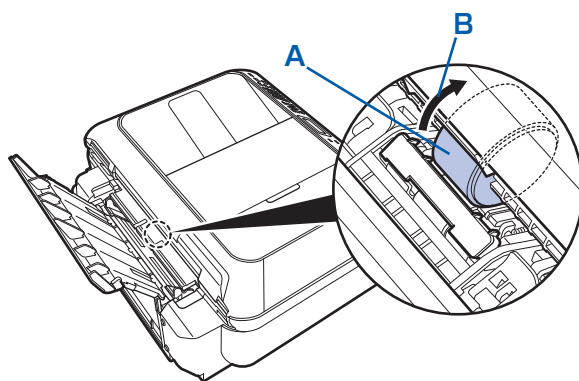
クリーニング終了後、用紙が排出されます。

後トレイのクリーニングで改善が見られない場合は、電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜き、湿らせた綿棒などを使って後トレイ内中央にある給紙ローラ（A）を矢印の方向（B）に回しながら拭いてください。給紙ローラは指で触らず、綿棒を使って回してください。

**重　要**

- 電源プラグを抜くと、日付・時刻情報とメモリに保存されているファクスがすべて削除されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷しておいてください。

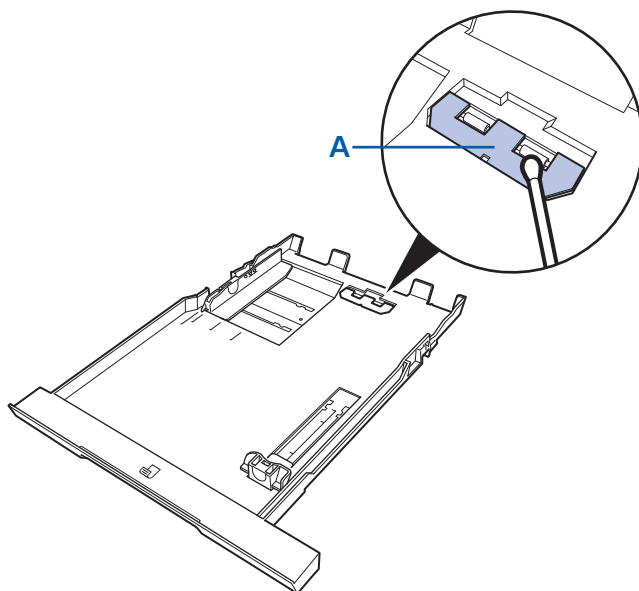
上記の操作を行っても改善されない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.191

お手入れ

# カセットの内部を清掃する

カセット内部のパッドに紙粉や汚れがつくと、用紙が複数枚排紙されることがあります。そのような場合は、パッドの清掃を行います。

**用意するもの：綿棒**

## 1 カセットを取り外し、セットされている用紙を取り除く

## 2 湿らせた綿棒でパッド(A)を拭く

**重　要**

- 汚れを拭いたあとは、十分に乾燥させてください。

上記の操作を行っても改善されない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.191

# 困ったときには

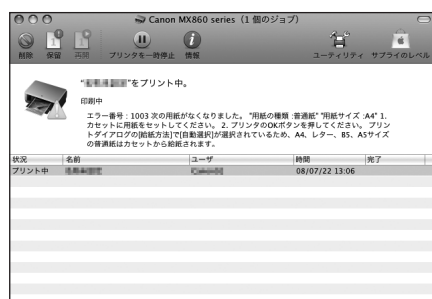
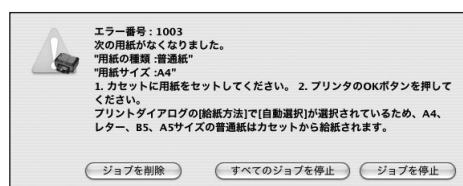
本製品を使用中にトラブルが発生したときは、ここでの対処方法を参照してください。
ここでは発生しやすいトラブルを中心に説明しています。該当するトラブルが見つからないときには、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）をあわせて参照してください。
⇒「『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）について」（P.104）

## エラーが発生したときは

印刷中に用紙がなくなったり、紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にトラブルの対処方法を示すエラーメッセージが表示されます。この場合は、表示された対処方法に従って操作してください。

Windows

Macintosh

### Mac OS X v.10.5.xをご使用の場合

### Mac OS X 10.4.xまたは
### Mac OS X 10.3.9をご使用の場合

## 電源が入らない

**チェック 1**　**電源ボタンを押してみてください**

**チェック 2**　**本製品と電源コードがしっかりと接続されているかを確認し、電源を入れ直してください**

**チェック 3**　**電源プラグをコンセントから抜き、5分以上たってから、電源プラグをコンセントにつないで本製品の電源を入れ直してください**

それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.191）

# 液晶モニターにエラーメッセージが表示されている

液晶モニターにエラー／確認メッセージが表示されたときには、以下の対処方法に従ってください。

| エラー／確認メッセージ | 対処方法 |
| --- | --- |
| **インクがなくなった可能性があります<br>インクタンクの交換をお勧めします<br>U041** | インクがなくなった可能性があります（インクランプが点滅しています）。<br>インクタンクを交換することをお勧めします。<br>印刷が終了していない場合は、インクタンクを取り付けたまま本機のOKボタンを押すと、印刷を続けることができます。印刷が終了したらインクタンクを交換することをお勧めします。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因となるおそれがあります。<br>⇒「インクタンクを交換する」（P.126）<br>参　考<br>• 複数のインクランプが点滅している場合は、「お手入れ」の「インクの状態を確認する」（P.130）を参照して、インクタンクの状態を確認してください。<br>• この状態で印刷するとファクスの内容が失われる可能性があるため、インクを交換するまでは、受信したファクスを印刷しないでメモリに保存します。メモリに保存したファクスは手動で印刷する必要があります。メモリに保存しないで、強制的に印刷するようにも設定できますが、インク切れにより、ファクスの内容が部分的に、もしくはすべて印刷されないことがあります。 |
| **プリントヘッドが装着されていません<br>プリントヘッドを装着してください<br>U051<br>プリントヘッドの種類が違います<br>正しいプリントヘッドを装着してください<br>U052** | 『かんたんスタートガイド』の説明に従ってプリントヘッドを取り付けてください。<br>プリントヘッドが取り付けられている場合は、プリントヘッドをいったん取り外し、取り付け直してください。<br>それでもエラーが解決されないときには、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。<br>⇒「お問い合わせの前に」（P.191） |
| **正しい位置に取り付けられていないインクタンクがあります<br>U072<br>下記のインクタンクが複数取り付けられています<br>U071** | 正しい位置にセットされていないインクタンクがあります（インクランプが点滅しています）。<br>同じ色のインクタンクが複数セットされています（インクランプが点滅しています）。<br>各色のインクタンクの取り付け位置に、正しいインクタンクがセットされていることを確認してください。<br>⇒「インクタンクを交換する」（P.126） |

| エラー／確認メッセージ | 対処方法 |
|---|---|
| **インクの残量を正しく検知できません**<br>**U130** | インクの残量を正しく検知できません（インクランプが点滅しています）。<br>インクタンクを交換して、スキャナユニット（カバー）を閉じてください。<br>一度空になったインクタンクで印刷を続けると、本機に損傷を与えるおそれがあります。<br>印刷を続けるには、インク残量検知機能を無効にする必要があります。本機のストップボタンを５秒以上押してから離してください。<br>この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インクを補充したことが原因の故障についてはキヤノンは責任を負いかねます。<br>⇒「インクタンクを交換する」（P.126）<br>参　考<br>• インク残量検知機能を無効にすると、液晶モニターのインク残量画面でインクタンクがグレー色に表示されます。<br>⇒「お手入れ」の「インクの状態を確認する」（P.130）<br>• この状態で印刷するとファクスの内容が失われる可能性があるため、インクを交換するまでは、受信したファクスを印刷しないでメモリに保存します。メモリに保存したファクスは手動で印刷する必要があります。メモリに保存しないで、強制的に印刷するようにも設定できますが、インク切れによりファクスの内容が部分的に、もしくはすべて印刷されないことがあります。 |
| **下記のインクタンクが認識できません**<br>**U043**<br>**U140**<br>**U150** | • インクタンクが取り付けられていません。インクタンクを取り付けてください。<br>⇒「インクタンクを交換する」（P.126）<br>• 本製品がサポートできないインクタンクが取り付けられています（インクランプが消灯しています）。<br>正しいインクタンクを取り付けてください。<br>⇒「インクタンクを交換する」（P.126）<br>• インクタンクにエラーが発生しました（インクランプが消灯しています）。<br>インクタンクを交換してください。<br>⇒「インクタンクを交換する」（P.126） |

| エラー／確認メッセージ | 対処方法 |
|---|---|
| インクがなくなりました<br>インクタンクを交換してください<br>U163 | インクがなくなりました（インクランプが点滅しています）。<br>インクタンクを交換して、スキャナユニット（カバー）を閉じてください。<br>このまま印刷を続けると本機に損傷を与えるおそれがあります。<br>印刷を続けるには、インク残量検知機能を無効にする必要があります。本機のストップボタンを５秒以上押してから離してください。<br>この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インク切れの状態で印刷を続けたことが原因の故障についてはキヤノンは責任を負えない場合があります。<br>⇒「インクタンクを交換する」（P.126）<br>参　考<br>• インク残量検知機能を無効にすると、液晶モニターのインク残量画面でインクタンクがグレー色に表示されます。<br>⇒「お手入れ」の「インクの状態を確認する」（P.130）<br>• この状態で印刷するとファクスの内容が失われる可能性があるため、インクを交換するまでは、受信したファクスを印刷しないでメモリに保存します。メモリに保存したファクスは手動で印刷する必要があります。メモリに保存しないで、強制的に印刷するようにも設定できますが、インク切れによりファクスの内容が部分的に、もしくはすべて印刷されないことがあります。 |
| 写真データがありません | • セットしたメモリーカードに読み込める画像データが保存されていません。<br>• 画像ファイル名（フォルダ名）に、全角文字（漢字、カナ等）があると、認識できない場合があります。全角文字を半角英数字に変更してみてください。<br>• パソコン上で編集／加工したデータは、必ずパソコンから印刷を行ってください。 |
| インク吸収体が満杯に近づきました<br>OKで継続できますが、早めに修理受付窓口へ交換をご依頼ください | インク吸収体が満杯に近づいています。<br>本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。<br>この状態になった場合、本製品のOKボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めに修理受付窓口へ交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。<br>⇒「お問い合わせの前に」（P.191） |
| ****<br>インク吸収体の交換が必要です<br>修理受付窓口へ交換をご依頼ください | 「****」部分は半角英数字で表示され、状況により表示が異なります。<br>インク吸収体が満杯になりました。<br>本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。<br>この状態になった場合、交換が必要です。お早めにパーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口へ交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。<br>⇒「お問い合わせの前に」（P.191） |
| タイムアウトエラーが発生しました<br>OKを押してください | コピー中に何らかのエラーが発生し、一定の時間が経ちました。<br>本製品のOKボタンを押してエラーを解除し、もう一度コピーをやり直してください。 |

| エラー／確認メッセージ | 対処方法 |
| --- | --- |
| **対応していない機器が接続されました<br>取り外してください** | • カメラ接続部に接続している機器を確認してください。本製品と接続して直接印刷できるのは、PictBridge対応機器またはBluetoothユニットBU-30（オプション）です。<br>• 接続した状態での操作時間が長すぎたり、データ送信に時間がかかり過ぎる場合は、通信タイムエラーとなり印刷できないことがあります。接続しているUSBケーブルを抜き、再度USBケーブルを接続してください。<br>PictBridge対応機器から印刷する場合、ご使用のデジタルカメラの機種により、接続する前にPictBridge対応機器で印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。<br>それでもエラーが解決されないときは、ほかの写真を選んで印刷できるかどうかを確認してください。 |
| **対応していないUSBハブが接続されました<br>取り外してください** | 本製品のカメラ接続部にUSBハブを接続している場合は、USBハブを本製品から取り外してください。PictBridge対応機器は直接本製品に接続してください。 |
| **B200<br>プリンタトラブルが発生しました<br>電源プラグを抜いて修理受付窓口へ修理をご依頼ください** | 本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。<br>⇒「お問い合わせの前に」（P.191）<br>重　要<br>• 電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。 |
| ******<br>プリンタトラブルが発生しました<br>電源を入れ直してください<br>解決しない場合は、取扱説明書を参照してください** | 「****」部分は半角英数字で表示され、状況により表示が異なります。<br>• 「5100/5110」と表示された場合<br>印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。それから、プリントヘッドホルダの保護材やつまった用紙など、プリントヘッドホルダの動きを妨げているものを取り除き、本製品の電源を入れ直してください。<br>重　要<br>• このとき、内部の部品には触れないよう、十分注意してください。印刷結果不具合などの原因になります。<br>• それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。<br>⇒「お問い合わせの前に」（P.191）<br>• それ以外の表示の場合<br>本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。それから、本製品の電源を入れ直してみてください。<br>それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。<br>⇒「お問い合わせの前に」（P.191）<br>重　要<br>• 電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。 |

| エラー／確認メッセージ | 対処方法 |
| --- | --- |
| ADFに原稿が残っています<br>ADFの原稿を確認してOKを押し、操作をやり直してください | 原稿がADF（自動原稿給紙装置）の中でつまっています。ADF（自動原稿給紙装置）の中の原稿を取り除き、OKボタンを押してください。エラーを解除したら操作をやり直してください。<br>⇒「ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がつまった」（P.171） |
| 原稿サイズが長過ぎます<br>ADFの原稿を確認してOKを押し、操作をやり直してください | 原稿が長すぎるか、ADF（自動原稿給紙装置）の中に原稿がつまっています。<br>ADF（自動原稿給紙装置）の中の原稿を取り除き、OKボタンを押してください。エラーを解除したら原稿が適切か確認して操作をやり直してください。<br>⇒「ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がつまった」（P.171） |
| カード書き込み状態がパソコンから書き込み可能な状態に設定されています<br>［PCから書き込み禁止］に設定してください | カードスロットが書き込み可能（［USB接続PCから可能］または［LAN接続PCから可能］）になっています。<br>カードスロットが［USB接続PCから可能］または［LAN接続PCから可能］に設定されていると、メモリーカードから印刷したり、スキャンしたデータをメモリーカードに保存できません。［設定］メニューの［本体設定］→［詳細設定］→［カード書き込み状態］で［PCから書き込み禁止］に戻してください。 |

# 液晶モニターにファクスのメッセージが表示されている

| メッセージ | 対処方法 |
|---|---|
| **自動リダイヤル** | 原稿を送信したとき回線が話し中だった場合や、相手が応答しなかった場合、時間をおいてからリダイヤルします。自動でリダイヤルされるまでお待ちください。自動リダイヤルを取り消す場合は、リダイヤルされるまで待ち、ダイヤルをしている最中にストップボタンを押してください。メモリ内の原稿を削除しても、取り消すことができます。<br>⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「ファクスを再送（リダイヤル）する」 |
| **このグループダイヤルは使えません 短縮 ##** | *「##」は2桁の数字を表します。<br>オンフックボタンが押された状態で、グループが登録されている短縮ダイヤルが押されました。<br>この状態では、グループが登録されている短縮ダイヤルは使用できません。 |
| **このグループダイヤルは使えません ワンタッチ ##** | *「##」は2桁の数字を表します。<br>オンフックボタンが押された状態で、グループが登録されているワンタッチダイヤルが押されました。<br>この状態では、グループが登録されているワンタッチダイヤルは使用できません。 |
| **受話器を置いてください** | 外付け電話機の受話器が外れています。<br>受話器をきちんと戻してください。 |
| **モノクロ送信してください** | 送信先のファクス機がカラーの送受信に対応していません。<br>モノクロスタートボタンを押して送信し直してください。または、［カラー送信処理］を［モノクロ送信］に設定してください。<br>⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「カラー送信処理」 |
| **接続に失敗しました** | モジュラーケーブルが正しく接続されていない可能性があります。<br>ケーブルが接続されていることを確認し、時間をおいてから再度、送信してください。それでも送信できないときは、［ダイヤルトーン検知］を［しない］に設定してください。<br>⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「ダイヤルトーン検知」 |

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>代行受信しました</td><td>次のいずれかの場合にファクスを受信すると、受信したファクスはメモリに保存され、印刷はされません。問題を解消すると、メモリに保存されたファクスは自動的に印刷されます。<br>• インクがなくなったとき：<br>インクタンクを交換してください。<br>⇒「インクタンクを交換する」（P.126）<br><br>参　考<br>• インクがなくなっても、受信したファクスを強制的に印刷するように設定することができます。<br>ただし、インク切れにより、ファクスの内容が部分的もしくはすべて印刷されないことがあります。<br>また、ファクスの内容はメモリに保存されません。<br>なお、すでにインクがなくなっている場合は、［基本設定］で［自動印刷］を［しない］に設定して、受信したファクスを一度メモリに保存し、インクタンクを交換したあとにメモリに保存したファクスを手動で印刷することをお勧めします。<br>⇒「本製品のメモリに一時的に受信する（代行受信）」（P.91）<br><br>• 用紙がなくなったとき：<br>用紙をセットし、OK ボタンを押してください。<br>• ［用紙サイズ］で設定したサイズと異なるサイズの用紙がセットされているとき：<br>［用紙サイズ］で設定したサイズと同じサイズの用紙をセットし、OK ボタンを押してください。<br>• ストップボタンを押して、受信したファクスの印刷を中止したとき：<br>ファクスボタンを押してください。<br><br>参　考<br>• 受信したファクスを自動で印刷する場合は、［基本設定］で［自動印刷］を［する］に設定してください。<br>⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「自動印刷」<br>• ［基本設定］で［自動印刷］が［しない］に設定されているときは、メモリに受信したファクスは［メモリ照会］から印刷してください。<br>⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「メモリに保存されているファクスを印刷する」<br>• ストップボタンを押して問題を解消しなかった場合など、メモリに保存されたファクスを印刷しなかった場合は、あとでメモリに保存されたファクスを削除したり、印刷することができます。<br>⇒「本製品のメモリに一時的に受信する（代行受信）」（P.91）</td></tr>
</table>

| メッセージ | 対処方法 |
| --- | --- |
| **話し中でした** | • ダイヤルした送信先が話し中です。<br>しばらくしてから、もう一度ダイヤルしてください。<br>⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「ファクスを再送（リダイヤル）する」<br>• ダイヤルしたファクス番号が間違っています。<br>ファクス番号を確認し、もう一度ダイヤルしてください。<br>• 送信先のファクス機が応答しませんでした（自動リダイヤルの時間切れ）。<br>送信先に連絡し、ファクス機を調べてもらってください。国際電話の場合は、登録した番号にポーズを入れてください。<br>• 送信先のファクス機がG3規格に対応していません。<br>本製品は、G3規格に対応していないファクス機とは送受信できません。<br>送信先にファクス機がG3規格に対応しているかどうかご確認ください。<br>• 回線種別の設定が間違っています。<br>回線種別を確認し、回線にあった回線種別を設定してください。<br>⇒「電話回線の種類を設定する」（P.26） |
| **メモリがいっぱいです** | 枚数が多い原稿、内容が細かい原稿を送受信したため、メモリがいっぱいになっています。<br>• 送信している場合は、原稿を分割してから再送してください。<br>• 受信している場合は、メモリ内の原稿を印刷、または削除してから、再送してもらってください。<br>⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「メモリに保存されているファクス」 |
| **用紙サイズを確認してOKを押してください** | A4、レターサイズ、またはリーガルサイズ以外の用紙がセットされています。<br>• 後トレイから給紙する場合は、A4、レターサイズ、またはリーガルサイズの用紙をセットしてください。<br>• カセットから給紙する場合は、A4またはレターサイズの用紙をセットしてください。 |
| **用紙を変更してください** | 用紙サイズや用紙の種類が正しく設定されていません。受信したファクスを印刷するときは、［用紙サイズ］を［A4］、［レターサイズ］または［リーガル］に設定してください。［用紙の種類］は［普通紙］に設定してください。 |
| **FAX情報が一致しません** | ［送信先のFAX情報確認］を［する］に設定しているときに、本製品が相手先の端末情報を確認できなかったため、またはダイヤルしたファクス番号が相手先の端末情報と一致しなかったため、送信がキャンセルされました。設定については『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「送信先のファクス情報を確認してから送信する（送信先のFAX情報確認）」を参照してください。 |
| **受信を拒否しました** | ［ファクス受信拒否設定］で設定した相手からのファクス受信を拒否しました。設定については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「ファクス受信拒否設定を使う」を参照してください。 |

## 液晶モニターの表示が消えている

### 操作パネルのランプがすべて消えているとき：

電源が入っていません。電源プラグがコンセントに接続されていることを確認し、電源を入れてください。

### いずれかのモードボタン（コピーボタンなど）が点灯している場合：

液晶モニターが自動消灯しています。操作パネルの電源ボタン以外のボタンを押してください。

## 日本語以外の言語が表示されている

次の手順で、日本語の設定に戻してください。

**1　コピーボタンを押してから、5秒以上待ってからメニューボタンを押す**

**2　◀▶ボタンを押し、［設定］を選び、OKボタンを押す**

**3　◀▶ボタンを押し、［本体設定］を選び、OKボタンを押す**

**4　▼ボタンを6回押し、OKボタンを押す**
Bluetoothユニットを取り付けているときは、▼ボタンを8回押してから、OKボタンを押してください。

**5　▲▼ボタンで、［日本語］を選びOKボタンを押す**

## MP ドライバがインストールできない

重　要

- LAN接続でMPドライバがインストールできない場合は、『ネットワーク設置で困ったときには』も参照してください。

### 『セットアップCD-ROM』をDVD/CD-ROMドライブに入れてもセットアップが始まらないとき：

Windows

次の手順に従ってインストールを開始してください。

**1　［スタート］メニューから［コンピュータ］を開く**
【Windows XP】［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］を開く
【Windows 2000】デスクトップの［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックする

**2**
**開いたウィンドウにある［CD-ROM］アイコンをダブルクリックする**
CD-ROMの内容が表示された場合は、［MSETUP4.EXE］をダブルクリックしてください。

困ったときには

Macintosh

### 画面上に表示された [CD-ROM] アイコンをダブルクリックする

参　考

- CD-ROMのアイコンが表示されない場合は、次のことを試してください。
  －CD-ROMをパソコンから取り出して、再度セットする
  －パソコンを再起動する
- それでも［CD-ROM］アイコンが表示されない場合は、パソコンでほかのCD-ROMを表示できるか確認してください。ほかのCD-ROMが表示できる場合は、『セットアップCD-ROM』に異常があります。キヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。
  ⇒「お問い合わせの前に」（P.191）

## ［プリンタの接続］画面で止まってしまうとき：

［プリンタの接続］画面から先に進めなくなった場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認し、次の手順に従ってインストールをやり直してください。

参　考

- Windows Vistaをご使用の場合、ご使用のパソコンによっては、［プリンタを認識していません。接続を確認してください。］というメッセージが表示されることがあります。その場合は、しばらくお待ちください。しばらく待っても先に進めない場合は、次の操作に従ってインストールをやり直してください。

**1 ［キャンセル］ボタンをクリックする**

**2 ［インストール失敗］画面で［もう一度］ボタンをクリックする**

**3 表示された画面で［戻る］ボタンをクリックする**

**4 ［PIXUS XXX］画面（「XXX」は機種名）で［終了］ボタンをクリックし、『セットアップCD-ROM』を取り出す**

**5 本製品の電源を切る**

**6 パソコンを再起動する**

**7 ほかに起動しているアプリケーションソフトがあれば終了する**

**8 『かんたんスタートガイド』に記載されている手順に従って、MPドライバをインストールする**

### それ以外のとき：

『かんたんスタートガイド』に記載されている手順に従い、MP ドライバをインストールし直してください。
MP ドライバが正しくインストールされなかった場合は、MP ドライバを削除し、パソコンを再起動します。そのあとに、MP ドライバを再インストールしてください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったMP ドライバを削除する」

MP ドライバを再インストールする場合は『セットアップCD-ROM』から［選んでインストール］を選んでインストールしてください。

Windows

参　考

- Windowsのエラーが原因でインストーラが強制終了した場合は、Windowsが不安定になっている可能性があり、MP ドライバがインストールできなくなることがあります。パソコンを再起動して再インストールしてください。

## 印刷・スキャン速度が遅い／ Hi-Speed USBとして動作しない／ Windows「さらに高速で実行できるデバイス」などの警告文が画面に表示される

Hi-Speed USBに対応していない環境では、USB 1.1での接続となります。この場合、本製品は正常に動作しますが、通信速度の違いから印刷速度が遅くなることがあります。

**チェック**　**ご使用の環境がHi-Speed USBに対応しているか、次の点を確認してください**

- パソコンのUSBポートは、Hi-Speed USBに対応していますか。
- USBケーブルとUSBハブは、Hi-Speed USBに対応していますか。
  USBケーブルは、必ずHi-Speed USB認証ケーブルをご使用ください。また、長さ3m以内のものをお勧めします。
- ご使用のパソコンは、Hi-Speed USBに対応した状態ですか。
  最新のアップデートを入手して、インストールしてください。
- Hi-Speed USB対応のUSBドライバが正しく動作していますか。
  Hi-Speed USBに対応した最新のHi-Speed USBドライバを入手して、再インストールしてください。

重　要

- それぞれの操作については、ご使用のパソコン、USBケーブル、USBハブのメーカーにご確認ください。

## コピー／印刷結果に満足できない

白いすじが入る、罫線がずれる、色むらがあるなど、思ったような印刷結果が得られないときは、まず用紙や印刷品質の設定を確認してください。

**チェック 1**　**セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っていますか**

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。

写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくないことがあります。
また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。
フチなし全面印刷を行う場合、セットした用紙と設定の組み合わせによっては、発色の差が発生する場合があります。
用紙や印刷品質の設定を確認する方法は、ご使用の機器によって異なります。

| | |
|---|---|
| **本製品の操作でコピーをする場合** | 本製品の操作パネル<br>⇒「設定を変更する」（P.54） |
| **本製品の操作でメモリーカードから印刷する場合** | 本製品の操作パネル<br>⇒「設定を変更する」（P.43） |
| **PictBridge対応機器から印刷する場合** | PictBridge対応機器<br>⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「PictBridge対応機器から印刷する」<br>本製品の操作パネル<br>⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の操作パネルで設定を変更する」 |
| **ワイヤレス通信対応機器から印刷する場合** | 本製品の操作パネル<br>⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の操作パネルで設定を変更する」 |
| **パソコンから印刷する場合** | プリンタドライバ<br>⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.70）、<br>「文書を印刷する（Macintosh）」（P.73） |

## チェック 2　チェック１の表を参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

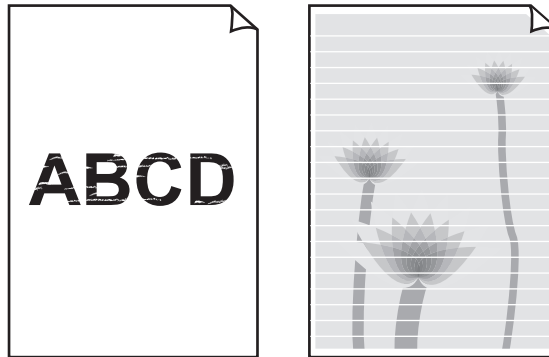
用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

参 考

- PictBridge対応機器から印刷する場合は、本製品の操作パネルで印刷品質を設定してください。PictBridge対応機器からは印刷品質の設定はできません。
- ワイヤレス通信対応機器から印刷する場合は、印刷品質の設定はできません。

## チェック 3　それでも解決しない場合は、他の原因が考えられます

以下の項目もあわせて確認してください。
⇒白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る（P.155）
⇒罫線がずれる（P.156）
⇒インクがにじむ／用紙が反る（P.157）
⇒印刷面が汚れる／こすれる（P.157）
⇒用紙の裏面が汚れる（P.160）
⇒色むらや色すじがある（P.161）

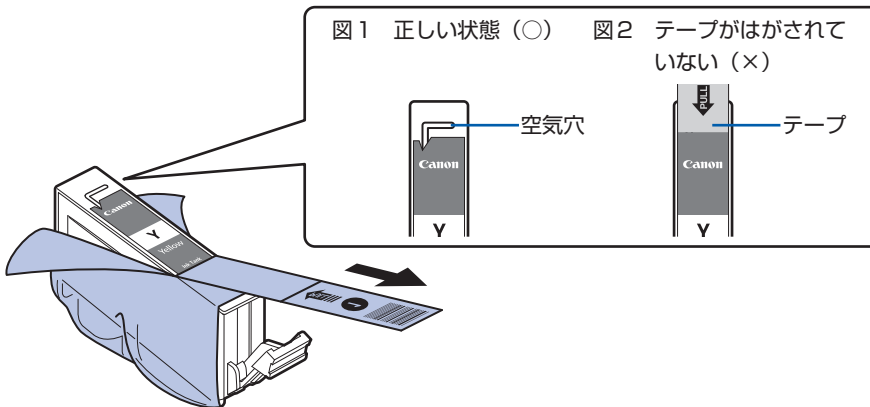
## 白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る

**チェック 1**　**用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.153）

**チェック 2**　**インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合は、インクタンクを交換してください**

⇒「インクタンクを交換する」（P.126）

**チェック 3**　**インクタンクにオレンジ色のテープや保護フィルムが残っていませんか**

オレンジ色のテープが、下の図１のようにきれいにはがされていることを確認してください。
図２のようにテープが残って空気穴をふさいでいる場合は、テープをきれいに取り除いてください。

**チェック 4**　**ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください**

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.132）を参照してください。

### チェック 5　片面にのみ印刷可能な用紙を使用している場合は、用紙の表と裏を間違えてセットしていないか確認してください

表と裏を間違えると、かすれたり、正しく印刷されないことがあるので注意してください。
用紙の印刷面については、ご使用の用紙に付属の取扱説明書を参照してください。

**コピーしているときは以下の項目もチェックしてみてください：**

### チェック 6　原稿が原稿台ガラスまたはADF（自動原稿給紙装置）に正しくセットされていることを確認してください

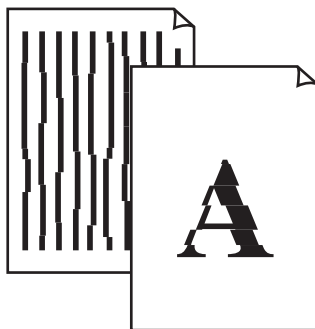
⇒「原稿をセットする」（P.119）

### チェック 7　原稿の裏表の向きが正しくセットされていますか

原稿台ガラスにセットするときは、コピーする面を下にしてください。
ADF（自動原稿給紙装置）にセットするときは、コピーする面を上にしてください。

### チェック 8　本製品で印刷したものをコピーしていませんか

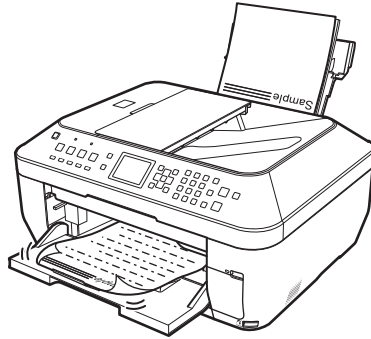
メモリーカードまたはデジタルカメラから直接印刷するか、パソコンから印刷し直してください。
本製品で印刷したものをコピーすると、きれいに印刷されないことがあります。

## 罫線がずれる

### チェック 1　用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.153）

### チェック 2　プリントヘッドの位置調整を行ってください

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整してください。
⇒「お手入れ」の「プリントヘッド位置を調整する」（P.137）

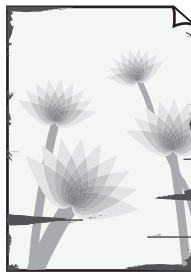
## インクがにじむ／用紙が反る

**チェック 1　用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.153）

**チェック 2　写真を印刷するとき、写真専用紙を使用していますか**

写真や色の濃い絵など、インクを大量に使用する印刷には、キヤノン写真用紙・光沢 ゴールドなどの写真専用紙を使用することをお勧めします。

⇒「用紙／原稿をセットする」の「使用できる用紙について」（P.115）

## 印刷面が汚れる／こすれる

**チェック 1　用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.153）

**チェック 2　適切な用紙を使用していますか、次のことを確認してください**

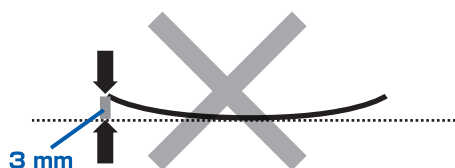
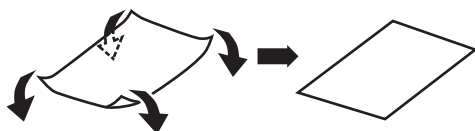
- ご使用の用紙が目的の印刷に適した用紙か確認してください。
  ⇒「用紙／原稿をセットする」の「使用できる用紙について」（P.115）
- フチなし全面印刷を行っている場合は、ご使用の用紙がフチなし全面印刷に適した用紙か確認してください。
  フチなし全面印刷に適さない用紙を使用すると、用紙の上端および下端の印刷品質が低下する場合があります。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「印刷できる範囲」

## チェック 3 反りのある用紙は、反りを直してから使用してください

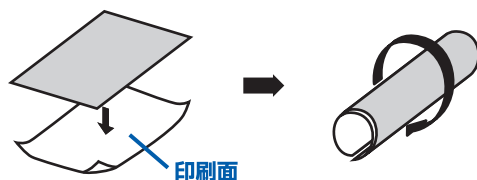
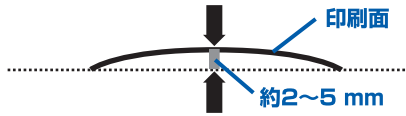
### 普通紙の場合

用紙の裏表を逆にしてセットしてください。
後トレイに用紙を長期間セットしたままにしていると、若干反りがついてしまうことがあります。この場合、裏表を逆にしてセットすると、改善されることがあります。
なお、長期間ご使用にならない用紙は、用紙が入っていたパッケージに入れて水平に保管することをお勧めします。

### はがきの場合

用紙の四隅が3 mm以上反っている場合、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりするおそれがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください。

**1　下の図のように、対角線上の端を、反りと逆方向に丸める**

**2　印刷する用紙が、平らになっていることを確認する**
反りを修正した用紙は、1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。
四隅や印刷面全体に反りのある用紙を使用した場合、用紙が汚れたり、うまく送られないことがあります。次の手順で反りを修正してから使用してください。

### その他の用紙の場合

**1　印刷面を上にし、表面が汚れたり傷つくことを防ぐために、印刷しない普通紙などを1枚重ねる**
**2　下の図のように反りと逆方向に丸める**

### 3　印刷する用紙の反りが、約２～５ mm以内になっていることを確認する

反りを直した用紙は、１枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

参　考

**印刷したときに反ってしまう用紙の場合**

- ご使用の用紙によっては、反りのない用紙を使用していても、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりすることがあります。その場合は、上記の「その他の用紙の場合」と同様に、印刷する前にあらかじめ用紙を丸めてから印刷してみてください。印刷の結果が改善される場合があります。

## チェック 4　厚めの用紙を使用している場合は、用紙のこすれを改善する設定にしてください

用紙のこすれを改善する設定にすると、プリントヘッドと紙の間隔が広くなります。用紙の種類を正しく設定していても印刷面がこすれる場合は、本製品の操作パネルかプリンタドライバで用紙のこすれを改善する設定にしてください。
用紙のこすれを改善する設定にすると、印刷速度が遅くなる場合があります。
* 印刷後は用紙のこすれを改善する設定を解除してください。設定を解除しないと、次回以降の印刷でもこの設定が有効になります。

- 本製品の操作パネルで設定する場合
  メニューボタンを押してから［設定］→［本体設定］→［印刷設定］の順に選び、［用紙のこすれ改善］を［する］に設定してください。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の操作パネルで設定を変更する」

- プリンタドライバで設定する場合

**Windows**

プリンタドライバの設定画面を開き、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］で［用紙のこすれを改善する］にチェックマークを付け、［送信］ボタンをクリックしてください。
プリンタドライバの設定画面の開きかたについては『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「プリンタドライバの開きかた（Windows）」を参照してください。

**Macintosh**

Canon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンタ・ユーティリティ）のポップアップメニューから［特殊設定］を選び、［用紙のこすれを改善する］にチェックマークを付け、［送信］ボタンをクリックしてください。
Canon IJ Printer Utilityの開きかたについては『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「Canon IJ Printer Utilityの開きかた（Macintosh）」を参照してください。

### チェック 5　印刷推奨領域を超えて印刷していませんか

印刷推奨領域を超えて印刷すると、用紙の下端でインクがこすれることがあります。
アプリケーションソフトで原稿を作成し直してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「印刷できる範囲」

### チェック 6　原稿台ガラスが汚れていませんか

原稿台ガラスを清掃してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「原稿台の周辺部分を清掃する」

### チェック 7　給紙ローラが汚れていませんか

給紙ローラクリーニングを行ってください。
⇒「給紙ローラをクリーニングする」（P.139）

参　考

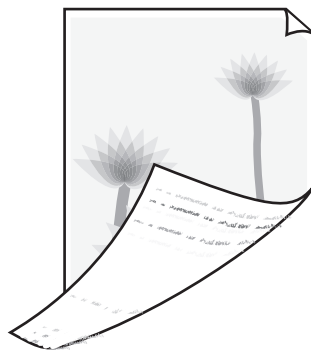
- 給紙ローラクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

### チェック 8　本製品内部が汚れていませんか

両面印刷などを行うと、本製品の内側にインクが付いて用紙が汚れる場合があります。
インクふき取りクリーニングを行って、本製品内部をお手入れしてください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「インクふき取りクリーニングを行う」

参　考

- 内部の汚れを防ぐために、用紙サイズを正しく設定してください。

## 用紙の裏面が汚れる

### チェック 1　用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.153）

### チェック 2　インクふき取りクリーニングを行って、本製品の内部を清掃してください

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「インクふき取りクリーニングを行う」

参　考

- 両面印刷や多量に印刷を行うと、本製品の内部が汚れることがあります。

## 色むらや色すじがある

**チェック 1** **用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.153）

**チェック 2** **ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください**

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.132）を参照してください。

**チェック 3** **プリントヘッドの位置調整を行ってください**

⇒「お手入れ」の「プリントヘッド位置を調整する」（P.137）

# 印刷が始まらない

## チェック 1　電源プラグがしっかりと差し込まれていることを確認し、電源ボタンを押してください

コピーボタンが点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

参　考

- 写真やグラフィックなど大容量のデータを印刷するときは、印刷が始まるまでに通常よりも時間がかかります。コピーボタンが点滅している間、パソコンはデータを処理して本製品に転送しています。印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。

## チェック 2　インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合はインクタンクを交換してください

## チェック 3　スキャナユニット（カバー）を開け、インクランプが赤く点滅していないか確認してください

インクが十分あるのにインクランプが赤く点滅している場合は、正しい位置にセットされていないインクタンクがあります。

⇒「インクタンクを交換する」（P.126）

## チェック 4　スキャナユニット（カバー）を開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください

インクランプが消えている場合は、インクタンクのラベル上の PUSH 部分を「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクをセットしてください。

## チェック 5　本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB接続で本製品をご使用の場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。USBケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

  無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、LANケーブルでネットワーク接続がされているか、またはネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

  ⇒『かんたんスタートガイド』

## チェック 6　パソコンから印刷した場合、パソコンを再起動してみてください

不要な印刷ジョブが残っている場合は、削除してください。

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になった印刷ジョブを削除する」

## チェック 7　プリントダイアログの［プリンタ］で、ご使用の機種名が選ばれていることを確認してください

異なる機種のプリンタドライバを使用していると、正常に印刷できません。
Windowsをご使用の場合は、［印刷］ダイアログで［Canon XXX Printer］（「XXX」は機種名）が選ばれていることを確認してください。
Macintoshをご使用の場合は、プリントダイアログの［プリンタ］でご使用の機種名が選ばれていることを確認してください。

参　考

- 本製品を［通常使うプリンタに設定］（Windows）、［デフォルトのプリンタ］または［デフォルトにする］（Macintosh）にすることで、常に本製品が選ばれているように設定することもできます。

Windows

## チェック 8　プリンタポートを正しく設定してください

プリンタポートの設定を確認してください。

1. **管理者（Administratorsグループのメンバー）としてWindowsにログオンする**
2. **［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］を選ぶ**
   Windows XPをご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順に選びます。
   Windows 2000をご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタ］をダブルクリックします。
3. **［Canon XXX Printer］アイコン（「XXX」は機種名）を右クリックし、［プロパティ］を選ぶ**
4. **［ポート］タブをクリックし、［印刷するポート］で［プリンタ］の欄に［Canon XXX Printer］と表示されている［USBnnn］（“n”は数字）が選ばれているか確認する**
   設定が誤っている場合は、MPドライバを再インストールするか、印刷先のポートを正しいものに変更してください。

参　考

- 無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、ポート名は“CNBJNPxxxxxxxxxx”と表示されます。xxは、MACアドレスから生成される文字列、または、ネットワークのセットアップ時にユーザが設定した任意の文字列です。

# 動作はするがインクが出ない

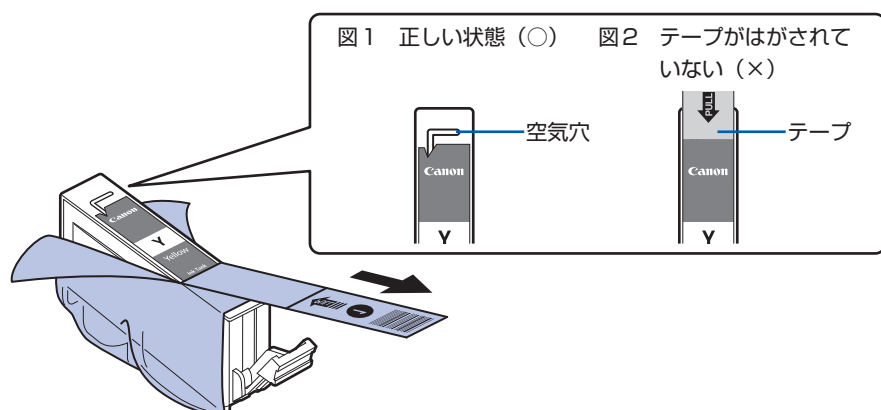
## チェック 1　プリントヘッドが目づまりしていませんか

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.132）を参照してください。

## チェック 2　インクがなくなっていませんか

「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.143）を参照してインクタンクの状態を確認し、状態に応じて対処してください。

## チェック 3　インクタンクにオレンジ色のテープや保護フィルムが残っていませんか

オレンジ色のテープが、下の図１のようにきれいにはがされていることを確認してください。
図２のようにテープが残って空気穴をふさいでいる場合は、テープをきれいに取り除いてください。

# プリントヘッドホルダが交換位置に移動しない

## チェック 1　操作パネルのランプが消えていませんか

操作パネルのランプが点灯していることを確認してください。
電源が入っていないとプリントヘッドホルダは移動しません。操作パネルのランプがすべて消灯している場合は、スキャナユニット（カバー）を閉じて電源を入れてください。
コピーボタンが点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わってから、もう一度スキャナユニット（カバー）を開けてください。

## チェック 2　エラーメッセージが表示されていませんか

スキャナユニット（カバー）をいったん閉じ、表示されたエラー／確認メッセージに従ってエラーを解除してから、開いてください。対処方法については、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.143）を参照してください。

# 用紙がうまく送られない

## チェック 1　次のことに注意して用紙をセットしてください

- 用紙を複数枚セットするときは、用紙の端をそろえてからセットしてください。
- 用紙を複数枚セットするときは、用紙ガイドの積載マークを超えないようにしてください。
  ただし用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を最大積載枚数の半分以下に減らしてください。
- 後トレイ、カセットとも、印刷の向きにかかわらず縦向きにセットしてください。
- 後トレイに用紙をセットするときは、印刷したい面を上にして、用紙ガイドを用紙の両端に軽く当ててください。
- カセットに用紙をセットするときは、印刷したい面を下にして、用紙の右端をカセットの右側にぴったりと突き当て、用紙ガイドを用紙の左端と下端に合わせてください。
  ⇒「用紙をセットする」（P.108）

## チェック 2　厚い用紙や反りのある用紙などを使用していないか確認してください

⇒「用紙／原稿をセットする」の「使用できない用紙について」（P.118）

## チェック 3　はがきや封筒をセットする場合は、次のことに注意してください

- はがき、往復はがきが反っていると積載マークを超えてセットしていなくても、うまく送られないことがあります。
  はがき、往復はがきは、郵便番号欄を下向きにセットしてください。
- 封筒に印刷するときは「用紙をセットする」（P.108）を参照し、印刷前に準備をしてください。
  準備ができたら、本製品に縦置きでセットしてください。横置きにすると、正しく送られません。

## チェック 4　給紙位置設定が合っているか確認してください

＊お買い上げ時から何も設定を変更していない場合、普通紙はカセットから給紙する設定になっています。

- 本製品の操作パネルで設定する場合
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の操作パネルで設定を変更する」
- プリンタドライバで設定する場合
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「目的に合わせて給紙方法を切り替える」
- プリンタドライバの［給紙方法］で［自動選択］に設定した場合の、普通紙の給紙位置設定について
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「普通紙の給紙位置を設定する」

## チェック 5　カセットに異物がある場合は取り除いてください

## チェック 6　後トレイに異物が入っていないか確認してください

### チェック 7　給紙ローラクリーニングを行ってください

⇒「給紙ローラをクリーニングする」（P.139）

参　考

- 給紙ローラのクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

### チェック 8　カセットから用紙が複数枚排紙されるときは、カセットの内部を清掃してください

カセットの内部の清掃について詳しくは「カセットの内部を清掃する」（P.140）を参照してください。

### チェック 9　背面カバーは正しく閉まっていますか

背面カバーが正しく閉まっていないと、用紙がつまることがあります。背面カバーを奥までしっかり押し込んで取り付けてください。
背面カバーの位置については、「各部の名称と役割」（P.12）を参照してください。

## Windows プリンタドライバで選んだ給紙箇所から用紙がうまく送られない

### チェック　アプリケーションソフトで、プリンタドライバと異なる給紙位置を指定していませんか

アプリケーションソフトの設定をプリンタドライバの設定に合わせるか、プリンタドライバの［ページ設定］シートにある［印刷オプション］で［アプリケーションソフトの給紙設定を無効にする］を選んでください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「印刷オプションの設定を変更する」
アプリケーションソフトで、プリンタドライバと異なる設定をした場合は、アプリケーションソフトの設定が優先されます。

## 用紙がつまった

重　要

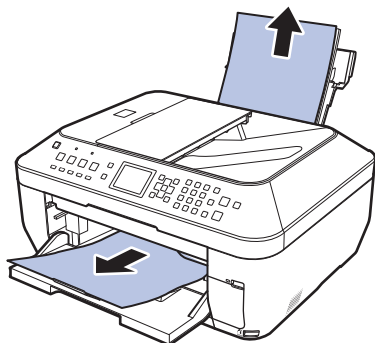
- つまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、次のことに注意してください。
  －ファクス受信（代行受信）中は本製品の電源を切ることができません。受信終了後に電源を切ってください。また、このとき電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されてしまいます。

参　考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、ストップボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。

### 排紙口／後トレイで用紙がつまったとき：

次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

**1　排紙側または給紙側（引き出しやすい方）から用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く**

参　考

- 用紙が破れて本製品の内部に残ってしまったときは、本製品の電源を切り、スキャナユニット（カバー）を開けて取り除いてください。
  このとき、本製品の内部の部品に触れないように注意してください。
  用紙を取り除いたら、スキャナユニット（カバー）を閉じて本製品の電源を入れ直してください。
- 用紙が引き抜けない場合は、本製品の電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出されることがあります。

**2　用紙をセットし直し、本製品のOKボタンを押す**

手順 1 で電源を入れ直した場合、本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

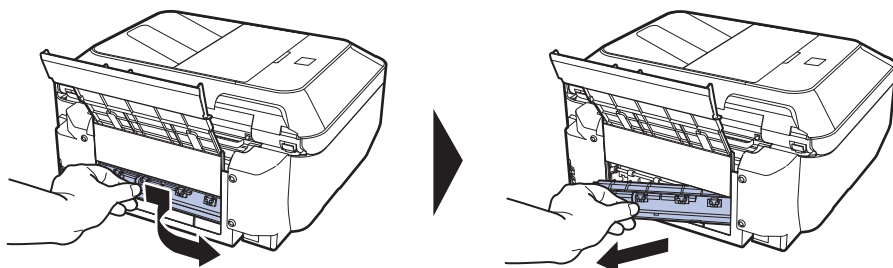
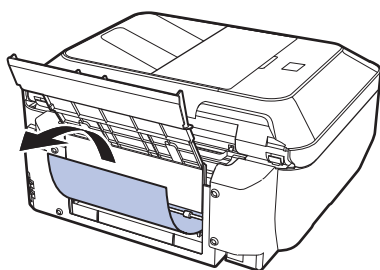
参　考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
  ⇒「用紙をセットする」（P.108）
- 写真やグラフィックを含む原稿の印刷はA5サイズ以外の用紙に印刷することをお勧めします。A5サイズの用紙に印刷すると、用紙が反って排紙できない原因になることがあります。

用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.191）

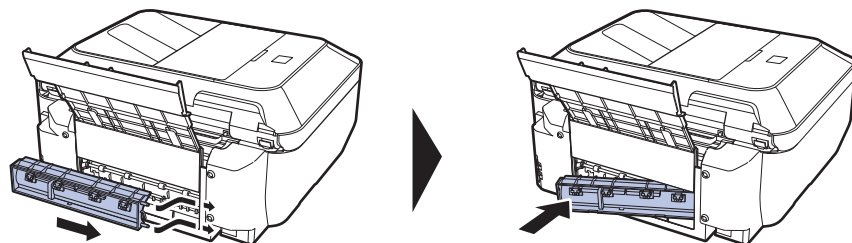
## 搬送ユニットで用紙がつまったとき：

次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

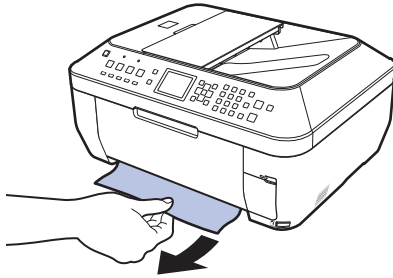
**1　背面カバーを取り外す**

**2　用紙をゆっくり引っ張る**

参　考

- 本製品の内部の部品には触れないようにしてください。
- 用紙が引き抜けない場合は、本製品の電源を切り、本製品の電源を入れ直してください。用紙が自動的に排紙されることがあります。

**3　背面カバーを取り付ける**

背面カバーの左側をしっかりと押し込んでください。

### 手順2で用紙を取り除けなかったとき：

**4　カセットを取り出す**

**5　用紙をゆっくり引っ張る**

**6　カセットから用紙がはみ出しているときは、用紙を取り除き用紙をそろえてからセットし直す**

自動両面印刷をしていて、手順1～5でも用紙が見つからないときは、両面搬送部を確認してください。

⇒「自動両面印刷をしていて、用紙を取り除けなかったとき：」（P.170）

参　考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
  ⇒「用紙をセットする」（P.108）

**7　カセットを本製品にセットし直し、本製品のOKボタンを押す**

手順2で電源を入れ直したときは、本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」（P.191）

### 自動両面印刷をしていて、用紙を取り除けなかったとき：

次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

**1　本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**

重　要

• 電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。

**2　カセットを取り出す**

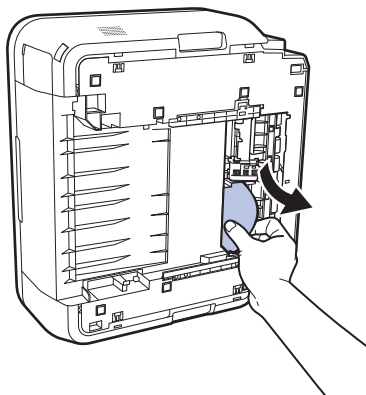
後トレイに用紙がセットされているときは、用紙を取り除いて用紙サポートを収納してください。

**3　左側面を下にして、本製品本体を立てる**

重　要

• 本製品を立てるときは、スキャナユニット（カバー）がしっかりとしまっていることを確認してください。

**4　用紙が破れないようにゆっくり引っ張る**

参　考

• つまった用紙を取り除いたあとは、すみやかに本製品を元の位置に戻してください。

**5　用紙をそろえてカセットにセットし直す**

後トレイに用紙をセットしていたときは、用紙をセットし直してください。

参　考

• 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
⇒「用紙をセットする」（P.108）

**6　カセットを本製品にセットし直す**

**7　電源プラグをコンセントにつないで本製品の電源を入れ直す**

本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.191）

### 名刺サイズの用紙がつまったとき：

次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

重　要

- 名刺サイズの用紙は、横向きにセットできません。

1 **後トレイに同じ用紙を 1 枚縦向きにセットする**
横向きにセットしないでください。

2 **本製品の電源を切る**

3 **本製品の電源を入れる**
用紙が給紙され、つまった用紙を押し出しながら排紙されます。
本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.191）

### それ以外のとき：

次のことを確認してください。

**チェック 1** **排紙口付近に異物はありませんか**

**チェック 2** **後トレイに異物は入っていませんか**

**チェック 3** **背面カバーが正しく閉まっていますか**

**チェック 4** **反りのある用紙を使用していませんか**

⇒「印刷面が汚れる／こすれる」の「チェック 3 反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」（P.158）

## ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がつまった

重　要

- つまった原稿を取り除くため本製品の電源を切る場合は、次のことに注意してください。
  －ファクス受信（代行受信）中は本製品の電源を切ることができません。受信終了後に電源を切ってください。また、このとき電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されてしまいます。

### 原稿の読み取り中にストップボタンを押してしまったとき：

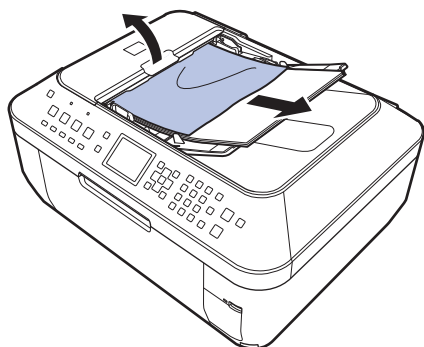
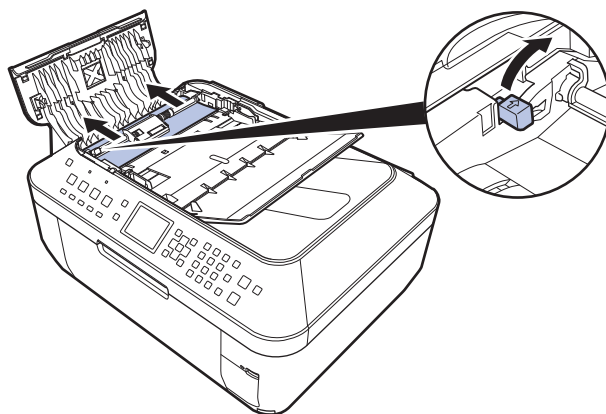
原稿の読み取り中にストップボタンを押すと、液晶モニターに［ADF に原稿が残っています ADF の原稿を確認して OK を押し、操作をやり直してください］というメッセージが表示されます。
OK ボタンを押すと、ADF（自動原稿給紙装置）に残った原稿が自動的に排紙されます。

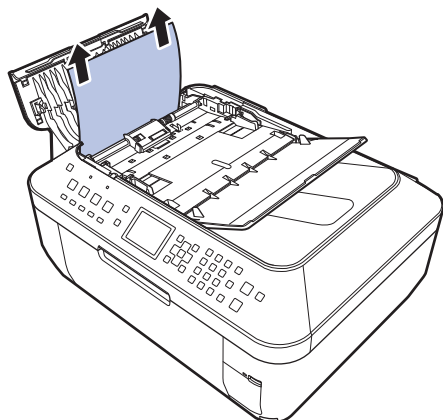
### ADF（自動原稿給紙装置）につまった原稿を取り除く（給紙側）：

次の手順に従って原稿を取り除きます。

**1　印刷途中の場合は、ストップボタンを押す**

**2　本製品の電源を切る**

**3　複数ページの原稿がセットされているときは、つまっている原稿以外のすべての原稿をADF（自動原稿給紙装置）から取り除き、原稿フィーダカバーを開ける**

**4　用紙解除レバーを上げ、つまっている原稿をローラの下から原稿フィーダカバー側に取り出す**

**5　つまっている原稿をADF（自動原稿給紙装置）から引き抜く**

原稿が引き抜きにくい場合は、「ADF（自動原稿給紙装置）につまった原稿を取り除く（裏側）：」（P.173）を行ってください。

**6　用紙解除レバーを下げ、原稿フィーダカバーを閉じ、本製品の電源を入れる**

エラーを解除後、再度同じ原稿を読み込む場合は、最初の原稿から読み込み直してください。

原稿が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても原稿づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」（P.191）

参　考

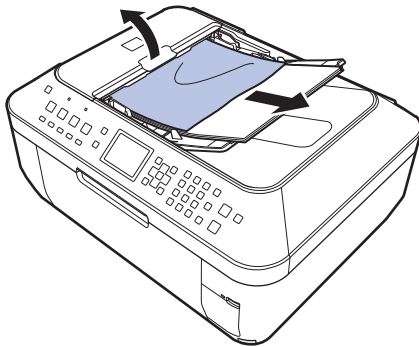
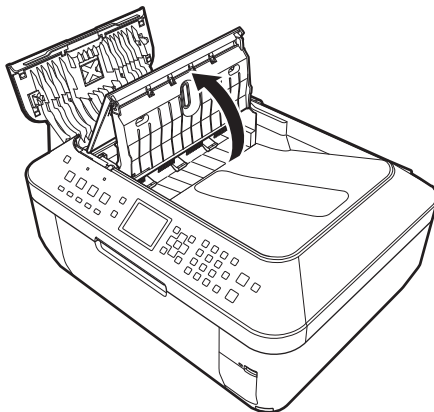
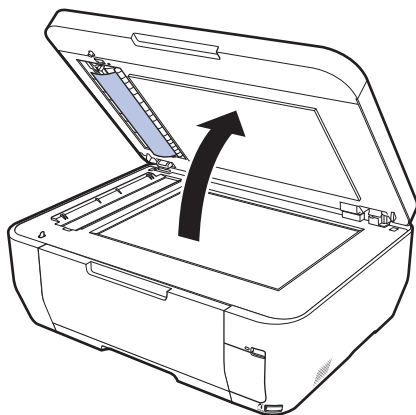
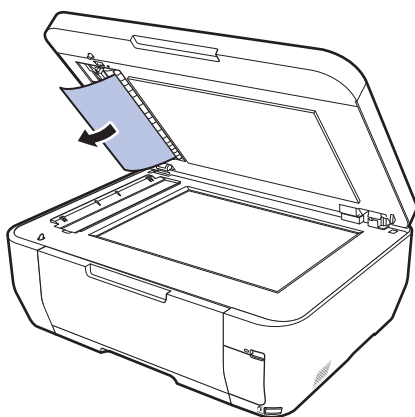
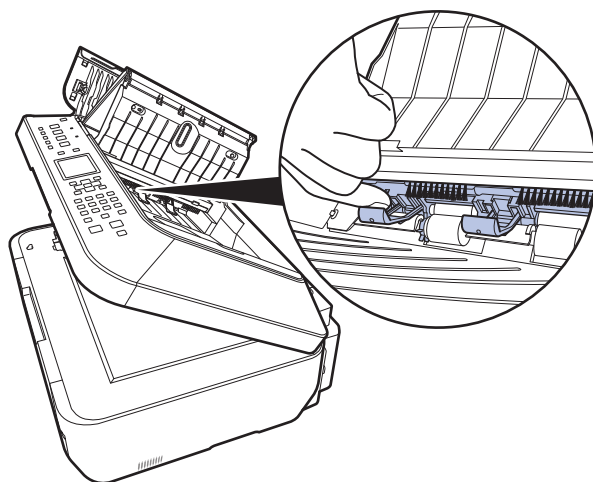
- 用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。
  この場合は、セットする枚数を最大積載可能枚数の約半分に減らしてください。 用紙のセット方法については、「原稿をセットする」（P.119）を参照してください。
  それでも原稿がつまる場合は原稿台ガラスをご使用ください。

## ADF（自動原稿給紙装置）につまった原稿を取り除く（裏側）：

次の手順に従って原稿を取り除きます。

**1　印刷途中の場合は、ストップボタンを押す**

**2　本製品の電源を切る**

**3　複数ページの原稿がセットされているときは、つまっている原稿以外のすべての原稿をADF（自動原稿給紙装置）から取り除き、原稿フィーダカバーを開ける**

**4　原稿排紙口を開く**

5　原稿台カバーを開ける

6　原稿排紙口に手を差し込み、内部の排紙ローラを指で押し上げて、原稿台カバーの裏側から原稿を引き抜く

7　原稿台カバーを閉じる

**8 原稿排紙口、原稿フィーダカバーの順で閉じ、本製品の電源を入れる**
エラーを解除後、再度同じ原稿を読み込む場合は、最初の原稿から読み込み直してください。

原稿が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても原稿づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.191）

### ADF（自動原稿給紙装置）につまった原稿を取り除く（排紙側）：

図のようにADF（自動原稿給紙装置）の原稿排紙口を開け、つまっている原稿を引き抜いてください。

エラーを解除後、再度同じ原稿を読み込む場合は、最初の原稿から読み込み直してください。
原稿が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても原稿づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.191）

## パソコンの画面にメッセージが表示されている

### 「エラー番号：B200　プリンタトラブルが発生しました。プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、修理受付窓口へ修理をご依頼ください」が表示されている

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.191）

**重　要**

- 電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。

## 「エラー番号：****　プリンタトラブルが発生しました。プリンタの電源を切り、もう一度電源を入れてください。エラーが解除されないときは、プリンタの取扱説明書を参照してください」が表示されている

「****」部分は半角英数字で表示され、表示が異なります。

- 「5100」または「5110」と表示された場合
  プリントヘッドホルダの動きが妨げられていないか確認してください。
  パソコンで印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。それから、プリントヘッドホルダの保護材やつまった用紙など、プリントヘッドホルダの動きを妨げているものを取り除き、本製品の電源を入れ直してください。

**重　要**

- このとき内部の部品には触れないよう、十分注意してください。印刷結果不具合などの原因となります。
- それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
  ⇒「お問い合わせの前に」（P.191）

- ４桁の英数字と「プリンタトラブルが発生しました」が表示された場合
  本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  それから、本製品の電源を入れ直してみてください。
  それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
  ⇒「お問い合わせの前に」（P.191）

**重　要**

- 電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。

## 自動両面印刷に関するエラーメッセージが表示されている

**チェック**　**『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「自動両面印刷でうまく印刷できない」を参照し、対処してください**

## Windows 「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」

**チェック 1**　**操作パネルのランプがすべて消えている場合は、電源プラグがコンセントに接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください**

コピーボタンが点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

**チェック 2**　**MP ドライバのプロパティで、プリンタポートが正しく設定されていることを確認してください**

※以下の手順で、「XXX」はご使用の機種名を表します。

**1　管理者（Administratorsグループのメンバー）としてWindowsにログオンする**

**2 ［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］を選ぶ**
Windows XPをご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順に選びます。
Windows 2000をご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタ］をダブルクリックします。

**3 ［Canon XXX Printer］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選ぶ**

**4 ［ポート］タブをクリックし、［印刷するポート］で［プリンタ］の欄に［Canon XXX Printer］と表示されている［USBnnn］（“n”は数字）が選ばれているか確認する**
設定が誤っている場合は、MPドライバを再インストールするか、印刷先のポートを正しいものに変更してください。

参 考

• 無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、ポート名は“CNBJNPxxxxxxxxxx”と表示されます。xxは、MACアドレスから生成される文字列、または、ネットワークのセットアップ時にユーザが設定した任意の文字列です。

## チェック 3 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB接続で本製品をご使用の場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。USBケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

• USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
• USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、もう一度印刷してみてください。

無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、LANケーブルでネットワーク接続がされているか、またはネットワークの設定が正しくされているか確認してください。
⇒『かんたんスタートガイド』

## チェック 4 MPドライバが正しくインストールされていることを確認してください

『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったMPドライバを削除する」に記載されている手順に従ってMPドライバを削除したあと、『かんたんスタートガイド』の操作に従って、再インストールしてください。

## チェック 5 USB接続で本製品をご使用の場合は、パソコンでデバイスの状態を確認してください

以下の手順に従って、パソコンでデバイスの状態を確認してください。

**1 ［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］、［デバイス マネージャ］の順に選ぶ**
［ユーザー アカウント制御］画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
Windows XPをご使用の場合は、［コントロール パネル］から［パフォーマンスとメンテナンス］、［システム］を順にクリックし、［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］ボタンをクリックします。
Windows 2000をご使用の場合は、［コントロール パネル］の［システム］をダブルクリックし、［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］ボタンをクリックします。

**2 ［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］（Windows Vista以外をご使用の場合は［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］）、［USB印刷サポート］の順にダブルクリックする**

［USB印刷サポート］が表示されない場合は、本製品とパソコンが接続されていることを確認してください。

⇒「チェック 3 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください」（P.177）

**3 ［全般］タブをクリックして、デバイスの異常が表示されているか確認する**

デバイスの異常が表示されている場合は、Windowsのヘルプを参照してトラブルを解決してください。

## Macintosh「エラー番号：300」が表示されている

**チェック 1 操作パネルのランプがすべて消えている場合は、電源プラグがコンセントに接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください**

コピーボタンが点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

**チェック 2 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください**

USB接続で本製品をご使用の場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。USBケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、もう一度印刷してみてください。

無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、LANケーブルでネットワーク接続がされているか、またはネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

⇒『かんたんスタートガイド』

**チェック 3 プリントダイアログの［プリンタ］で、ご使用の機種名が選ばれていることを確認してください**

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「プリンタドライバの開きかた（Macintosh）」

## Macintosh「エラー番号：1701」が表示されている

**チェック 「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インク吸収体が満杯に近づきました」（P.145）を参照し、対処してください**

## Macintosh「インク情報番号：1600」が表示されている

**チェック 「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクがなくなった可能性があります」（P.143）を参照し、対処してください**

## Macintosh 「インク情報番号：1683」が表示されている

チェック **「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクの残量を正しく検知できません」（P.144）を参照し、対処してください**

## Macintosh 「インク情報番号：1688」が表示されている

チェック **「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクがなくなりました」（P.145）を参照し、対処してください**

## Macintosh 「エラー番号：2001」が表示されている

チェック **「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「対応していない機器が接続されました」（P.146）を参照し、対処してください**

## Macintosh 「エラー番号：2002」が表示されている

チェック **「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「対応していないUSBハブが接続されました」（P.146）を参照し、対処してください**

## Windows そのほかのエラーメッセージ

チェック **プリンタ状態の確認画面以外でエラーメッセージが表示された場合は、次の点を確認してください**

- ディスク容量不足のため、正常にスプールできませんでした。
  不要なファイルを削除してディスクの空き容量を増やしてください。
- メモリ不足のため、正常にスプールできませんでした。
  起動中のほかのアプリケーションソフトを終了して空きメモリを増やしてください。
  それでも印刷できない場合は、パソコンを再起動してもう一度印刷してみてください。
- プリンタドライバが読み込めませんでした。
  『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったMPドライバを削除する」に記載されている手順に従ってMPドライバを削除し、再インストールしてください。
- 「アプリケーションソフト名」－「文書名」を印刷できませんでした。
  現在印刷中の文書の印刷が終わったら、もう一度印刷してみてください。

## PictBridge対応機器にエラーメッセージが表示されている

PictBridge対応機器から印刷するときのトラブルについては、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- キヤノン製以外のPictBridge対応機器からのプリンタエラーの解除方法がわからない場合は、本製品の液晶モニターに表示されているメッセージを確認してエラーを解除してください。本製品のエラーの解除方法は「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.143）を参照してください。
- 表示されるエラーや対処方法については、PictBridge対応機器に付属の取扱説明書もあわせて参照してください。そのほか、PictBridge対応機器側のトラブルについては、各機器の相談窓口へお問い合わせください。

## 携帯電話からうまく印刷できない

携帯電話から印刷するときのトラブルについては、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

## フォトナビシートからうまく印刷できない

チェック　**［フォトナビシートの読み取りに失敗しました］が表示されている場合は、次のことを確認して、OKボタンを押してください。その後、再度［シート読取＆印刷］を実行してください**

- 原稿台ガラスにフォトナビシートを正しい向きや位置にセットしましたか。
- 原稿台ガラスやフォトナビシートは汚れていませんか。
- フォトナビシートにチェックもれがありませんか。

参　考

- 塗りつぶしたマークが薄かったり、塗りつぶし範囲が小さいと、フォトナビシートを正しく読み込めない場合があります。

## メモリーカードが取り出せない

お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」（P.191）

重　要

- 細い棒やピンセットなどを使用して取り出さないでください。故障の原因になります。

参考

- 次のメモリーカードは専用のカードアダプタが必要です。専用のカードアダプタを取り付けてから、本製品のカードスロットに挿入してください。
  miniSDカード／miniSDHCカード／microSDカード／microSDHCカード／xD-Pictureカード／xD-PictureカードType M／xD-PictureカードType H／メモリースティック マイクロ／RS-MMC（ver.4.1）

## ファクスを受信できない／ファクスを印刷できない

### チェック 1　電源が入っていますか

- 電源が入っていないとファクスを受信できません。電源ボタンを押して電源を入れてください。
- 電源が入ったまま（操作パネルのランプのいずれかが点灯している状態）、電源プラグを抜いてしまったときは、もう一度電源プラグを差し込むだけで、電源が入ります。
- 電源ボタンを押して電源を切ってから（操作パネルのランプがすべて消灯している状態）、電源プラグを抜いたときは、電源プラグを差し込んでから、電源ボタンを押し、電源を入れてください。
- 停電などで電源が切れてしまったときには、停電が復旧すると、自動的に電源が入ります。

### チェック 2　メモリがいっぱいになっていませんか

メモリに保存されている原稿を印刷するか削除してメモリを空けてから、もう一度送信してもらってください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「メモリに保存されているファクス」

### チェック 3　受信中にエラーが発生していませんか

- 液晶モニターのエラーメッセージを確認してください。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「液晶モニターにファクスのメッセージが表示されている」
- 通信管理レポートを印刷して、エラーが起きていないか確認してください。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「通信管理レポート」

### チェック 4　モジュラーケーブルが正しく接続されていますか

モジュラーケーブルは電話回線接続部へ、電話機（外付け電話、留守番電話、パソコンのモデムなどの周辺機器）は外付け機器接続部へ接続しているか確認してください。
⇒『かんたんスタートガイド』または「電話回線の接続を確認する」（P.24）

### チェック 5　［用紙サイズ］で設定したサイズと異なるサイズの用紙をセットしていませんか

設定した給紙箇所に［用紙サイズ］で設定したサイズと異なるサイズの用紙がセットされていると、受信したファクスは最後まで印刷されず、メモリに保存されます（代行受信）。［用紙サイズ］で設定したサイズと同じサイズの用紙をセットし、本製品のOKボタンを押してください。リーガルサイズの用紙は、後トレイにセットしてください。

### チェック 6　用紙がセットされていますか

設定した給紙箇所に用紙がセットされていないと、受信したファクスは印刷されず、メモリに保存されます（代行受信）。用紙をセットして本製品のOKボタンを押してください。

### チェック 7　インクがなくなっていませんか

インクがなくなると、受信したファクスは印刷されず、メモリに保存されます（代行受信）。インクタンクを交換したあと、メモリから印刷してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「メモリに保存されているファクス」

参　考

- ファクスモードでファクスを受信していた場合は、インクタンクを交換したあと自動的に印刷が始まります。
  ⇒「インクタンクを交換する」（P.126）
- インクがなくなっても、受信したファクスを強制的に印刷するように設定することができます。
  ただし、インク切れにより、ファクスの内容が部分的もしくはすべて印刷されないことがあります。
  また、ファクスの内容はメモリに保存されません。
  なお、すでにインクがなくなっている場合は、［基本設定］で［自動印刷］を［しない］に設定して受信したファクスを一度メモリに保存し、インクタンクを交換したあとにメモリに保存したファクスを手動で印刷することをお勧めします。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「メモリに保存されているファクス」

### チェック 8　適切な受信モードに設定されていますか

受信モードを確認し、ご使用の用途に適した受信モードを設定してください。
⇒「受信モードを設定する」（P.35）

### チェック 9　ファクス受信拒否設定を［する］に設定していませんか

ファクス受信拒否設定を［しない］に設定してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「ファクス受信拒否設定を使う」

## ファクスを送信できない

### チェック 1　電源が入っていますか

- 電源が入っていないとファクスを送信できません。電源ボタンを押して電源を入れてください。
- 電源が入ったまま（操作パネルのランプのいずれかが点灯している状態）、電源プラグを抜いてしまったときは、もう一度電源プラグを差し込むだけで、電源が入ります。
- 電源ボタンを押して電源を切ってから（操作パネルのランプがすべて消灯している状態）、電源プラグを抜いたときは、電源プラグを差し込んでから、電源ボタンを押し、電源を入れてください。
- 停電などで電源が切れてしまったときには、停電が復旧すると、自動的に電源が入ります。

### チェック 2　メモリから送信中ではありませんか

通信中/メモリランプが点滅しているときは、メモリから別の原稿が送信されています。別の原稿の送信が終了するまでお待ちください。

### チェック 3　モジュラーケーブルが外付け機器接続部に接続されていませんか

電話回線接続部に接続し直してください。
⇒『かんたんスタートガイド』または「電話回線の接続を確認する」（P.24）

それでも送信できないときは、電話回線に問題があります。電話会社、接続しているTA(ターミナルアダプタ)またはブロードバンドルータ、ADSLモデム、スプリッタのメーカー、またはインターネット・プロバイダへお問い合わせください。

### チェック 4 電話回線の種類(プッシュ回線/ダイヤル回線)が正しく設定されていますか

電話回線が自動で正しく設定されないことがあります。電話回線の種類を確認して設定を手動で変更してください。
⇒「電話回線の種類を設定する」(P.26)

### チェック 5 [オンフックキー設定]の設定が[無効]になっていませんか

手動で送信する場合、[有効]にしてダイヤルするか、本製品に接続した電話機を使ってダイヤルしてください。
⇒『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)の「オンフックキー設定」

### チェック 6 [ダイヤルトーン検知]の設定が[する]になっていませんか

時間をおいてから、再度送信してください。それでも送信できないときは、[ダイヤルトーン検知]を[しない]に設定してください。
⇒『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)の「ダイヤルトーン検知」

### チェック 7 ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにファクス番号が正しく登録されていますか

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使用してダイヤルするときは、ファクス番号が正しく登録されているか確認してください。
⇒『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)の「送信先を登録する」

### チェック 8 送信中にエラーが発生していませんか

液晶モニターのエラーメッセージを確認してください。
⇒「液晶モニターにファクスのメッセージが表示されている」(P.148)
通信管理レポートを印刷して、エラーの内容を確認してください。
⇒『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)の「通信管理レポート」

### チェック 9 電話回線が正しく接続されていますか

電話回線が正しく接続されているか確認して問題がない場合は、電話回線に問題があります。ご契約の電話会社にお問い合わせください。

### チェック 10 原稿が正しくセットされていますか

一度原稿を取り出し、原稿台ガラスまたはADF(自動原稿給紙装置)に正しくセットし直してください。
⇒「原稿をセットする」(P.119)

### チェック 11 プリンタエラーが発生していませんか

液晶モニターに表示されているメッセージを確認し、問題を解消してください。
⇒「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」(P.143)
お急ぎの場合は、ストップボタンを押してエラーメッセージを閉じることにより、ファクスを送信することができます。

# 電話がつながらない

## ダイヤルできない

**チェック 1　モジュラーケーブルが正しく接続されていますか**

モジュラーケーブルが正しく接続されているか確認してください。
⇒『かんたんスタートガイド』または「電話回線の接続を確認する」（P.24）

**チェック 2　電話回線の種類（プッシュ回線／ダイヤル回線）が正しく設定されていますか**

電話回線の種類を確認し、設定を変更してください。
⇒「電話回線の種類を設定する」（P.26）

## 通話中に電話が切れてしまう

**チェック　モジュラーケーブル、電話機（外付け電話、留守番電話、パソコンのモデムなどの周辺機器）が正しく接続されていますか**

モジュラーケーブル、電話機（外付け電話、留守番電話、パソコンのモデムなどの周辺機器）が正しく接続されていることを確認してください。

# 付録

# 仕様

| 装置の概要 | |
|---|---|
| **印刷解像度（dpi）** | 9600（横）*×2400（縦）<br>* 最小1/9600インチのドット（インク滴）間隔で印刷します。 |
| **インターフェース** | プリンタ接続部：<br>Hi-Speed USB *1<br>カメラ接続部：<br>PictBridge<br>Bluetooth v2.0（オプション）*2 *3 *4<br>USBフラッシュメモリー<br>LAN接続部：<br>有線LAN　100BASE-TX/10BASE-T<br>無線LAN　IEEE802.11b/IEEE802.11g *5<br>*1 Hi-Speed USBでのご使用は、パソコン側がHi-Speed USBに対応している必要があります。<br>また、Hi-Speed USBインターフェースはUSB 1.1の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェースがUSB 1.1でも接続してご使用いただけます。<br>*2 最大通信速度：1.44 Mbps<br>*3 イメージ形式（JPEG/PNG）のみ<br>*4 Bluetooth接続はプリント時のみ<br>*5 WPS（Wi-Fi Protected Setup）設定、WCN（Windows Connect Now）設定による接続が可能 |
| **印字幅** | 最長　203.2 mm　　フチなし時：最長216 mm |
| **稼動音** | 約44 dB (A) （キヤノン写真用紙・光沢 ゴールドで標準印刷時） |
| **動作環境** | 温度：5 ～ 35 ℃<br>湿度：10 ～ 90 % RH（結露しないこと） |
| **保存環境** | 温度：0 ～ 40 ℃<br>湿度：5 ～ 95 % RH（結露しないこと） |
| **電源** | AC 100 V　50/60 Hz<br>(付属の電源コードはAC 100V用です） |
| **消費電力** | 印刷時（コピー時）：約21 W<br>待機時（スリープ時）：約4.1 W *<br>電源OFF時：約0.9 W *<br>* USB接続時<br>※電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。 |
| **外形寸法** | 約491 mm（横）×437 mm（奥行き）×226 mm（高さ）<br>※用紙サポートと排紙トレイを格納した状態 |
| **質量** | 本体　約11.8 kg<br>※プリントヘッド / インクタンクを取り付けた状態 |
| **プリントヘッド / インク** | 2,368ノズル（顔料BK 320ノズル、Y/染料BK各256ノズル、C/M各768ノズル） |
| **ADF（自動原稿給紙装置）容量** | A4とレターサイズ：最大 35 枚（75 g/m$^2$)、高さ 5 mm 以下<br>リーガルサイズ：最大 30 枚（75 g/m$^2$)、高さ 4 mm 以下<br>上記以外の原稿：最大 1 枚 |

| コピー仕様 | |
|---|---|
| **連続コピー枚数** | 最大99枚 |
| **濃度調整** | 9 段階、自動濃度調整あり（AE コピー） |
| **拡大／縮小** | 25%～ 400%（1 %刻み） |

| スキャナ仕様 | |
|---|---|
| **スキャンドライバ** | TWAIN準拠/WIA（Windows VistaまたはWindows XPのみ） |
| **最大原稿サイズ** | 原稿台ガラス：A4/レター /216×297 mm<br>自動原稿給紙装置：A4/レター /216×356 mm |
| **読み取り解像度** | 光学（主走査、副走査）最大：2400×4800 dpi<br>ソフトウェア補間（主走査、副走査）最大：19200×19200 dpi |
| **読み取り階調（入力／出力）** | グレースケール：16 bit / 8 bit<br>カラー：48 bit / 24 bit（RGB各色16 bit / 8 bit） |

| ファクス仕様 | |
|---|---|
| **運用回線** | 加入電話回線（PSTN） |
| **直流抵抗値** | 約240Ω |
| **互換性** | G3/ スーパー G3（白黒、カラー FAX） |
| **データ圧縮システム** | MH、MR、MMR、JPEG |
| **モデムの種類** | ファクスモデム |
| **モデム速度** | 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/<br>14400/12000/9600/7200/4800/2400 bps<br>自動フォールバック |
| **電送速度** | 白黒原稿：約3 秒/ ページ（33.6 kbps）、ECM-MMR、メモリから送信（キヤノンFAX 標準チャートNo.1 標準モード使用時）<br>カラー原稿：約1 分/ ページ（33.6 kbps）、ECM-JPEG、メモリから送信（キヤノンカラーファクステストシート使用時） |
| **読み取り画像処理** | ハーフトーン：グレー 256 階調<br>濃度調整：3 段階 |
| **メモリ** | 送受信：約250 ページ（キヤノンFAX 標準チャートNo.1 標準モード使用時） |
| **ファクス解像度** | 白黒〈標準〉：8 pels/mm × 3.85 lines/mm<br>白黒〈ファイン〉、〈写真〉：8 pels/mm × 7.7 lines/mm<br>白黒〈ファインEX〉：300×300 dpi<br>カラー：200 × 200 dpi |
| **ダイヤル** | 自動ダイヤル<br>　ワンタッチダイヤル（5 件）<br>　短縮ダイヤル（100 件）<br>　グループダイヤル（最大104 件）<br>通常ダイヤル（テンキー使用）<br>自動リダイヤル<br>手動リダイヤル（リダイヤル／ポーズボタン使用） |
| **その他の機能** | 発信元情報<br>ECM送受信<br>通信管理レポート（20 通信ごとに印刷）<br>同報送信（最大106 件）<br>手動リダイヤル（最大10 件）<br>自動受信<br>電話機によるリモート受信（初期設定のリモート受信ID：25）<br>ファクス受信拒否<br>など |

| ネットワーク仕様 | |
|---|---|
| **通信プロトコル** | TCP/IP |
| **無線LAN部** | 準拠規格：IEEE802.11b/IEEE802.11g<br>伝送速度：<br>IEEE802.11b：11/5.5/2/1 Mbps<br>IEEE802.11g：54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps<br>周波数：2.412 GHz - 2.472 GHz<br>無線チャンネル：1 - 13<br>有効範囲：屋内 50 m *<br>セキュリティ：WPA-PSK、WPA2-PSKおよびWEP（64/128 bit）による暗号化、パスワードによるアクセス制御<br><br>* 通信速度および環境条件により異なります。 |
| **有線LAN部** | 準拠規格：IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）<br>伝送速度：10M/100 Mbps（自動切替） |

| 動作条件 | | |
|---|---|---|
| 参考　OSの動作条件が高い場合はそれに準じます。 | | |
| | Windows | Macintosh |
| **OS**<br>**CPU**<br>**メモリ** | Windows Vista、Vista SP1<br>1 GHz 以上のプロセッサ<br>512 MB 以上<br><br>Windows XP SP2、SP3<br>300 MHz以上のプロセッサ<br>128 MB<br><br>Windows 2000 Professional SP4<br>300 MHz以上のプロセッサ<br>128 MB | Mac OS X v.10.5<br>Intel プロセッサ、PowerPC G5<br>PowerPC G4（867 MHz 以上）以上<br>512 MB 以上<br><br>Mac OS X v.10.4<br>Intel プロセッサ、PowerPC G5、<br>PowerPC G4、PowerPC G3<br>256 MB<br><br>Mac OS X v.10.3.9<br>PowerPC G5、PowerPC G4、<br>PowerPC G3<br>128 MB |
| **ブラウザ** | Internet Explorer 6.0以上 | Safari |
| **ハードディスク空き容量** | 650 MB 以上<br>注）付属のソフトウェアのインストールに必要な容量 | 700 MB 以上<br>注）付属のソフトウェアのインストールに必要な容量 |
| **CD-ROM ドライブ** | 必要 | |
| **表示環境** | XGA 1024 x 768以上 | |

- Windows Vista、XP、2000のいずれかがプレインストールされているコンピュータ
- Windows Media Centerでは、一部の制限があります。
- Windows XPからWindows Vistaにアップグレードして本製品をお使いになる場合は、キヤノン製インクジェットプリンタに付属のソフトウェアをアンインストールしてからWindows Vistaにアップグレードしてください。アップグレード後、ソフトウェアをインストールしてください。
- Mac OS拡張（ジャーナリング）またはMac OS拡張でフォーマットされたハードディスクが必要です。

| 電子マニュアル（取扱説明書）の動作環境 | |
|---|---|
| Windows | Macintosh |
| ブラウザ：Easy Guide Viewer<br>※Microsoft Internet Explorer 6.0以上がインストールされている必要があります。<br>ご使用のOSやInternet Explorerのバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、Windows Updateで最新の状態に更新することをお勧めします。 | ブラウザ：ヘルプビューワ<br>※ご使用のOSやヘルプビューワのバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、ソフトウェアアップデートで最新のバージョンに更新することをお勧めします。 |

| 環境および化学安全情報 |
|---|
| 製品の環境情報および化学安全情報（MSDS）につきましては、キヤノンホームページにてご覧いただけます。<br>canon.jp/ecology |

# 原稿をスキャンするときの注意事項

以下を原稿としてスキャンするか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

## 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題になることがあります。

## 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしい物を作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便為替証書
- 株券、社債券
- 定期券、回数券、乗車券
- 国債証券、地方債証券
- 郵便切手、印紙
- 手形、小切手
- その他の有価証券

## 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許書、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]
- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

# お問い合わせの前に

本書または『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「困ったときには」の章を読んでもトラブルの原因がはっきりしない、また解決しない場合には、次の要領でお問い合わせください。

## パソコンなどのシステムの問題は?

本製品が正常に動作し、MPドライバのインストールも問題なければ、接続ケーブルやパソコンシステム（OS、メモリ、ハードディスク、インタフェースなど）に原因があると考えられます。

パソコンを購入された販売店もしくは、パソコンメーカーにご相談ください。

## 特定のアプリケーションソフトで起こる場合は?

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルは、MPドライバを最新のバージョンにバージョンアップすると問題が解決する場合があります。また、アプリケーションソフト固有の問題が考えられます。

アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談ください。

MPドライバのバージョンアップの方法は、別紙の『**サポートガイド**』をご覧ください。

## 本製品の故障の場合は?

どのような対処をしても本製品が動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、本製品の故障と判断されます。
パーソナル機器修理受付センターに修理を依頼してください。

**パーソナル機器修理受付センター**

**050-555-99088**

【受付時間】<平日/土>9:00～18:00(日祝、年末年始を除く)

## その他のお困り事は?

どこに問題があるか判断できない場合やその他のお困り事は、キヤノンお客様相談センターまでご相談ください。もしくは、キヤノンサポートホームページをご利用ください。

**キヤノンお客様相談センター**
**050-555-90015**

【受付時間】 <平日>9:00～20:00
<土日祝>10:00～17:00(1/1～1/3を除く)

**キヤノンサポートホームページ canon.jp/support**

デジタルカメラや携帯電話の操作については、各機器の説明書をご覧いただくか説明書に記載されている相談窓口へお問い合わせ下さい。

●弊社修理受付窓口につきましては、別紙の『**サポートガイド**』をご覧ください。

※本製品を修理にお出しいただく場合
・プリントヘッドとインクタンクは、取り付けた状態で本製品の電源ボタンを押して電源をお切りください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため自動的にキャップをして保護します。
・本製品が輸送中の振動で損傷しないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。

**重要：** 梱包時/輸送時には本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。
他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、本製品がガタつかないようにしっかりと梱包してください。

お願い： 保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品（インク）の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の際には、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけない場合、またご使用可能なパソコンのOSが変更される場合もあります。

# 付属のソフトウェアに関するお問い合わせ窓口

ソフトウェアについては、『セットアップCD-ROM』の電子マニュアル（取扱説明書）、またはソフトウェアのREAD MEファイル、HELPなどをあわせてご覧ください。

- らくちんCDダイレクトプリントfor Canon
  （株）メディアナビ　　03-5467-1781
  http://www.medianavi.jp/　「サポート」
- 読取革命Lite
- ファイル管理革命Lite
  パナソニック ソリューションテクノロジー（株）
  0570-00-8700
  パナソニック ソリューションテクノロジー　ソフトサポートセンター
  http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/bundle/
- ArcSoft PhotoStudio（アークソフトフォトスタジオ）
  アークソフトジャパン　0570-060-655 / 03-5321-0550
  http://www.arcsoft.jp/en/　「テクニカルサポート」
- 上記以外のソフトウェア
  キヤノンお客様相談センター　050-555-90015
  canon.jp/support

※ご使用の製品によって付属されるソフトウェアは異なります。

# 使用済みインクカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクカートリッジの回収を推進しています。
この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、“キヤノンによる環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。
キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に回収窓口をご用意いたしております。
また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。
回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
　　キヤノンサポートホームページ　　canon.jp/support
事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

■使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動
キヤノンでは、使用済みカートリッジ回収を通じてベルマーク運動に参加しています。
ベルマーク参加校単位で使用済みカートリッジを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。
この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。
　環境への取り組み　canon.jp/ecology

付録

## お問い合わせのシート

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。また、おかけまちがいのないよう電話番号はよくご確認ください。

【インクジェット複合機との接続環境について】

■パソコンと接続している場合

パソコンメーカ名(　　　　　　　　　　)　モデル名(　　　　　　　　　　)

CPU名(　　　　　　)　クロック周波数(　　　　　　MHz)

搭載メモリ容量(　　　　　　MB)　ハードディスク容量(　　　　　　MB/GB)

OS名　・Windows　□Vista　□XP　□2000(Ver.　　　　　)

　　　・Mac OS(Ver.　　　　　)　　・その他(　　　　　　　)

ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン(　　　　　　　)

ウイルスチェック等ご使用の常駐ソフト名およびバージョン(　　　　　　)

接続ケーブル：□付属USBケーブル　□その他(メーカや型番:　　　　　)

接続方法：　□直結(HUB使用　有/無)　□ネットワーク(種類:　　)　□その他(　　　)

■カメラとダイレクト接続している場合

カメラメーカ名(　　　　　　　　)モデル名(　　　　　　　　)

■メモリカードをご使用の場合

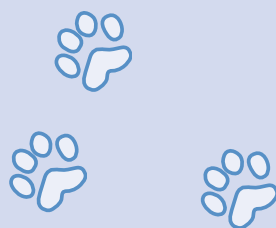
メモリカード種類(　　　　)メモリカードメーカ(　　　　)型番(　　　　　)

【エラー表示】

表示されたエラーメッセージ　(できるだけ正確に)

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

**キヤノンマーケティングジャパン株式会社**　〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

# 知って得するヒント集

お使いの製品についての豆知識、きれいに印刷するためのヒントを紹介しています。

## インクはこんなふうに使われています

豆知識

### 印刷以外にもインクが使われる？

意外かもしれませんが、インクは印刷以外にも使われることがあります。それは、きれいな印刷を保つために行うクリーニングのとき。
本製品には、インクがふき出されるノズルを自動的にクリーニングし、目づまりを防ぐ機能が付いています。クリーニングでは、ノズルからインクを吸い出すため、わずかな量のインクが使用されます。

**重　要**

- 吸い出されたインクは、製品内部の「インク吸収体」に吸収されます。インク吸収体は満杯になると交換が必要です。お客様ご自身での交換はできませんので、エラーメッセージが表示されたら、お早めにパーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口へ交換をご依頼ください。

⇒「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.143）

豆知識

### モノクロ印刷でもカラーインクが使われる？

モノクロ印刷でも、印刷する用紙の種類やプリンタドライバの設定によってブラック以外のインクが使われることがあります。モノクロでしか印刷していなくてもカラーインクが減るのはそのためです。

つづく

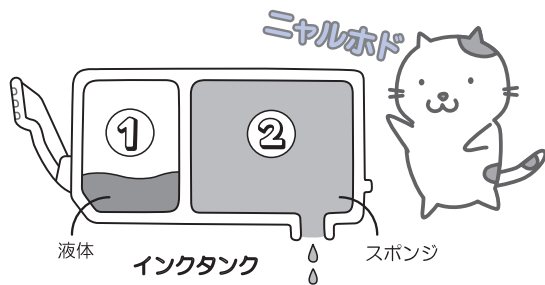
豆知識

## ブラックインクが2つあるのはなぜ？

本製品のブラックインクには、染料インク（BCI-321BK）と顔料インク（BCI-320PGBK）の２種類あります。
染料インクはおもに写真やイラストなどの印刷に使われ、顔料インクは文字などの印刷に使われます。それぞれの用途が異なるため、どちらかのインクがなくなっても、もう一方のインクが代わりに使われることはありません。どちらか一方でもインクがなくなった場合には、インクタンクの交換が必要になります。
また、２つのブラックインクは、印刷する用紙の種類やプリンタドライバの設定に応じて自動的に使い分けられます。お客様によるインクの使い分けはできません。

豆知識

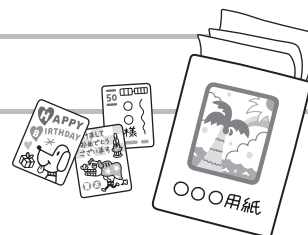
## そんなインクたちを、少なくなったらランプでお知らせ

インクタンク内部は、液体のインクをためている部分（①）とそのインクが染み込んだスポンジ部分（②）とでできています。

まず①がなくなると、インクランプがゆっくり点滅し、インクが少なくなったことをお知らせします。次に②がなくなると、インクランプの点滅がはやくなり、新しいインクタンクへの交換をお知らせします。

⇒「インクタンクを交換する」（P.126）

## 特別な用紙に印刷……失敗しないためのポイントは !?

ヒント!

### 印刷前に本製品の状態を確認しよう

### ●プリントヘッドの状態は大丈夫？

印刷がかすれてはせっかくの用紙が無駄に……。ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認しておきましょう。

⇒「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.132）

### ●本製品の内部がインクで汚れていませんか？

大量に印刷したあとやフチなし印刷をしたあとは、用紙の通過した部分がインクで汚れていることがあります。インク拭き取りクリーニングで内部のそうじをしましょう。

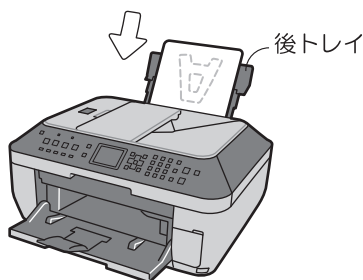
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

つづく

ヒント!

## 用紙のセット方法を確認しよう

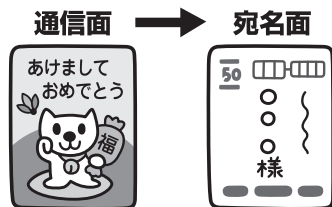
### ●用紙の向きは大丈夫？

後トレイとカセットでは、セットする用紙の向きが違います。

印刷したい面を**上**にしてセットする

印刷したい面を**下**にしてセットする

### ●はがきはどちらの面を先に印刷？

はがきの両面に印刷するときは、通信面から先に印刷すると、よりキレイに仕上がります。

⇒「はがきに印刷するときの注意」（P.111）

### ●その用紙、反っていませんか？

反った用紙は紙づまりの原因に。用紙は平らにしてからセットしてください。

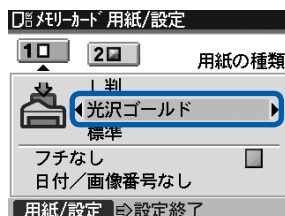
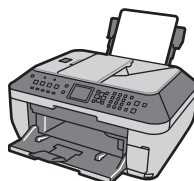
**⇒「印刷面が汚れる／こすれる」の「反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」（P.158）**

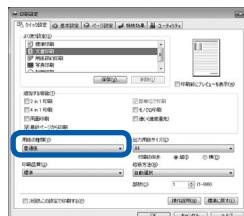
つづく

ヒント!

## 用紙をセットしたあとは、**用紙の設定**を忘れずに！

**STEP 1　用紙をセットしたら**

**STEP 2　用紙の種類を選ぶ**

操作パネル

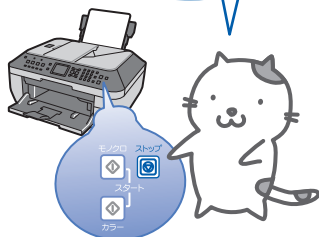
または

プリンタドライバ

用紙のセットが済んだら、操作パネルまたはプリンタドライバの［用紙の種類］で、必ずセットした用紙を選んでください。用紙の種類を設定しないと、せっかく正しく用紙をセットしても満足な印刷結果が得られないことがあります。⇒P.153

用紙には、写真がきれいに印刷できるよう表面に特殊なコーティングが施されたものや、文書に適したものなどさまざまな種類があります。それぞれの用紙に最適な画質で印刷できるよう、［用紙の種類］にはあらかじめ用紙ごとに異なる設定（インクの使いかた、インクのふき出し方法、ノズルとの間隔など）がされています。そのため、セットした用紙を［用紙の種類］で選ぶことでそれぞれの用紙に適した印刷ができるのです。

## 印刷中止は、ストップボタンで

ヒント!

### 電源ボタンは**押さない**で！

印刷中に電源ボタンを押してしまうと、パソコンから送られた印刷データなどが本製品にたまって印刷できなくなることがあります。印刷を中止したいときは、ストップボタンを押してください。

**参　考**

- パソコンからの印刷中に、ストップボタンを押しても印刷が中止されないときは、プリンタドライバの設定画面を開き、プリンタ状態の確認画面から不要となった印刷ジョブを削除してください。（Windows）

## 最新版のMPドライバを手に入れよう

キヤノンのホームページでは、最新版のMPドライバを提供しています。
最新版のMPドライバは、古いバージョンに改良を加えたり新機能に対応しているため、ドライバを新しくする（アップデートする）ことによって、新しいOSに対応したり、印刷やスキャンのトラブルを解決できることがあります。

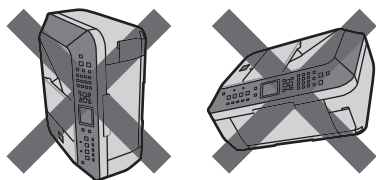
**STEP 1**
まずは、キヤノンのホームページ（canon.jp/download）にアクセスして、最新版のMPドライバをダウンロード

**STEP 2**
本製品の電源を切り、本製品とパソコンを接続しているUSBケーブルを抜く

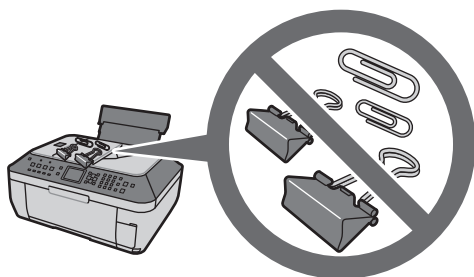
**STEP 3**
古いMPドライバを削除する（Windowsの場合）
[スタート] → [(すべての) プログラム] → [Canon（ご使用の製品名）series] → [MPドライバ アンインストーラ] の順にクリックします。
以降は画面の指示にしたがってください。

**STEP 4**
ダウンロードした最新のMPドライバをインストールする

**詳しい手順はキヤノンのホームページをご覧ください。**

## 使用時や移動時に注意することは？

### 製品を**立てたり傾けたりしない**で！

製品を立てたり傾けたりすると、製品がダメージを受けたり、まれに本体からインクが漏れるおそれがあります。
使用時や移動時には本製品を傾けないようご注意ください。

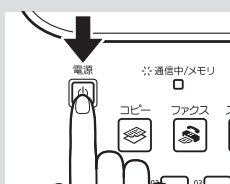
### 原稿台カバーの上に**物を置かない**で！

原稿台カバー上には物を置かないでください。原稿台カバーを開けたときに後トレイに物が落ち、故障の原因になります。また、上から物が落ちる場所などには、本製品を置かないでください。

## いつもきれいな印刷を楽しむためには？

きれいな印刷を保つカギは、プリントヘッドの乾燥と目づまりを防ぐこと。そのために次のことを守って、いつもきれいな印刷を楽しんでください。

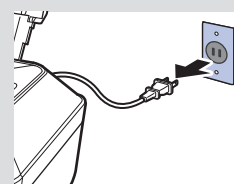
### ●電源プラグを抜くときは次の順番で

**STEP 1**

本製品の電源ボタンを押して、電源を切る

**STEP 2**

操作パネルのランプがすべて消えたことを確認

**STEP 3**

電源プラグをコンセントから抜く、または、テーブルタップのスイッチを切る

電源ボタンを押して電源を切ると、本製品は自動的にプリントヘッド（インクのふき出し口）にキャップをして乾燥を防ぐようになっています。ところが、操作パネルのランプがすべて消える前にコンセントから電源プラグを抜いたり、テーブルタップのスイッチを切ってしまうと、プリントヘッドが正しくキャップされずに乾燥や目づまりの原因となります。
電源プラグを抜くときは、必ずこの順番を守ってください。

**重　要**

- 電源プラグを抜くと、日付・時刻情報とメモリに保存されているファクスがすべて削除されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷しておいてください。

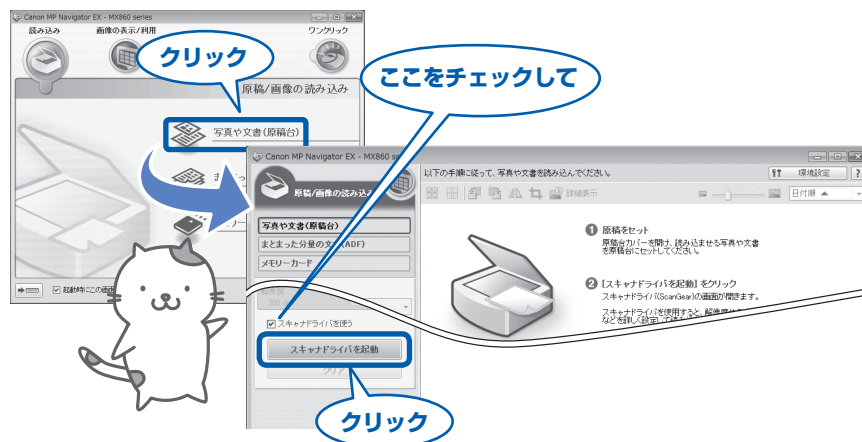
### ●定期的に印刷しよう

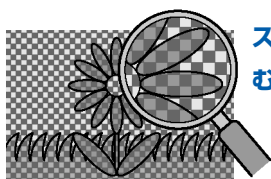
サインペンは長期間使われないと、キャップをしていてもペン先が乾いて書けなくなることがあります。同様に、プリントヘッドも印刷をしないと乾燥して目づまりを起こす場合があります。最低でも、月に１回程度は印刷することをお勧めします。

**参　考**

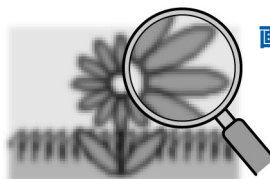
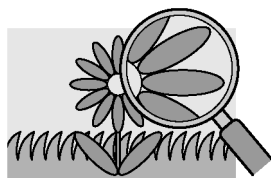
- 用紙によっては、印刷した部分を蛍光ペンや水性ペンでなぞったり、水や汗が付着すると、インクがにじむことがあります。

## 画像がきれいにスキャンできなかったときには？

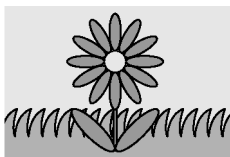
MP Navigator EX（エムピー・ナビゲーター・イーエックス）を使っている場合は、設定を変えてスキャンしてみましょう。

重　要

• [モアレ低減］や［輪郭強調］を［ON］にすると、スキャンに時間がかかることがあります。
• [モアレ低減］が［ON］になっていても、［輪郭強調］が［ON］になっているとモアレが残ることがあります。その場合は、［輪郭強調］を［OFF］にしてください。

**スキャンした画像にむらがある……**

**画像がぼやけている……**

詳細設定で［モアレ低減］を［ON］にしてスキャン

詳細設定で［輪郭強調］を［ON］にしてスキャン

詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

## あれあれ？ 色がおかしい、かすれるなぁ・・

### ノズルチェックパターンでノズルのつまりを確認しよう

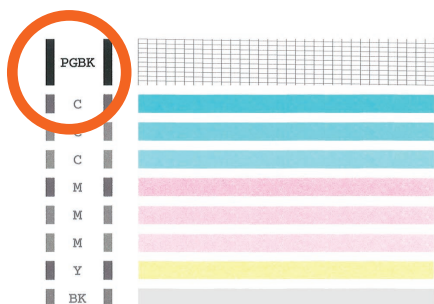
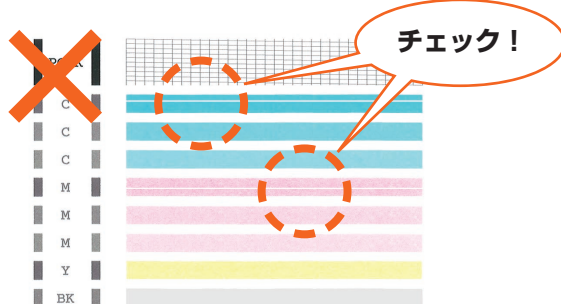
プリントヘッドのノズル（インクのふき出し口）が目づまりすると、色味がおかしかったり、印刷がかすれることがあります。

**この写真が**

**こんなことに**

ニャ、ニャンだ!?
こんなときには、どうするニャ？

### ノズルチェックパターンを印刷

印刷したチェックパターンを確認すると、ノズルが目づまりしているかどうかがわかります。

ノズルに目づまりはありません。

こんなふうになっていたら、ノズルが目づまりしているサイン。今すぐお手入れして、写真を元どおりのきれいな色で印刷しましょう。

⇒「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.132）

## ●キヤノン PIXUS ホームページ　**canon.jp/pixus**

新製品情報、Q&A、各種ドライバのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。
※通信料はお客様のご負担になります。

## ●キヤノンお客様相談センター　**050-555-90015**

PIXUS・インクジェット複合機に関するご質問・ご相談は、上記の窓口にお願いいたします。
年賀状印刷に関するお問い合わせは、下記専用窓口にお願いいたします。

**年賀状印刷専用窓口　050-555-90019**（受付期間：11/1～1/15）

**【受付時間】**〈平日〉9:00 ～ 20:00、〈土日祝日〉10:00 ～ 17:00
（1/1～1/3 は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は **043-211-9631** をご利用ください。
※ＩＰ電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

**本製品で使用できるインクタンク番号は、以下のものです。**

**インクタンクについてのご注意**

・インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
・インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。安全上問題はありませんが、まれに、純正品にないインク成分によるとみられるプリントヘッド部分の発熱・発煙事例 * も報告されています。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。
（* すべての非純正インクについて上記事例が報告されているものではありません。）
・非純正インクタンクまたは非純正インクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。

※インクタンクの交換については、本書の「インクタンクを交換する」を参照してください。

紙幣、有価証券などを本製品で印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第148条、第149条、第162条／通貨及証券模造取締法第1条、第2条　等

QT5-2126-V04　XXXXXXXX　©CANON INC.2009　PRINTED IN THAILAND